

2011年度CFAアカデミー活動報告

(公社)千葉県サッカー協会

2012年4月5日

CFAアカデミーの考え方

【主たる考え方】

- ①世界に通用する選手育成ができる千葉県独自の発掘、育成、強化のシステムをCFAとJクラブ（柏レイソル、ジェフ千葉）が一緒になって構築する。
- ②千葉県のあらゆる地域及び種別（4種、3種、2種、1種）のCFA登録選手が誰でも才能と将来性があればリーガー及び日本代表へ進める道を拓く。

＜テーマ＞

- ・千葉県のサッカーに於ける育成の意識、構造改革
- ・グローバルで中長期的な視野に立った選手育成
- ・日本初の発掘、育成、強化システムの千葉県での実施

＜特色＞

- ・個を育てる
- ・埋もれた逸材の発掘、育成
- ・種別、チーム、クラブ、所属連盟を超えた取り組み
- ・共有テーマに基づいたプログラム
- ・共賛（共に賛同）できるチームから始める

＜狙い＞

レイソル、ジェフが3年間同じ環境で指導していた。このプロジェクトにより指導者、選手たちに更なる緊張感及び競争意識を与える。

CFAアカデミー活動内容

Jクラブが2チームある千葉県のメリットを生かし、Jリーグを活用した育成システムを構築していくことを目標にシステムを構築した。今までの8ブロック制を崩さずにスムーズに移行できることをベースに考えた。多くの選手を発掘するには地区トレセンの充実を図ることも大切でブロックの活性化と指導者の交流も目標において活動した。

《目標》

千葉県から世界に通じる選手の育成

《目的》

- ・千葉県全体での選手育成と発掘
- ・個の育成

2011年度実施案と実施実績

実施案	実施実績
8ブロックをノース、サウスに分けたトレセン活動	6月から実施。
関東トレセンリーグへのノース、サウスの2チーム参加	2チーム参加はできなかったが、代替策としてノース、サウスが交互に参加する事で多くの選手が関東トレセンリーグへの参加を経験ができた。
8ブロック交流戦の実施	2月25日、26日に実施。
Jクラブからノース、サウスへのスタッフ派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェフよりサウスの活動へスタッフが視察に来ていただいている。 ・レイソルとのトレーニングマッチの中で、レイソルとトレセンメンバーを混ぜて試合を行った。 ・Jクラブとのトレーニングマッチ後に一緒にトレーニングを行った。 ・現場では盛んに交流が行われている。
Jクラブから8ブロックトレセンへのスタッフ巡回	実施なし。
県トレ選手のJクラブトレーニングへの参加	実施なし。

成果と課題

《成果》

【選手】

- ・多くの選手が関東リーグやJクラブとの試合を経験できた。U-13は勝負に拘らず、多くの選手に色々な経験をさせてあげられれば良い。
- ・中体連の選手にもチャンスが増える(県トレに中体連から上がってきていない現状もある)
- ・選手(保護者)の移動にかかる負担が少なくなっている。
- ・ジェフカーニバルにノース、サウスの2チームが参加し、県内、県外のチームと対戦できた。

【指導者】

- ・多くの選手を見ることができた。
- ・Jクラブの練習を見学させてもらう事ができている。
- ・ブロックトレセンに2種の先生方が視察に行って、トレセンスタッフと交流が持てている。2種の先生方も勉強になっている。

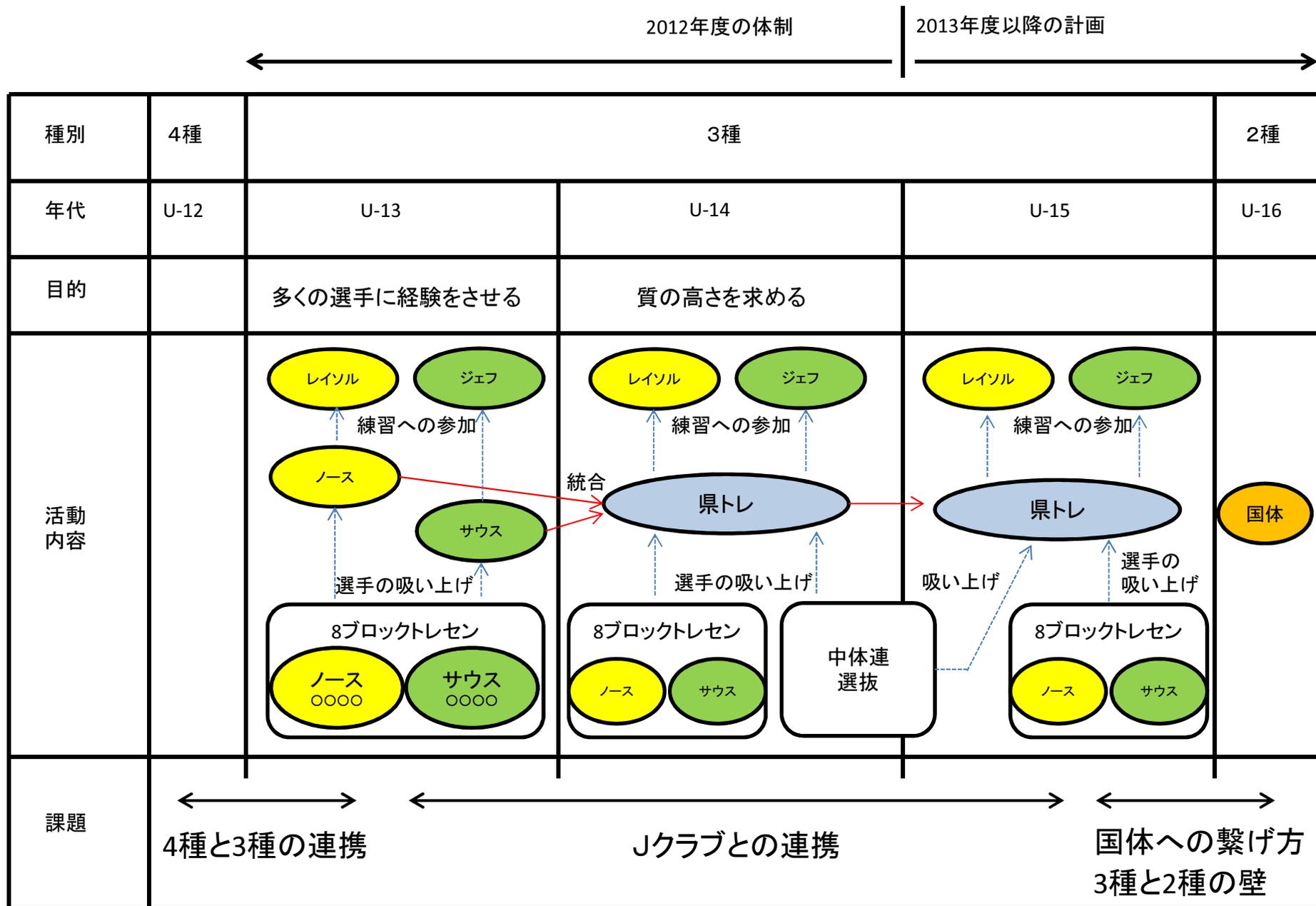
《今後の課題》

- ・4種と3種の連携 (指導者が選手情報を共有できる仕組みを作る)
- ・3種でのJクラブとの関わり方 (Jクラブへ選手を参加させるための選考方法等の検討)
- ・3種から国体への繋げ方

2012年度の活動

- U-13
- ・セカンド(県トレ) ノース・サウスの2地域で活動する。指導は3種のスタッフが担当する。
 - ・サード(8ブロック) ノース・サウスの2地域に分ける。2種のスタッフが視察を担当する。
- U-14
- ・セカンド(県トレ) ノース・サウスを1本化し、1箇所での活動とする。指導は3種のスタッフが担当する。
 - ・サード(8ブロック) ノース・サウスの2地域に分ける。2種のスタッフが視察を担当する。
 - ・中体連選抜 新たに立ち上げ、中体連選抜からセカンドへ選手を吸い上げる。
- Jクラブとの関わり
- Jクラブの練習へセカンドの選手を参加させる。
その他、様々な場面での協力をお願いします。

【2012年度 CFAアカデミー活動】



議事録

《U-13会議》

2011年7月24日

2011年9月3日

2012年1月5日

《検証会議・プロジェクト会議》

2011年9月6日

2011年12月20日

2012年2月14日

CFA アカデミー議事録		作成日	平成 23 年 7 月 26 日(火)
		作成者	(株)エス・シー・エス 坂本
会議内容	U-13 会議		
開催日時	平成 23 年 7 月 24 日(日) 19:00~20:30	開催場所	幕張総合高校
出席者	島田、柳橋、池田、小田、唐沢、橋本、山口、井上、坂本		

内 容	期限/担当
<p>■JEF カーニバルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 8/5、8/6 に参加。 ・集合時間 8/5 ノース:11:30 サウス:12:30 8/6 ノース: 7:30 サウス: 8:30 ・参加選手 別紙参照 ・監督、コーチについて ノース 監督:池田 コーチ:橋本、金子、鈴木、加藤 サウス 監督:渡辺 コーチ:小田、唐沢(6日×)、山口、米倉 ⇒金子さん、鈴木さん、加藤さん、米倉さんのスケジュールを確認 ※その他スタッフ、及び8ブロック担当は時間があれば視察をしてほしい。 個の発掘ができるように。 ⇒事務局より当日のスケジュール連絡 ・参加費について 2,000円×2チーム(ノース・サウス)×2日=8,000円 ⇒どこから支払うか →県協会回答:アカデミーセカンド年間活動雑費より支払う ・ユニホームについて 過去にU-13で使用したユニホームを誰が所持しているか確認を ⇒渡辺さん、吉野さんへ確認 ※ない場合は最悪ピブス対応。県協会からの支給予定は? →県協会回答:全体予算の再調整中、ピブスについては未発注。 今後必要であれば購入可。 今後必要となる用具があればリストアップをしてほしい。 <p>■関東交流戦について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出場チーム数について 県トレの出場は1チーム。サウス、ノース交互に出場する。 ※交流戦に出ていないグループはヴィヴァイオランドで別のチームと対戦。 対戦相手についてはレイソル、ジェフに協力を依頼。 ・概要及び日程 別紙参照。 出場チームは9月サウス、10月ノース、11月サウス、12月ノース、1月選抜で検討。 ・選手選考について JEFカーニバルと同じではなく入れ替えも考えたい。8/5、6は選考する目も必要。 ・交流戦前トレーニングについて 各グループで交流戦前にトレーニングをしてほしい。トレーニング日程は9/20。 	

内 容	期限/担当
<p>平日のトレーニングは難しいかもしれない。各グループで検討を。</p> <p>■8 ブロックトレセン状況報告</p> <p>1 ブロック・・・三井を除いて選手を招集して活動中。個の選手の報告はない。5月は永井さん視察。暁星国際中にJFAアカデミーの選考に受かったが、JFAアカデミーに行かなかった選手がいる。今後トレセンに視察に行き、課題を与えられたらと思う。</p> <p>2 ブロック・・・活動が停滞している。6月は雨で中止にしている。</p> <p>3 ブロック・・・3支部に分かれて活動中。現在はカラケテル、アルティスタから選手を推薦して県トレへ参加させている。</p> <p>4 ブロック・・・連絡がうまく取れていない。クラブでは活動をしていると思われる。夏休みが終わるぐらいから学校側情報も取って普及部隊が見に行けるようにしたい。</p> <p>5 ブロック・・・中体連中心に活発的に活動中。8月には合宿に行く予定。(千葉市予算)クラブチームはほとんど幕総で活動している。クラブは協力的でないということもあるので、トレセンの練習をクラブの指導者に見に来てもらうようにし、そこにクラブの選手を連れてきてもらうようにしていければと考えている。ラルクベールのセンターFWが良い選手がいるという情報がある。サウスには参加していない。</p> <p>6 ブロック・・・すぽるとやちよ、ヴィヴァイオ、ウイングス、FC習志野を中心に活動。ヴィヴァイオとFC習志野におもしろい選手がいる。船橋市トレセン、習志野市トレセンが別で活動している。今後見に行きたいと思っている。</p> <p>7 ブロック・・・クラブの選手中心で活動。何人かはノースで対応できる選手もいる。中体連はもう少ししたら入れてみたいと考えている。活動自体は充実しており、情報が早く伝わってくる。</p> <p>8 ブロック・・・市川地区、松戸地区で分かれて行われている。良い子が多く、セカンドに吸い上げたいという話もあった。できればブロックから選手を推薦してもらえるようになればと思っている。</p> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計関係について、指導者への謝金を今年は toto 助成の関係で振込対応としているが、手間と費用(振込手数料)がかかるため、来年度以降は検討事項である。 ・U-13 連絡体制について、選手選考結果をどのように連絡するか。 ⇒文書で発送の必要があれば SCS まで報告いただき、SCS より発送。 SCS からの発送は学校とクラブに向けて。個別への連絡の必要がある場合はそれぞれ担当より連絡。(サウスについては渡辺さんに確認) ・夏休み中はブロックトレセンはほとんど活動はない。行ける方は積極的にレイソル、ジェフのトレーニング視察をしてほしい。情報の共有をできるように。情報は SCS 坂本まで。 	

関東U-13トレセン交流戦

実施要項

- 主 旨** 関東サッカー協会は、日本サッカーの将来を担うユース（13歳以下）の少年たちのサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、関東U-13トレセン交流戦を実施する。
- 名 称** 関東U-13トレセン交流戦
- 主 催** 関東サッカー協会 技術委員会
- 主 管** 財団法人 茨城県サッカー協会
社団法人 栃木県サッカー協会
社団法人 群馬県サッカー協会
財団法人 埼玉県サッカー協会
社団法人 千葉県サッカー協会
財団法人 東京都サッカー協会
社団法人 神奈川県サッカー協会
社団法人 山梨県サッカー協会 順不同
- 期 日**
- | | | | |
|-------|-----------|-----|-----------------|
| 2011年 | 9月25日(日) | 第1節 | |
| | 10月23日(日) | 第2節 | |
| | 11月27日(日) | 第3節 | |
| | 12月18日(日) | 第4節 | |
| 2012年 | 1月22日(日) | 第5節 | |
| | 2月25日(土) | 第6節 | ※関東U-12トレセン選抜参加 |
| | 2月26日(日) | 第7節 | ※関東U-12トレセン選抜参加 |
- 組み合わせ** 対戦チーム間で調整を行う。
- 会 場** 対戦チーム間で調整を行う。
- 参加資格** (財)日本サッカー協会に第3種登録した加盟チームもしくは準加盟チームの選手でありU-13年代の選手であること。
- 参加チーム** (1)関東1都7県のトレセンチーム。
(2)メトロポリタンリーグに所属するチームで都県トレセンと同等以上のチーム力及びハード面ソフト面を有し、都県トレセンとは別活動を行っているチーム。
(3)関東U-12トレセン選抜の2チーム。(※2/25・26のみ)
- 順位決定方法** 順位決定方法は以下の通りとする。
① 勝点合計:勝ち3 引分け1 負け0
② 得失点差:ゴールディファレンス(総得点-総失点)
③ 総得点数
- 競技会規定** 大会実施年度の(財)日本サッカー協会競技規則による。

但し、以下の項目については規定を定める。

(1)プレーの時間:80分(前・後半40分)

※前・後半終了後の3本目の試合結果は、計上致しません。

※第6節～第9節(2/25-26)は、60分(前・後半30分)にて行う。

(2)ハーフタイムのインターバル:原則として10分(前半終了から後半開始まで)

(3)試合毎の登録選手数:22名まで

(4)交代できる数:制限しない。(自由な交代を用いる)

(5)交代要員の数:11名

(6)テクニカルエリア:設置する。

戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1名の役員が伝えることができる。

指示を与えた後は所定の位置に戻らなければならない。

但し通訳を必要とする場合は2名までとする。

(7)ベンチに入ることができる人数:16名(交代要員11名、役員5名)

(8)第4の審判員:任命しない。

(9)ロスタイムの表示:実施しない。

(10)負傷した競技者の負傷程度を確かめる為に入場を許される役員は2名以内。

(11)退場者が出た場合は、選手を補充し11名で試合を行う。

会場運営	会場担当チームが行うこと。
審判	<u>主審・副審共に有資格者、またはチームスタッフが審判服を着用して行うこと。</u> (選手のモチベーション向上の為、H23年度より徹底お願いします。)
参加料	無料
ユニフォーム	(1)ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。 (2)ユニフォームへの広告表示については日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
傷害補償	試合会場では応急処置のみを行う。 また都県サッカー協会出場選手の傷害保険に加入のこと。
その他	(1)交流戦実行委員会内に規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は実行委員長が兼務する。規律・フェアプレー委員会の委員人選については委員長に一任する。 (2)代表者ミーティングは、行わない。 各試合競技開始までに、対戦チーム同士でメンバー登録用紙の交換(1～5節は、各10部。6～9節は、合計20部。)・ユニフォームの決定を行うこと。 (3)本概要に規定されていない事項については本大会実行委員会において協議の上決定する。
宿泊	宿泊に関しては宿泊日程および人数を事務局に連絡し、事務局で配宿を行なう。
事務局	スポーツマネジメント株式会社 担当:中島 康之 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-12-2ステージ神宮前Ⅱ 4階 TEL 03-5412-0055 FAX 03-5412-2050

【2011年度 関東U-13・14トレセン交流戦】

(40分-10分-40分)+(フレンドリー40分orトレーニング)

月日(曜)	kick off		対戦		審判		会場	
					主審	副審		
9/25 (日) (vs各都県) 第1節	U-13		群馬県	VS	茨城県			
	U-14			VS				
	U-13		栃木県	VS	埼玉県			
	U-14			VS				
	U-13	10:00	東京都	VS	千葉県	東京都	東京都	東京・清瀬内山クラブ ※会場の都合で3本目は30分で実施
	U-14	12:30		VS		千葉県		
U-13		神奈川県	VS	山梨県				
U-14			VS					
10/23 (日) (vsメトロ) 第2節	U-13		茨城県	VS	アントラーズノルテ			
	U-14			VS				
	U-13		栃木県	VS	大宮アルディージャ			
	U-14			VS				
	U-13		群馬県	VS	浦和レッズ			
	U-14			VS				
	U-13		埼玉県	VS	FC東京深川			
	U-14			VS				
	U-13	10:00	千葉県	VS	JEF市原・千葉	千葉県	千葉県	順天堂大学 ※会場の都合で3本目は30分で実施
	U-14	12:30		VS		JEF		
	U-13		東京都	VS	FC東京むさし			
	U-14			VS				
U-13		神奈川県	VS	横浜F・マリノスMM				
U-14			VS					
U-13		山梨県	VS	東京ヴェルディ				
U-14			VS					
11/27 (日) (vsメトロ) 第3節	U-13		茨城県	VS	柏レイソル			
	U-14			VS				
	U-13		栃木県	VS	FC東京深川			
	U-14			VS				
	U-13		群馬県	VS	横浜F・マリノスMM			
	U-14			VS				
	U-13		埼玉県	VS	浦和レッズ			
	U-14			VS				
	U-13	10:00予定	千葉県	VS	鹿島アントラーズ	鹿島	鹿島	住友金属グランド
	U-14	12:40予定		VS		千葉県		
	U-13		東京都	VS	横浜F・マリノス追浜			
	U-14			VS				
U-13		神奈川県	VS	東京ヴェルディ				
U-14			VS					
U-13		山梨県	VS	FC東京むさし				
U-14			VS					
12/18 (日) (vs各都県) 第4節	U-13		茨城県	VS	東京都			
	U-14			VS				
	U-13		栃木県	VS	山梨県			
	U-14			VS				
	U-13		埼玉県	VS	神奈川県			
	U-14			VS				
U-13	10:30	群馬県	VS	千葉県	群馬県	群馬県	図南サッカーパーク(群馬県)	
U-14	13:00		VS		千葉県			
1/22 (日) (vsメトロ) 第5節	U-13		茨城県	VS	鹿島アントラーズ			
	U-14			VS				
	U-13		栃木県	VS	鹿島アントラーズつくば			
	U-14			VS				
	U-13		群馬県	VS	大宮アルディージャ			
	U-14			VS				
	U-13		埼玉県	VS	JEF市原・千葉			
	U-14			VS				
	U-13	10:00	千葉県	VS	柏レイソル	レイソル	レイソル	レイソルグランド
	U-14	12:30		VS		千葉県		
	U-13	10:00	東京都	VS	川崎フロンターレ			しんよこフットボールパーク (人工芝)9:00~14:00
	U-14	12:00		VS				
U-13		神奈川県	VS	湘南ベルマーレ				
U-14			VS					
U-13		山梨県	VS	VF甲府				
U-14			VS					

- ①U-13・14ともに、40分×2本=80分ゲームとなります。
- ②原則、主審は主催県(ホーム)で実施します。副審は各チームの指導者が1人ずつ出で行うことになりました。
※今年度から審判(主審、副審ともに)は必ず審判服を着用することになりました。ただし40分×2本のみ。
- ③各チームとも、所定のメンバー表を作成し、当日3部ずつ持参して下さい。



第2回 kappa presents U15 JEF CARNIVAL 2011

1. 趣旨および目的

- (1) 各地域のU-15年代のチームが一堂に会し、試合を通じて技術の向上を図り、選手育成ならびに社会性の育成を目指す。
- (2) 指導者の交流を深めることにより、技術・戦術等の研修の場となることを目指す。
- (3) 千葉および参加地区のU-15年代の選手強化を目的とする。

2. 主催 ジェフユナイテッド(株)

3. 協賛 株式会社フェニックス

4. 期日 平成23年8月3日(水)～6日(土)

5. 会場 **フクダ電子スクエア**(人工芝)2面
(住所) 〒260-0835 千葉県千葉市中央区川崎町 2-18 TEL : 043-208-5573



6. 競技方法 4日間の交流戦方式でおこなう。

7. 参加チーム *U-15

ヴィヴァイオ船橋、柏レイソル、前橋FC、ウイングス、三菱養和調布、三菱養和巣鴨、ラルクベール、ジュビロ沼津、アルビレックス新潟、ラッセル郡山、ベガルタ仙台、柏イーグルス、JSC千葉、三井千葉、千葉県トレセン、フォルトゥナ、ジェフユナイテッド千葉
以上17チーム

参加チーム *U-13

清水エスパルス、千葉県トレセンノース、千葉県トレセンサウス、横浜FC、柏レイソル、横浜Fマリノス、前橋FC、ウイングス、三井千葉、JSC千葉、ラルクベール、ヴィヴァイオ船橋、川崎フロンターレ、三菱養和巣鴨、アルビレックス新潟、大宮アルディージャ、横浜Fマリノス追浜、ジェフユナイテッド千葉
以上18チーム

8. 参加費 2,000円×参加日数 *参加初日に徴収させていただきます。

9. 競技規則・注意事項

- ・平成23年度日本サッカー協会の競技規則に準ずる。
- ・交代回数および人数は自由とする。
- ・試合時間はU-13: 25 - 5 - 25、U-15: 30 - 5 - 30とする。

- ・負傷者の応急手当等は、各チームの責任で行う。
- ・主審は大会側で行う。副審は当該チームのスタッフもしくは選手を1名ずつ出す。

10. 試合日程

■U-15 8/3(水)

Aコート ☆30-5-30					Bコート ☆30-5-30				
■8/3(水)		対戦			■8/3(水)		対戦		
1	9:00	ジェフ千葉	VS	ヴィヴァイオ船橋	9:00	柏レイソル	VS	三菱養和調布	
2	10:20	前橋FC	VS	ウイングス	10:20	三菱養和巢鴨	VS	ラルクベール	
3	11:40	ジェフ千葉	VS	ジュピロ沼津	11:40	アルビレックス新潟	VS	ラッセル郡山	
4	13:00	ベガルタ仙台	VS	柏レイソル	13:00	ヴィヴァイオ船橋	VS	三菱養和調布	
5	14:20	三菱養和巢鴨	VS	前橋FC	14:20	ジュピロ沼津	VS	アルビレックス新潟	
6	15:40	ベガルタ仙台	VS	ウイングス	15:40	ラッセル郡山	VS	ラルクベール	
7			VS		17:00	ジェフU-14	VS	ジュピロ沼津	

■U-15 8/4(木)

Aコート ☆30-5-30					Bコート ☆30-5-30				
■8/4(木)		対戦			■8/4(木)		対戦		
1	9:00	ジェフ千葉	VS	ベガルタ仙台	9:00	ジュピロ沼津	VS	柏イーグルス	
2	10:20	柏レイソル	VS	アルビレックス新潟	10:20	前橋FC	VS	JSC千葉	
3	11:40	ベガルタ仙台	VS	三菱養和巢鴨	11:40	ラッセル郡山	VS	三井千葉	
4	13:00	フォルトウナ	VS	柏レイソル	13:00	ジェフ千葉	VS	前橋FC	
5	14:20	ジュピロ沼津	VS	ラッセル郡山	14:20	柏イーグルス	VS	三菱養和巢鴨	
6	15:40	フォルトウナ	VS	三井千葉	15:40	アルビレックス新潟	VS	JSC千葉	
7									

■U-15 8/5(金)

Aコート ☆30-5-30					Bコート ☆30-5-30				
■8/5(金)		対戦			■8/5(金)		対戦		
1	9:00	千葉県トレセン	VS	アルビレックス新潟	9:00	柏レイソル	VS	ジュピロ沼津	
2	10:20	ジェフ千葉	VS	アルビレックス新潟	10:20	フォルトウナ	VS	千葉県トレセン	
3	11:40	フォルトウナ	VS	ジュピロ沼津	11:40	ジェフ千葉	VS	柏レイソル	

■U-13 8/5(金)

Aコート ☆25-5-25					Bコート ☆25-5-25				
■8/5(金)		対戦			■8/5(金)		対戦		
1	13:00	ジェフ千葉	VS	清水エスパルス	13:00	千葉県トレセンノース	VS	柏レイソル	
2	14:00	千葉県トレセンサウス	VS	横浜FC	14:00	横浜Fマリノス	VS	前橋FC	
3	15:00	清水エスパルス	VS	千葉県トレセンノース	15:00	柏レイソル	VS	横浜FC	
4	16:00	ジェフ千葉	VS	横浜Fマリノス	16:00	千葉県トレセンサウス	VS	前橋FC	

■U-13 8/6(土)

Aコート ☆25-5-25					Bコート ☆25-5-25				
■8/6(土)		対戦			■8/6(土)		対戦		
1	9:00	ウイングス	VS	千葉県トレセンノース	9:00	JSC千葉	VS	ラルクベール	
2	10:00	前橋FC		三井千葉	10:00	千葉県トレセンサウス	VS	ヴィヴァイオ船橋	
3	11:00	ウイングス	VS	ジェフ千葉	11:00	横浜FC	VS	JSC千葉	
4	12:00	千葉県トレセンノース	VS	川崎フロンターレ	12:00	ラルクベール	VS	三菱養和巢鴨	
5	13:00	前橋FC	VS	柏レイソル	13:00	ヴィヴァイオ船橋	VS	アルビレックス新潟	
6	14:00	千葉県トレセンサウス	VS	横浜Fマリノス追浜	14:00	三井千葉	VS	大宮アルディージャ	
7	15:00	柏レイソル	VS	アルビレックス新潟	15:00	横浜FC	VS	三菱養和巢鴨	
8	16:00	ジェフ千葉	VS	川崎フロンターレ	16:00	横浜Fマリノス追浜	VS	大宮アルディージャ	

11. その他

◎スクエア駐車料金：大型バス 1日 2,000円、マイクロバス・普通車 1日 1,000円となります

◎宿泊：1泊3食 7,600円(税込)均一で近隣ホテルを紹介いたします。

ホテルソガイインターナショナル、市原マリンホテル、バーディーホテル千葉、八幡宿第一ホテル

12. 大会事務局 ジェフユナイテッド 八重樫 研次

TEL 043-305-1507 FAX 043-305-1357

(携帯) 080-3469-9947 (Eメール) yaegashi-kenji@jefunited.co.jp

千葉県サッカー協会 サウストレセン(U-13)選手一覧

8月召集メンバー JEFフェスティバル参加

	名前	所属チーム	ポジション	ブロック
1	青木 諒	VIVAIO船橋	GK	
2	柳 数馬	VIVAIO船橋	GK	
3	浅貝 崇裕	VIVAIO船橋	DF	
4	海田 航佑	VIVAIO船橋	DF	
5	小野寺 知	VIVAIO船橋	DF	
6	羽鳥 友基	VIVAIO船橋	DF	
7	山田 一也	VIVAIO船橋	DF	
8	吉田 宏樹	三井千葉SC	DF	
9	村上 弘有	Wings U-15	DF	
10	井上 幸翼	SP-フッチSC	MF	
11	菊地 雄介	VIVAIO船橋	MF	
12	清水 亮太郎	VIVAIO船橋	MF	
13	濱口 怜	VIVAIO船橋	MF	
14	藤尾 圭悟	VIVAIO船橋	MF	
15	梶 浩暢	VIVAIO船橋	MF	
16	庄司 優大	VIVAIO船橋	MF	
17	鈴木 梨生	Wings U-15	MF	
18	大塚 大輔	VIVAIO船橋	FW	
19	中川 洋介	VIVAIO船橋	FW	
20	富山 大輔	FC習志野	FW	
21	大橋 大河	三井千葉SC	FW	

千葉県サッカー協会 ノーストレセン(U-13)選手一覧

8月召集メンバー JEFフェスティバル参加

	氏名	ポジション	所属チーム	ブロック	8月召集
1	金杉 祥平	DF	ACカラクテル	第3ブロック	
2	飯島 隆正	DF/MF	ACカラクテル	第3ブロック	
3	山元 陸哉	MF/FW	Artista FC	第3ブロック	
4	竹内 侖	GK	Artista FC	第3ブロック	
5	宮下 将吾	MF/FW	Artista FC	第3ブロック	
6	西堀 駿太	FP	カナリーニョ	第7ブロック	
7	秋山 大地	MF	カナリーニョ	第7ブロック	
8	米田 陽斗	FP	柏イーグルス	第7ブロック	
9	間中 駿人	FP	柏イーグルス	第7ブロック	
10	御田村 健吾	FP	柏イーグルス	第7ブロック	
11	梁谷 勇志	FP	柏イーグルス	第7ブロック	
12	坂井 大地	GK	柏イーグルス	第7ブロック	
13	大野 拓朗	FP	レイソル野田	第7ブロック	欠席
14	中村 悟	FP	レイソル野田	第7ブロック	
15	影山 克明	FP	ヴェルディSSLレスチ	第7ブロック	
16	青竹 翔太	FP	ヴェルディSSLレスチ	第7ブロック	
17	中田 舞輝	FP	ヴェルディSSLレスチ	第7ブロック	
18	諏訪 友紀	FP	ヴェルディSSLレスチ	第7ブロック	
19	秋山 剛範	FP	柏マイティー	第7ブロック	
20	穴澤 希望	GK	柏ラッセル	第7ブロック	
21	鎌倉 勇利	FP	浦安JSC	第8ブロック	
22	菊池 悠汰	FP	我孫子市立我孫子中	第7ブロック	

CFA アカデミー議事録		作成日	平成 23 年 9 月 6 日(火)
		作成者	(株)エス・シー・エス 坂本
会議内容	U-13 会議		
開催日時	平成 23 年 9 月 3 日(土) 18:00~20:00	開催場所	幕張総合高校
出席者	島田、渡辺、柳橋、池田、鈴木、小田、唐沢、橋本、山口、井上、金子、加藤、八重樫、増本、坂本		

内 容	期限/担当
<p>■JEF カーニバル報告</p> <p>8/5、8/6 にサウス、ノースの 2 チームで参加</p> <p>《感想》</p> <p>ノース監督:池田</p> <p>Jクラブとの対戦の中で技術的に劣っているところが見えた。今後、個の育成を考えた時に、ゲームで生かせることをやっていかなくてはいけない。</p> <p>全体的に遠慮しがちであったという印象。</p> <p>サウス監督:渡辺</p> <p>個で何ができるかという事だけで、今回の大会には参加した。また、外からの選手の情報を取り入れずにこの 2 か月間トレーニングを行ってきた。月 1 回の活動なので、色々教えていく事が難しい。サウスは繋いでいくことより、ボールをまず支配するという事を目指して行った。即席チームだが、個人がしっかりしていればゲームが成立すると思う。</p> <p>主催(JEF):八重樫</p> <p>今回の反省点として、各チームにもっと時間にゆとりを持って参加してもらえるように配慮できれば良かった。今後はそのことも心がけたい。</p> <p>サウス、ノースに参加してもらって、選手には『こういったことをやる』『こういった部分ではJクラブの選手には負けない』というのを見たかった。</p> <p>即席チームということだったが、点差が大きく開くわけではなく、場面場面ではサウス、ノースの選手が勝っている場面もあった。今後活動を続けていけば面白くなっていくのではないかと思う。</p> <p>《他チームの状況について》</p> <p>柳橋</p> <p>JSC、ラルクヴェールを見ていてボールの受け方などの工夫はみられる。今後セカンドに選ばれていくのではないかと思う。</p> <p>セカンドメンバーの元気がないという部分では、単体チームでもそういう場面は見られるので焦らなくても良いかと思う。</p>	

内 容	期限/担当
<p>■関東交流戦について</p> <p>開催日:9月25日 会場:清瀬内山グラウンド 参加:サウス 対戦:東京</p> <p>メンバー選考について JEF カーニバルのメンバーに新たに4名を加え、その中から20名に絞りたい。 追加の4名以外にもラルクヴェールの中盤に興味のある子がいる。今後検討したい。 交流戦前に一度トレーニングを行いたい。</p> <p>○9月25日ノースの活動について トレーニングマッチ vs レイソル レイソルグラウンド 9:30k.o. 15:00～試合観戦 ※Jリーグ開催時は基本的に対外試合 NG なので再度確認の必要有。 試合観戦をする場合はチケット代をどうするのか(県協会です算化できるのか) メンバー:カーニバルメンバー 各ブロックからの吸い上げメンバーのトレーニングマッチ vs カナリーニョ カナフィールド 10:00k.o. ※各トレーニングマッチの内容で10月23日の交流戦メンバーを決定する</p> <p>課題点:以前まではAトレセン、Bトレセンと分かれていたが、今はサウス、ノースに分けられているので、メンバーから漏れた選手を各ブロックに戻さなくてはいけない。 入れ替えもしていかなくてはいけない。</p> <p>■ナショナルトレセンについて 13日までにU-13で3名上げることになっている。 ⇒サウスを中心に選出予定</p> <p>■検証委員会への報告内容</p> <p>○Jクラブとの連携について ・9月25日ノースとレイソルのトレーニングマッチの実施(レイソルグラウンドの解放) ・8月JEFカーニバルへのサウス、ノースの参加 ・ヴィヴァイオU-15選手のジェフへの加入</p> <p>○特徴のある選手について</p> <p>○地区トレセンの活動報告</p> <p>○各ブロックの視察について(南エリアへの視察の遅れ)</p> <p>○U-13スタッフからの意見 メリット:JEFカーニバルへの参加など、新しいことができています。 デメリット:昨年までのAトレ、Bトレの時と比べ試合数が少なくなっている。 まだ見切れていない部分がある。</p>	

内 容	期限/担当
<p>■その他</p> <p>メンバーの選出基準について</p> <p>渡辺: 背が高く、足が速くて、両足が使えるといった選手は町クラブの中で埋もれているということはなかなかない。</p> <p>サウスではまずボールを持てることを第一に考えている。両足が使える、ボールを360度回せる、ボールが来る前に周囲が見れ、ダイレクトのプレーを考えられるということを基準に選考している。</p> <p>まずボールが持てないと顔を上げられないと思っている。ボールを持てて、顔が上げられる、そういった選手が大きくなって県のトレセンに残ってほしいと思っている。</p> <p>月1回のトレーニングではそれを教えることはできない。普段のトレーニングからこういったことをやって欲しいと思っている。こういう場でこういう情報を共有しないと個の力とは何かがぼやけてしまう。</p> <p>JEFの考え(八重樫)</p> <p>意識しているのは技術、個の育成と言うが、どれだけ掘り下げて練習していかれるかだと思う。そういった部分での創意工夫が大事。U-13でないと入っていかない部分もあつたりする。その遊ばせ方を見誤らないように日常やっている。</p> <p>レイソルの考え方(増本)</p> <p>レイソルはジュニアがあるのでそこでベースがある。ジュニアから上がる子も外から来る子も落ち着いてボールに触れるのかは大事で、それが無い子は上に上がれないと思う。早熟が良し悪しで落としてしまうという必要はないと思っている。生かせ方があると思っている。</p> <p>鈴木</p> <p>共有した考え方のサードへの落とし方が難しい。それを考えるのがこの会の大前提だと思っている。見に行くだけでなく一緒にコーチとしてやらせてもらう事は大事だと思う。</p> <p>⇒渡辺 選手に分かりやすくないといけな。一回だけ教えても選手が混乱する。</p> <p>ちゃんとしたコンセプトがあるから選手が成長する。</p> <p>U-13がイニシアチブをとってU-12に発信するというのは必要だと思う。</p> <p>地区トレセンを見て、このままだと厳しいなという現状は見れた。</p> <p>柳橋</p> <p>基準が明確になるというのは大切。今まで皆が混沌としていた部分であると思う。</p> <p>渡辺</p> <p>サウス、ノースの基準が同じというわけではない。サウスの基準が正解ではないと思っている。</p> <p>■事務局より</p> <p>千葉県サッカー協会 HP 技術委員会ページへ各ブロック、サウス、ノースの活動報告が見られるようになってきている。</p> <p>活動を広くPRできるアイデアなどあれば意見を頂きたい。</p>	

千葉県サッカー協会 サウストレセン(U-13)選手一覧

	氏名	ポジション	所属チーム	ブロック	4種所属チーム	4種県トレセン選出有無
1	青木 諒	GK	VIVAIO船橋	6ブロック	市川FC	
2	柳 数馬	GK	VIVAIO船橋	6ブロック	イーストジュニア	
3	浅貝 崇裕	DF	VIVAIO船橋	6ブロック	柏レイソルU-12	○
4	海田 航佑	DF	VIVAIO船橋	6ブロック	船橋FC	○
5	小野寺 知	DF	VIVAIO船橋	6ブロック	船橋FC	
6	羽鳥 友基	DF	VIVAIO船橋	6ブロック	市川FC	
7	山田 一也	DF	VIVAIO船橋	6ブロック	市川FC	
8	吉田 宏樹	DF	三井千葉SC	1ブロック	根郷	
9	村上 弘有	DF	Wings U-15	6ブロック	Wings U-12	
10	井上 幸翼	MF	SP-フッチSC	8ブロック	SP-フッチSC	○
11	菊地 雄介	MF	VIVAIO船橋	6ブロック	イーストジュニア	○
12	清水 亮太郎	MF	VIVAIO船橋	6ブロック	FC高津	○
13	濱口 怜	MF	VIVAIO船橋	6ブロック	船橋FC	○
14	藤尾 圭悟	MF	VIVAIO船橋	6ブロック	イーストジュニア	○
15	梶 浩暢	MF	VIVAIO船橋	6ブロック	FC高津	○
16	庄司 優大	MF	VIVAIO船橋	6ブロック	カナリーニョFC	
17	鈴木 梨生	MF	Wings U-15	6ブロック	Wings U-12	
18	大塚 大輔	FW	VIVAIO船橋	6ブロック	ダック	○
19	中川 洋介	FW	VIVAIO船橋	6ブロック	FC高津	○
20	富山 大輔	FW	FC習志野	6ブロック	向山イレブン	
21	高橋 大河	FW	三井千葉SC	1ブロック	国分寺台	
22	梅沢 翔	FW/SMF	暁星国際中	1ブロック	トレドSCあきる野	
23	河崎 壮太	CMF	暁星国際中	1ブロック	高柳FC	
24	海老原 雄斗	CMF	JSC千葉	5ブロック	南市川JFC	
25	中村 翼	FW	ラルクベール	5ブロック	市原ユナイテッド	

千葉県サッカー協会 ノーストレセン(U-13)選手一覧

	氏名	ポジション	所属チーム	ブロック	4種所属チーム	4種県トレセン選出有無
1	金杉 祥平	DF	ACカラクテル	第3ブロック	FC. Cantera	
2	飯島 隆正	DF/MF	ACカラクテル	第3ブロック	FCあさひ	○
3	山元 陸哉	MF/FW	Artista FC	第3ブロック	MSアウルFC	
4	竹内 侖	GK	Artista FC	第3ブロック	MSアウルFC	
5	宮下 将吾	MF/FW	Artista FC	第3ブロック	とかがねフットボールクラブ	
6	西堀 駿太	FP	カナリーニョ	第7ブロック	カナリーニョフットボールクラブ	○
7	秋山 大地	MF	カナリーニョ	第7ブロック	カナリーニョフットボールクラブ	
8	米田 陽斗	FP	柏イーグルス	第7ブロック	柏イーグルスTOR' 82	
9	間中 駿斗	FP	柏イーグルス	第7ブロック	柏イーグルスTOR' 82	○
10	御田村 健吾	FP	柏イーグルス	第7ブロック	柏イーグルスTOR' 82	
11	染谷 勇志	FP	柏イーグルス	第7ブロック	柏イーグルスTOR' 82	
12	坂井 大地	GK	柏イーグルス	第7ブロック	柏イーグルスTOR' 82	
13	大野 拓朗	FP	レイソル野田	第7ブロック	松伏FCスポーツ少年団	
14	中村 悟	FP	レイソル野田	第7ブロック	福田少年サッカークラブ	
15	影山 克明	FP	ヴェルディSSレスチ	第7ブロック	レスチJr	
16	青竹 翔太	FP	ヴェルディSSレスチ	第7ブロック	伴サッカークラブ	
17	中田 舞輝	FP	ヴェルディSSレスチ	第7ブロック	レスチJr	
18	諏訪 友紀	FP	ヴェルディSSレスチ	第7ブロック	アセノサッカークラブ	
19	秋山 剛範	FP	柏マイティー	第7ブロック	柏マイティーフットボールクラブ	
20	穴澤 希望	GK	柏ラッセル	第7ブロック	柏ラッセルフットボールクラブ	
21	鎌倉 勇利	FP	浦安JSC	第8ブロック	入船少年サッカークラブ	
22	菊地 悠汰	FP	我孫子市立我孫子中	第7ブロック	我孫子FC	

2011 U13 関東トレセン交流会(案)

	ノース	サウス	備考
9月25日	対 レイソル 10:00KO(レイソルグランド)	対 東京都10:00KO 清瀬内山G	ノース15:00～ Jリーグ観戦
10月23日	対 JEF 10:00KO(順天堂大学)	対 レイソル 13:00kO	
11月27日	対 未定 10:00KO(ヴィバオランド)	対 アントラーズ10:00KO 住友金属G	
12月18日	対 群馬選抜10:30(関南サッカーパーク)	対 JEF 10:00KO(ヴィバオランド)	
1月22日	未定	未定	対 柏レイソル ヴィバオランド終日使用可
2月25日	選抜で	選抜で	ヴィバオランド終日使用可
2月26日	選抜で	選抜で	ヴィバオランド終日使用可

CFA アカデミー議事録		作成日	平成 24 年 1 月 8 日(日)
		作成者	(株)エス・シー・エス 坂本
会議内容	U-13 会議		
開催日時	平成 24 年 1 月 5 日(水) 16:00~18:00	開催場所	幕張総合高校
出席者	島田、池田、小田、唐沢、橋本、井上、米倉、坂本		

内 容	期限/担当
<p>■ブロックトレセン報告</p> <p>《1 ブロック》 市原中心に活動。南総エリアが独自の活動を行っており、情報が取れていない。南総エリアとの交流が今後の課題</p> <p>《2 ブロック》 エリアが広い地域。活動内容は集まってアップ、ゲームのみということで、今後の活動が心配な地域。</p> <p>《3 ブロック》 中体連とクラブが一緒にできている。アルティスタ、カラクテル、銚子 4 中に良い選手がいる。</p> <p>《4 ブロック》 中体連とクラブが分かれている。中体連選抜がある。八街中央中に良い選手がいた。</p> <p>《5 ブロック》 トレセン優先日に関わらず精力的に活動している。</p> <p>《6 ブロック》 ヴィヴァイオ谷垣内さんがスタッフから抜け、12 月は活動を実施しなかった。今後はスポーツやちよの植草さんが担当。中体連との間に溝がある。</p> <p>《7 ブロック》 地域の交流大会を行っており、良い雰囲気でも活動されている。情報も良く伝わってきている。クラブの子が多い。7 ブロック選抜を作るので、ノースから降りてくる選手がいないかという問合せをもらっている。</p> <p>《8 ブロック》 松戸地区、市川地区の交流戦ができている。</p> <p>■来年度予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算に追加する項目 <ul style="list-style-type: none"> ビブス(ブロックトレセン) ユニホーム(県トレ) ・交通費(特に遠征時)の扱いを明確に。 	

CFA アカデミー議事録		作成日	平成 23 年 9 月 6 日(火)
		作成者	(株)エス・シー・エス 坂本
会議内容	検証会議		
開催日時	平成 23 年 9 月 6 日(火)	18:00～19:30	開催場所 フクダ電子アリーナ
出席者	藤原(ユースダイレクター)、島田(技術委員)、中山(4 種技術委員長)、渡辺(ヴィヴァイオ)、池田(柏ラッセル)、永井(アドバイザー) 吉田(レイソル)、増本(レイソル)、朴(ジェフ)、水庫(ユース技術委員長)、小林(クラブ連盟)、元岡(クラブ連盟)、坂本(事務局)		

内 容	
<p>■4 月～8 月の CFA アカデミーU-13 活動報告</p> <p>○8 ブロックレセソ報告(島田より)</p> <p>〈1 ブロック:市原市、袖ヶ浦市、木更津市、君津市、富津市、鋸南町、南房総市、館山市〉 三井千葉を中心として、市原地区が中心となって活動している。 南総地区の活動が十分に把握できていない。木更津地区は活性化してきている。</p> <p>〈2 ブロック:芝山町、山武市、東金市、九十九里町、大網白里町、白子町、茂原市、長柄町、長生村、長南町、一宮町、睦沢町、いすみ市、大多喜町、御宿町、勝浦市、鴨川市〉 活動自体が少ない状況である。</p> <p>〈3 ブロック:成田市、神崎町、多古町、香取市、東庄町、匝瑳市、旭市、銚子市〉 サッカー人口が少ない地域である。ブロック全体の活動はここまでない。 クラブの活動をチームが見に行ったりなどしている。</p> <p>〈4 ブロック:八千代市、四街道市、佐倉市、印西市、栄町、酒々井町、八街市、富里市〉 クラブを中心に活動をしている。中体連は別で活動している。クラブと中体連を一緒にやれるようにしたい。</p> <p>〈5 ブロック:千葉県(中央区、美浜区、花見川区、稲毛区、緑区、若葉区)〉 中体連が中心になって活動している。クラブとの連携が取れていない。</p> <p>〈6 ブロック:習志野市、船橋市、鎌ヶ谷市、白井市〉 クラブを中心として活動している。</p> <p>〈7 ブロック:野田市、流山市、柏市、我孫子市〉 積極的に活動している。</p> <p>〈8 ブロック:浦安市、市川市、松戸市〉 浦安、市川、松戸の各エリアに一人ずつ派遣して活動している。</p> <p>○セカンド活動報告(島田より)</p> <p>サウスとノースに分かれて活動している。</p> <p>U-12 メンバーを個の育成という観点からサウス、ノース合同で 2 か月トレーニングを行った。トレーニング前のミーティングなど、活動する内容の確認もしながら行った。 6 月からノース、サウスに分けるとノースには U-12 から上がったメンバーのほとんどがサウスの選手であった。ノースには 3 名しかいない状況であった。 8 月にはサウス、ノースで JEF カーニバルへ参加。 2 つに分かれているメリットとして、県トレが 2 チームに増えていることで U-12 から上がったメンバーを多く見ることができている。また、関東交流戦にサウス、ノースが交互に参加することで、多くの選手が関東交流戦を経験できる状況になっている。 デメリットとしては、試合を行う回数が少なくなっていること、またセカンドスタッフが 8 ブロックの視察に行くことが追い付いていない。</p>	

内 容

〈ノース報告：ノースリーダー池田より〉

ノースは柏、東葛地区の選手が多く、クラブ出身の選手がほとんどである。現状として、ノース地区全体を見切れていない状況である。市川、浦安の地区も見れておらず、今後見に行けるようにしなくてはならない。JEF カーニバルでは参加していた他のクラブと大きな差を感じた。レイソル、フロンターレといった U-12 の下部組織を持っているとクラブは個がしっかりしていると感じた。

〈サウス報告：サウスリーダー渡辺より〉

4月の段階で選抜に入っていない子をクラブの方に今後お願いしたいと話している。選手の入替えがまだできていない状況である。

〈セカンドの活動で気づくこと：サウスリーダー渡辺より〉

昨年まで県トレを1つのチームでやっていたが、今年はサウス、ノースの2つに分かれている。以前までは良い選手の情報が入ってきていたが今年は情報が入りにくくなっている。

報告書の提出が求められていたり、人を派遣するなどが課せられている。

誰でもできるように簡素化が必要ではないかと思う。来年、このまま行くべきか検証をしてほしい。

4、5月はブロックから出てきた名簿とU-12トレセンの名簿を基に選手を集め活動してきた。

そのことにより、新しい選手が入ってきていない。昨年までは4、5月までの時点で新しい選手の情報が入ってきていたが、今年は現時点でもまだ入ってきていない。

困っていることとして、結果として今年はU-12から上がった選手の割合がサウスとノースでバランスが良くなかった。

サウスとノースを2つに分けたことにより、セカンドの下で選手を見ることができなくなっている。

セカンドの下に8ブロックあるが、すべてを一つにするには大きすぎるのではないか。

8ブロックと組織が分かれることも考えなくてはならない。

サウスの現状としてはウイングス、フッチ、三井等をお願いして、4月の段階で選抜に

入っていなかったが今後入れ替えをしていくのでお願いしたいと話している。入れ替えがまだできていない。

〈トップについて：島田〉

選手の把握の状況ができていないことで、推薦する選手がいない状況である。

今後は関東交流戦が始まる、サウス、ノースが交互で出場する。交流戦に出ない

チームはJクラブと対戦する。

Jクラブとの交流がこういう形でできている。

〈視察に回ったの感想：永井〉

この選手がどれぐらい伸びるのかというのを判断するのは難しいことである。

アカデミーにより、一人でも漏れなく選手を拾い上げていければと思う。

○渡辺さんからの課題について

島田…

U-12と地区トレセンの方と密にしていけないといけない。個の育成についてのビジョンを種別を越えてやっていかなくてはいけない。各地域にたくさんの指導者がいる。地域の活性化をできるようにしていきたい。以前できていたところが現在できていないという話もある。その方法、具体案を考えていかなくてはいけないと思っている。HPでトレーニング方法を出している。それも一つの方法である。U-13の会議でも、もっと地域を見に行かなくてはいけないという話も出ている。

サッカー選手として個とはどういうことなのか、地域の中で共有させながら進めていければと思っている。

渡辺…

2つでやっていくことが決まっていて進めていくのか。去年に比べて情報量が減ってしまっている。

藤原…

これまでの会議の中で2つに分けてやっていくことが決まって始まっている。しかし、そのまま進めていくのかを考えていくのがこの検証会議である。

小林…

今までは4月、5月の時点で情報を得ていたことが、今年はできていないというのはどういうことか。ブロックからの情報が得られないということであったが。

渡辺…

U-12からの名簿を中心に2か月やろうということでした承を得てスタートした。ブロックによって活動できていないところもある。しっかり活動しているところもある。今年の事で言うと、4月、5月は外から入れないということをやった。

島田…

2つになったことで情報量が多くなっている。

渡辺…

2つに分かれていて、千葉県を選抜をしてステータスを保てるのか。

元岡…

変わったというが、県トレが縦に二つ並んでいたのをサウス・ノースの2つの分けただけで、活動が増えたわけではなく、関東交流戦へも2チームが出れるということだったが、1チームしか出れず、サウス・ノースが交互に出ることで試合に出る機会が減っているのではないかと。何が変わったのかがよくわからない。

島田…

下の把握ができていないのと、もっと良い選手がいるという意見が出ている。今後増えてくると思う。交流戦については事務局側からは会議で決まったことがひっくり返ってしまって申し訳ないというお詫びを受けた。ステータスとあったが、U-13では経験をしてもらえれば良いのではないかとと思っている。そういう趣旨で始めた。

渡辺…

いつからそういうステータスになったのか。2つに分けることが悪いとは思わないが、他のチームと対戦した時に2つに分けていることでステータスが保てるのか。

内 容

元岡…

地域の活性化という話があったが、ミドルクラブからはブロックトレセンは不要だという話もある。
8ブロックトレセンが本当に必要なのか。それならばブロックの中でリーグ戦をしてそれを見に行き、
選手をピックアップすれば良いのではないかと。

藤原…

今年1年やってみて、どうしていけばよいかというのを会議で話していければと思う。

島田…

ミドルクラブがトレセン化しているのを感じる。

藤原…

U-13の会議で今日話したことを整理して、検証会議にまた持ってきてほしい。

CFA アカデミー議事録		作 成 者	(株)エス・シー・エス 坂本
会議内容	プロジェクト委員会		
開催日時	平成 23 年 9 月 6 日(火)	19:30～21:00	開催場所
	フクダ電子アリーナ		
出席者	藤原(技術委員)、島田(技術委員)、稲田(4種委員長)、高橋(3種委員長)、金子(県協会)、 吉田(レイソル)、増本(レイソル)、小林(ジェフ)、神戸(ジェフ)、坂本(事務局)		

内 容
<p>■4月～8月のCFAアカデミーU-13活動報告</p> <p>○U-13トレセン報告(島田より) ※資料を基に説明(別紙資料)</p> <p>○検証会議からの意見及び課題(島田より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県トレをサウスとノースの2つに分けたことにより選手をすべて見られていないという弊害 ・U-12からのメンバーが、ほとんどサウスのメンバーであった。ノースは5月、6月の活動後に選考して入ってきたメンバーになってしまった。 ・8ブロックからの吸い上げについては島田、柳橋で視察をしているが、見切れていない状況である。 ・8ブロックトレセンがいらないのではないかという意見もある。 ・Jクラブを絡めた個の育成、指導者の育成についてもっと考えていく必要がある。 <p>○出席メンバーからの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場として、活動がスムーズに進まなかったという根本的な問題もこの場で伝えていく必要がある。(増本) ・スタートがU-12の名簿で始めたことが遅れてしまった原因でもある。(島田) ・2つに分けたことが問題なのか、それ以外に問題があるのか検証する必要がある。(坂本) ・直接選手をセカンドに引き上げると、なぜブロックを通して選手を出さないのかという意見も出てくる。(島田) ・根本的な趣旨でJクラブが関わるとい部分薄れている。トレセンで選手を育成する事が強く出ている、発掘するということに関していうとトレセンがあることでスピードが遅れている。クラブから良い選手がいるという情報があれば直接Jクラブから声をかけている。(吉田) ・ミドルクラブが増えていて、良い選手は確実にミドルクラブに行っている。ミドルクラブがトレセン化している。そこであえてトレセンとして集める必要があるのかとも思う。(島田) ・ミドルクラブがトレセンのようになっているのは悪いことではない。トレセンで集められて、そこで教えられて学んでいる選手ではそれ以上伸びないと思う。トレセンはあくまでも上に行くための環境である。今までできていたことができなくなっていることについて、今までできていた事がどうやったらこれからやることで同じようにできるようになるのか、それを考えていければもう一つ上のものになる。(稲田) ・育てるということを観点として考えると難しい。発掘して環境を与えたら上に行けるかもしれない。そういう視点に戻って考えられればと思う。(吉田) ・トレセンはトレーニングの場ではない。トレセン以外にも良い選手がいるという考えで始めていると思う。選手を出さないクラブから選手を出してもらおうようなシステムが必要かと思う。(神戸) ・現場がこれでいいのかという不安を持っているのだと感じている。中学校の先生からの話を聞くと、増々中体連に日の目が当たらなくなっていると感じている。今年の会議では中体連選抜など、話が上がっていたがいつの間にか話に出てこなくなっている。(高橋) ・中体連選抜でJEFカーニバルに出るなどしていけば良い。検証委員会のメンバーが理解していくのには時間が掛かると思うので、スタートしていったら理解していったらもらう。(小林) ・ジェフレイソルを応援する、選手の育成で手伝ってもらって組織を作っていく。選手の入れ替えができるシステムが理想である。ミドルクラブも引き抜きを気にしたりということがある。この組織で日の当たらなかった

内 容

人を発掘していく。ブロックの活動がなければ直接吸い上げる。中体連に関しては可能性のある選手がいるはずなので、中体連で大会に出すとか工夫をしていくべきである。地域地域で変わっても良い。発掘していくということを目的とする。大変ではあるができないことではないが、そういった考えを浸透させていく。(藤原)

- ・地区トレセンと連携をとり、より多くの選手を交流戦に出場させていきたい。ミドルクラブも増えてきていて、色々なサッカー観がある。ミドルクラブがあるということをメリットと感じて、情報を集めることが必要だと思う。トレセンの関わり方を考える。ミドルクラブの子を集める事なのか、中体連に関わるのか。(島田)
- ・ミドルクラブからトレセンに上がってくるのは悪い事ではないので、バランスをみてミドルクラブ中心の地域は中体連のサポートをするとか、そこを我々が考えて整理していかなくてはいけない。(藤原)
- ・レイソルでは提携クラブがある。それで十分なのかとも思う。ブロックではトレセンとは何かを真剣に考えて活動してくれている。そこは理解してもらいたい。(島田)
- ・会計について、toto の助成は申請しないようにしたいという県協会の考えがある。(藤原)
- ・toto の件で、CFA アカデミーで申請することだけではなく、県協会とジェフ、レイソル共同で toto 助成を申請できることを考えられればと思う。(坂本)
- ・3種の個人登録費の値上げもやっていくことも考えていく必要があると思っている。(高橋)
- ・ジェフ、レイソルがどういう視点で選手を見ているか、選手発掘のヒントをもらいたい。(坂本)
- ・選手は柔軟性があると思う。ストロングポイントをどういう風に見ていくか。子供は気分よく育ててほしい。千葉の方も町クラブがどんどんやっていくということで良いと思う。そうなった時に責任を持てるかどうかだと思ふ。そのために交流が必要だと思う。育成と普及はどこが違うか。普及から育成に持っていく橋渡しが大事。(稲田)

検証会議
CFA アカデミーU-13 活動報告

■ toto 助成の状況

《助成対象の事業》

スポーツ団体スポーツ活動助成

スポーツ活動推進事業 『スポーツ教室・スポーツ大会等の開催』

助成対象経費：7,172,835 円

交付額：5,164,000 円（震災復興支援のため、4/5 の交付金額から 10%減）

■ アカデミー活動報告

《8 ブロックトレセン》

- | | |
|--------|-------------------------|
| 1 ブロック | 5 月、6 月、8 月に活動 |
| 2 ブロック | 5 月に活動 |
| 3 ブロック | 3 地域に分かれて活動。ブロックでの活動はなし |
| 4 ブロック | 5 月、6 月、7 月に活動 |
| 5 ブロック | 4 月、5 月、6 月、7 月、8 月に活動 |
| 6 ブロック | 4 月、5 月、6 月に活動 |
| 7 ブロック | 4 月、5 月、6 月に活動 |
| 8 ブロック | 4 月、5 月、6 月に活動 |

4 月は震災の影響で会場を確保できないなどの理由で活動ができないエリアもあったが、5 月頃から各ブロックで活動をスタートしている。しかし、各ブロックの温度差もあり、積極的に活動を行っているブロックとそうでないブロックが出てきている。また、ブロックの中でさらにエリアを分けて活動している地区もあり、すべての情報が集められていない現状がある。ブロックによっては中体連が中心であったり、クラブが中心であったりする地区があり、必ずしもブロックトレセンがその地区の全選手を把握している状況ではない。セカンドスタッフの視察は順次行われており、少しずつ特徴のある選手の把握もでき始めている。しかし、まだ視察に行けないエリア、特に南エリアには行けておらず情報が収集できていない状況もある。セカンドスタッフが視察に行く事で、ブロックトレセンの指導者との交流が図れている。

《セカンドトレセン》

5月、6月、7月にトレーニングを実施。(5月、6月はサウス、ノース合同)

8月はJEF主催イベント『JEFカーニバル』へ参加

9月より関東交流戦へ参加

※各試合日サウスとノースが交互に参加、交流戦に参加しないチームは対戦相手をJクラブ中心にトレーニングマッチを行う。

《トップ》

現状活動なし (Jクラブの練習への選手の参加はなし)

■今後の活動予定

《ブロックトレセン》

トレセン優先日の活動を中心に各ブロックで活動を行っていく。

セカンドスタッフの視察をさらに活性化させていき、個の発掘を心がけると共に、U-13の個の育成についての共通認識を高める。

《セカンド》

9月から関東交流戦がスタートする。各月サウスとノースを交互に出場させ、1月からはサウス・ノース選抜での出場を予定。

交流戦に出場しないチームは対戦相手をJクラブ中心にトレーニングマッチを実施予定。

《トップ》

要検討

■CFA アカデミー 活動周知

○千葉県サッカー協会 HP による活動報告

- ・TOP ページへ CFA アカデミーバナーの設置 (技術委員会のページへリンク)
- ・技術委員会のページでの活動報告 (報告書へのリンク)



○セカンドトレーニング会場での toto 助成横断幕の設置

- ・サウス トレーニング時に設置
- ・ノース トレーニング時に設置



CFA アカデミー議事録		作 成 者	(株)エス・シー・エス 坂本
会議内容	検証会議		
開催日時	平成 23 年 12 月 20 日(火)	18:00～19:30	開催場所
	フクダ電子アリーナ		
出席者	藤原(ユースダイレクター)、島田(技術委員)、中山(4 種技術委員長)、柳橋(市立柏)、池田(柏ラッセル)、永井(アドバイザー) 山田(3 種技術委員長)、吉田(レイソル)、増本(レイソル)、水庫(ユース技術委員長)、小林(クラブ連盟)、元岡(クラブ連盟)、坂本(事務局)		

内 容
<p>■現状報告</p> <p>○U-13 現場より</p> <p>柳橋 色々な人が関わっているため、子供たちにまだ伝えたいことがスタッフの中に浸透していないと感じる。現状の課題の共有をし、U-14 に繋げていく必要がある。</p> <p>池田 現在の活動により、多くの選手を見られるようになっている。指導の面では、まだ行き届いていないと感じている。県トレの裏でブロックトレセンを見れているので、多くの選手を見れている。スタッフの人数をしっかりと決めることも必要である。</p> <p>■Jクラブより</p> <p>増本 ・ゲームを見て、意見を伝えることができている。 ・レイソルの練習に参加できそうな子の話もできている。 ・レイソルメンバーとトレセンメンバーが混ざってトレーニングマッチを行った。 ・トレセンとの対戦の際、スタッフが多く集まっていたので話し合う機会を作れた。</p> <p>■山田 3 種技術委員長より</p> <p>たくさんの選手がトレセンに参加でき、関東交流戦に参加できた。指導の質の部分で今後の課題だと思う。国体が U-16 になることで千葉県で様々な取組をしてきたが、新たな課題もいろいろと見えてきた。そういった中で、U-13、14 のトレセンは 3 種の指導者が中心となってやっていくのが良いだろうという方向性になっている。</p> <p>■改善点</p> <p>・トレセンと Jクラブの交流内容が地域の指導者に伝わっていない。 ⇒活動情報のオープン化が必要 ・Jクラブへの参加選手がまだ少ない。選考方法どうするのか。 ⇒Jクラブと県トレスタッフの話し合いが必要。焦らずにしっかりと選手を見て実施する。 ・Jクラブがトレーニングを見て良い選手がいた時、クラブのコーチに話をして良いのか。それとも県トレスタッフに話をすべきなのか。 ⇒今まで通り直接やりとりをしてもらって構わない。Jクラブもクラブ側に誠意を持って話し合う。県トレ参加のクラブには予め理解を得ておく。</p> <p>■来年度の活動について (参考資料あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの確保 ・ブロックの活動の充実、選手の発掘 ・Jクラブとの関わり ・U-14 中体連選抜の立ち上げ

内 容

小林 トレセンスタッフが3種で少ないという話があるなかで、中体連選抜を立ち上げて大丈夫なのか。

水庫 元々、中体連の先生がトレセンに行くクラブの選手ばかりで自分の選手を見れないということで県トレスタッフから離れていった。中体連選抜であればやりたいというスタッフはいる。

■国体について

水庫 千葉国体ではU-13、U-14はJ抜き、U-15はJクラブを入れて行った。今年度はJクラブ抜きでやった。来年度はどうするのか。1月のマッチデーの時に話をしたいと思う。国体への繋げ方も考えていきたい。

■アドバイザーより

永井 会議の中で成果と改善点がしっかりと出ているので、今後も継続して良いものにしてもらいたい。ブロックを回って見させてもらっているが、色々と考えてやられていると感じる。

■次回会議について

- ・4種との関わりについて
- ・検証委員会とプロジェクト委員会合同で実施

CFA アカデミー議事録		作 成 者	(株)エス・シー・エス 坂本
会議内容	プロジェクト委員会		
開催日時	平成 23 年 12 月 20 日(火)	19:30~21:00	開催場所
出席者	藤原(ユースダイレクター)、島田(技術委員)、稲田(4種委員長)、高橋(3種委員長)、 吉田(レイソル)、増本(レイソル)、小林(ジェフ)、坂本(事務局)		

内 容
<p>■稲田委員長より 活動するにあたって、一貫指導になっているか、私的ではなく公的になっているか、指導者が共通意識を持っているかを考えてほしい。</p> <p>■ジェフ小林取締役より 検証をしていくことは大事なことである。まずチャレンジをして、それを検証して良くしていけたらと思う。</p> <p>■レイソルより 吉田 レイソルの J1 優勝について、ネルシーニョ監督が持ち込んだ勝つための姿勢が職員も含めクラブ全体に浸透した結果だと思う。 ネルシーニョ監督が何をしたかなど、話す機会が設けられればと思う。 増本 トップも結果が出て、アカデミーにも刺激が出て、それを地域に広げていくというのが大事だと思っている。</p> <p>■高橋 3 種委員長より 3 種のスタッフを元気にさせることが仕事だと思っている。若いスタッフも増えてきているので意識を上げていけるようにしたい。</p> <p>■島田より活動報告 (別紙資料参照)</p> <p>■中体連選抜について 高橋 若い先生がやる気を持ってやっているの、どんどんやらせていきたい。人間関係を築くことで自信を持つことができると思う。また、埋もれている選手の発掘にも繋がると考えている。 小林 U-13 ではやらないのか。 島田 仮入部期間 6 月ぐらいまであり、活動が難しい。</p> <p>■4 種との関わりについて 島田 中学校 1 年生が 6 月ぐらいまで仮入部期間でボールが蹴れない環境がある。4 種の地区トレセンを中学 1 年生の 6 月まで引き延ばし、3 種の先生がそこに見に行く体制を取れば、トレセンの活動ができないということがなくなり、4 種と 3 種で選手の共有ができるようになる。このような体制も検討したい。</p> <p>次回、4 種との関わりについても議題に上げたい。</p>

CFA アカデミー2012年度の活動について

《目標》

千葉県から世界に通じる選手の育成

《目的》

- ・千葉県全体での選手育成と発掘
- ・個の育成

＜アカデミー組織構築の基本的な考え＞

Jクラブが2チームある千葉県のメリットを生かし、Jリーグを活用した育成システムを構築していくことを目標にシステムを構築。

今までの8ブロック制を崩さずにスムーズに移行できることをベースに考えた。多くの選手を発掘するには地区トレセンの充実を図ることも大切でブロックの活性化と指導者の交流も目標においたプロジェクト会議では、中体連の活性化などの問題点もあがった。

(これまでのトレセン活動の反省点)

- ・U13選手の移動距離の問題
- ・3種スタッフがもっと主導権を握って現場をつくっていく。
- ・スタッフの役割分担の明確化
- ・勝つことだけでなく、育成を考えた指導現場の改善
- ・地区トレセンの活性化 など

《2012年度活動案》

- | | | |
|------------|-------------|--|
| ○U-13 | ・セカンド(県トレ) | ノース・サウスの2地域で活動する。
指導は3種のスタッフが担当する。 |
| | ・サード(8ブロック) | ノース・サウスの2地域に分ける。
2種のスタッフが視察を担当する。 |
| ○U-14 | ・セカンド(県トレ) | ノース・サウスを1本化し、1箇所での活動とする。
指導は3種のスタッフが担当する。 |
| | ・サード(8ブロック) | ノース・サウスの2地域に分ける。
2種のスタッフが視察を担当する。 |
| | ・中体連選抜 | 新たに立ち上げ、中体連選抜からセカンドへ選手を吸い上げる。 |
| ○Jクラブとの関わり | | Jクラブの練習へセカンドの選手を参加させる。
その他、様々な場面での協力をお願いする。 |

3種技術委員・クラブ連盟・中体連スタッフ合同会議(2011.12.5)

及び千葉県技術委員会会議(2011.12.12)

会議内容報告

【2011年度実施案と実施実績】

- ・ 8ブロックをノース、サウスに分けたトレセン活動
⇒6月から実施
- ・ 関東トレセンリーグへのノース、サウスの2チーム参加
⇒2チーム参加はできなかったが、代替策としてノース、サウスが交互に参加する事で多くの選手が関東トレセンリーグへの参加を経験ができた。
- ・ 8ブロック交流戦の実施
⇒2月に実施予定
- ・ Jクラブからノース、サウスへのスタッフ派遣
⇒ジェフから八重樫さんがサウスの視察に来ていただいている。
⇒現場では盛んに交流が行われている
- ・ Jクラブから8ブロックトレセンへのスタッフ巡回
⇒現状実施なし。
- ・ 県トレ選手のJクラブトレーニングへの参加
⇒現状実施なし。ジェフとのトレーニングマッチ後に30分程度一緒にトレーニングをさせてもらえた。

【2011年度の活動についての振り返り】

《成果》

- ・ 多くの選手が関東リーグやJクラブとの試合を経験できている。U-13は勝負に拘らず、多くの選手に色々な経験をさせてあげられれば良い。
- ・ 多くの選手を見ることができる。
- ・ 中体連の選手にもチャンスが増える
⇒県トレに中体連から上がってきていない現状もある
- ・ 選手（保護者）の移動にかかる負担が少なくなっている。
(⇒月に1回の活動なので、負担はかかるが1箇所で行っても問題ないのではないかと)
- ・ Jクラブの練習を見学させてもらう事ができている。
⇒ジェフフェスティバルにも参加させて頂いた
- ・ ブロックトレセンに2種の先生方が視察に行き、トレセンスタッフと交流が持てている。2種の先生方も勉強になっている。

《改善点》

- ・ Jクラブがアカデミーに協力する事について、Jクラブの現場レベルまで浸透していない。
- ・ ノースメンバーは7ブロックのメンバーが7割以上である。ノースは7ブロック、サウ

スはヴィヴァイオが中心だという声がある。

⇒スタート時点では偏りがあったが、今はバランスが取れてきている。

・2チームに分けて、2チームが関東リーグに出場できなければ意味がないのではないか。
(⇒2チームが交互に関東リーグに出場しているので、出場した選手は多くなっている。)

・Jクラブの練習に県トレの選手を参加させることができていない。今までの活動との違いがない。

・トレセンスタッフを見ると、3種の先生が少ない。居場所がないという意見がある
(⇒現場は2種の先生方は指導にはあまり入っていない。2種の先生は視察に回っている。)

・ノース、サウスがあると活動が倍になっているがどうなのか？
(⇒U-14のスタッフ人数とそれほど変わらずにやれている。)

・ノース、サウスに分けて担当できる人材がいるのか。

【2012年度の活動についての意見】

・来年U-14をノース、サウスに分ける場合、サウスでは、35名を選んで20名が関東リーグ出場、15名をバックアップで高校生と試合する事を考えている。中体連は外して考えている。

・中体連ではノース、サウスのように2地域の枠組みは必要だと思う。

・千葉県でどういう選手を育てるというベクトルが必要。

・U-13は勝負にこだわらなくて良い。

・U-13を早くスタートさせるために、4種と3種の連携が必要。

・1年でノース、サウスに分けるのをやめるという判断は良くない。

・今年の問題点を修正して続けていくべき。

・ジェフ、レイソルとの関わりを現場からではなく、統括する人から話をするべき。

(⇒専務理事、福永、藤原でJクラブとコンタクトを取る。)

・検証委員会前に現場の意見の集約をするべき。

・継続していくという方向性で考えていくべき。

・千葉県からJリーガー、日本代表を出すというのが目標である。

・ジェフ、レイソルが入らないのであればノース、サウスに分けず一本化した方が良い。

・8ブロックトレセンを充実させるべき。

・中体連選抜を技術委員会に位置づけしてほしい。

・トレセンマッチデーはクラブ同士の対戦をする日に。

・クラブトレセンをしていくのは難しい。そこを2種の先生に任せたい。

・中体連選抜を作って、どこかのタイミングでクラブと合わせていく。

・Jクラブとのゲーム後、Jクラブに30分程度トレーニングを実施してもらうなど、Jクラブが主導でアカデミーを活動しなくても現場レベルで交流ができれば十分ではないか。

・3種と2種の垣根を取り払う。

・トレセンを国体にどう繋げるか。

【2012年度 CFAアカデミー活動案】

2011年12月20日



種別	4種	3種			2種
年代	U-12	U-13	U-14	U-15	U-16
目的		多くの選手に経験をさせる	質の高さを求める		
活動内容					
課題		← 4種と3種の連携	← Jクラブとの連携		← 国体への繋げ方 3種と2種の壁

CFA アカデミー議事録		作 成 者	(株)エス・シー・エス 坂本
会議内容	検証会議		
開催日時	平成 24 年 2 月 14 日(火)	18:00~19:30	開催場所 フクダ電子アリーナ
出席者	藤原(ユースダイレクター)、島田(技術委員)、稲田(4種委員長)、福永(技術委員長)、増本(レイソル)、小林(ジェフ)、朴(ジェフ) 水庫(ユース技術委員長)、山田(3種技術委員長)、渡辺(ヴィヴァイオ)、小林(クラブ連盟)、金子(県協会)、坂本(事務局)		

内 容
<p>■会議次第により説明(島田より)</p> <p>①活動報告 ②関東交流戦 ③ブロック交流会 ④来年度の活動 ⑤会計報告</p> <p>■水庫ユース技術委員長より 来年度の活動について(1/22 マッチデー後 U-13,14,15 担当者と会議を実施) U-13・・・サウス・ノースに分かれ、1 月より 1 本化する。 U-14・・・スタートから 1 本化。トップとバックアップで活動 U-15・・・トップとバックアップに分かれて活動。今年度は J クラブ抜きで活動。来年度も J クラブ抜きで活動 中体連選抜・・・県トレへの吸い上げを目的とする。ブロックトレセンとの優先順位は整理が必要。 ブロックを通さずにトップに上がってしまうという声もあったが、リーグ戦などでも活躍している選手 選手がいたら積極的に上げられるようにしたい。</p> <p>高体連選抜・・・2 種のトレセンがなくなりつつある。国体が U-16 となってから U-17 は地域対抗戦を 12 月行い、3 月に JFA 選抜に出場していたが、地域対抗戦と JFA 選抜がなくなった。今年は関東だけでおこな った。関東トレセンは J クラブと高円宮杯に出場している選手は入れない。関東の対抗戦の開催 意義がなくなっている。</p> <p>■予算について 藤原 来年度は toto 助成は受けないこととなった。技術委員会の中で予算を確保し、その中で実施していくこと なった</p> <p>■国体への繋げ方について 水庫 3/22 からの京都招待に参加する。3 年連続で参加となる。これは継続して参加していきたい。 選手には個人負担をしてもらう。</p> <p>■中体連選抜について 山田 新人戦(U-14)の時期からスタートし、U-15 の秋ごろまで続けて行う。U-14 と U-15 は並行してやらない。 優先はあくまでも県トレセンとする。ブロックと中体連は同じトレセンデーに活動することになるので、 ブロック対中体連とならないよううまく連絡を取りながら調整してやっていく。 ブロックを通さない吸い上げはブロックのスタッフと連絡をとりながら連携してやっていく。</p> <p>■各スタッフへの伝達について(水庫ユース技術委員長より) 4 月 9 日 チーフ会議 各カテゴリーの役割分担を行う 4 月 15 日 ブロック担当会議 (県トレチーフも参加) ※4 月 22 日トレセンマッチデー</p>

内 容

■その他

渡辺 トレセンの意味を分かって関わってもらえていない。現場は頑張っているが質が落ちてると感じている。何を目的とするのか、明確にしないといけない。

1人1人の意識を高める必要があるのではないか。

小林浩 ブロックトレセンの活動の回数であったり、ブロック間の誤差、温度差を誰が統括するのか。ブロック任せでいいのか。それで済ませていいのか。

高校のトレセンがなくなることに、トレセンはそもそもどこが発信して活動をしているのか。県なのか、関東なのか、JFA なのか。

水庫 ブロックの温度差があるのは特に南エリア。ブロックが広くて市単位で活動しており、ブロックとして活動できていない。

山田 8ブロックのスタッフ名簿を出してもらっているが、人数もバラバラで統括は難しい。吸い上げのシステムができていけば良いと思う。トレセンを活性化するために公式戦を入れないマッチデーができています。マッチデーがようやく定着してきている。

水庫 マッチデーに JFA の公式試合を入れてしまっている現状もある。

U-17、U-18 は自分のチームで活動をして、リーグ戦などで伸ばすという話になっている。

渡辺 トレセンでチームの活動以上の活動ができるよう、指導者の意識をもっと高めてやってもらいたい。そこに焦点を当ててもらいたい。

■Jクラブより

朴 トレセンの有り方を見直さなくてはならないのではないかと。トレセンのためのトレセンではない。選手を発掘するためのトレセン、発掘できなければなくてもいいのではないかと。これまではプレーする環境がなかったから必要だった。今では大会なども増えてプレーができるようになってきている。

Jクラブは一つのトレセンとして託されていると思っている。我々が協力してやっていけることはいかに良い選手を発掘して下から吸い上げていくかということだと思っている。

増本 活動の協力の仕方は今年度と同様にやれる中で継続してやっていきたい。トレセンで気になることは U-17 がなくなる事。千葉県としても J 抜きでクラブ中心の選手でやっていくとなっている。一方で、4種は J の選手を出してほしいと言われている。各種別で要望が異なっていて統一がされていない。選手に合った環境でやらせていきたい。千葉県としての意義や方向性を決めることが大事だと思う。そもそもトレセンが何かというところで漠然としてしまっているのではないかと。

■今後について

・報告書を最後にまとめて提出させて頂く。

・今後の会議は、技術委員会の中で行う。ジェフ、レイソルからも出席をお願いしたい。

小林寛 技術委員会の中で検証ができるのであれば良いと思う。自分のチームのことを考えてしまうような方々が出てしまうような会議だと検証ができないということで第三者が集まる検証会議を行うということだったが、それが今の技術委員会のメンバーでできるのであれば問題ないと思う。

山田 会議を精選して行ってほしい。そして流れを濃くしていった方が良いのではないかと。

朴 6種～1種まで集まる会議で検証が可能なのか。

増本 その会議では Jクラブの関わりについては特別な話になってしまう。その場とは別で Jクラブの関わり方について話し合う場を作って話し合いたい。色々な方々がいる中で、Jクラブの関わり方について特化して話し合うのは難しいのではないかと。

藤原 そういった会議を行った後に、30分程度でも特化して話し合う場を作ればと思う。

これまでジェフ、レイソルから技術委員会へ出席して頂いていたが、今は出席してもらえなくなっている。

水庫 技術委員会では過去は報告が多かった。会議資料を事前に送る事で会議で議論ができるのではないかと。

内 容

小林浩 何をもって成功とするのか、過去にトレセンを介してプロになった選手がいるのか。どの段階でトレセンに入っているのか、どういう経緯でプロになっているかのデータがあれば参考になる。

■スタッフ案について(山田3種技術委員長より)

スタッフはリストのように考えているが、ここから増えてほしいと思っているがすべての方が来れるわけではないと思うが、3種のスタッフを中心に考えている。U-15は国体もあるので、2種のスタッフ中心で考えている。

■福永技術委員長より

トレセンとは何かという話がでている。指導者の意識を高めていかななくてはいけない。プレイヤーズファーストで選手が良い環境でできるように我々が頑張っていかななくてはいけない。やる気のある指導者に引っ張ってほしい。

2012年2月14日

CFA アカデミー検証会議

①2011年度 U-13 の活動報告

《県トレセン》

- 4月 ノース、サウス合同で実施 (U-12 名簿を基に選手招集)
5月 ノース、サウス合同で実施
6月 ノース、サウス分かれて実施
8月 JEF カーニバルへノース、サウスそれぞれで出場
9月 ノース：レイソルと TG サウス：関東交流戦(vs 東京都)
10月 ノース：関東交流戦(vs ジェフ) サウス：レイソルと TG
11月 ノース：トレーニング サウス：関東交流戦(vs アントラーズ)
バックアップトレセン実施
12月 ノース：関東交流戦(vs 群馬選抜) サウス：ジェフと TG
1月 ノース・サウス合同：関東交流戦(vs レイソル)
バックアップトレセン実施
2月 ノース・サウス合同：関東交流戦
バックアップトレセン実施

《ブロックトレセン》

- 1ブロック：5、6、8、9、10、11、12月活動
2ブロック：5、11、12月活動
3ブロック：9、11、12月活動 ※支部ごとでその他の活動有り
4ブロック：5、6、7、9、10、11活動
5ブロック：4月～1月活動、トレセン優先日以外にも活動
6ブロック：4、5、6、9、10、11月活動
7ブロック：5、6、9、11、12月活動
8ブロック：4、5、6、9、11、12月活動

②関東交流戦について

- 2月25日～26日 茨城県神栖市 矢田部グラウンド
※日程表、メンバー表は別紙

③ブロック交流会について

- 2月25日 八幡球技場/八幡高校
2月26日 ノース：松戸馬橋高校 サウス：幕張総合高校
※詳細別紙

④来年度の活動について

- ・理事会提出資料
- ・課題・・・U-12 との連携

⑤会計報告

- 2011年度報告
2012年度予算

⑥その他

【2011年度 関東U-13・14トレセン交流戦】

【U-13】60分ゲーム(30分-10分-30分)

月日(曜)	試合時間	対戦			主審	副審	会場	
2/25(土) (vs各都県)	① 11:00~12:10	茨城	vs	千葉	茨城		矢田部サッカー場A面 (茨城県神栖市波崎)	
	② 12:20~13:30	山梨	vs	U-12B	山梨			
	③ 13:40~14:50	茨城	vs	埼玉	埼玉			
	④ 15:00~16:10	山梨	vs	群馬	群馬			
	第6節~第7節	① 11:00~12:10	埼玉	vs	東京	東京		矢田部サッカー場B面 (茨城県神栖市波崎)
		② 12:20~13:30	群馬	vs	神奈川	神奈川		
		③ 13:40~14:50	千葉	vs	栃木	千葉		
		④ 15:00~16:10	神奈川	vs	U-12B	U-12B		
		⑤ 11:00~12:10	栃木	vs	U-12A	栃木		
	未定	⑥ 12:20~13:30	空き時間					
		⑦ 13:40~14:50	東京	vs	U-12A	U-12A		
		⑧ 15:00~16:30	(U-14)	vs	(U-14)			
2/26(日) (vs各都県)		① 9:00~10:10	千葉	vs	U-12A	千葉		矢田部サッカー場A面 (茨城県神栖市波崎)
		② 10:20~11:30	茨城	vs	U-12B	U-12B		
	③ 11:40~12:50	埼玉	vs	U-12A	U-12A			
	④ 13:00~14:10	群馬	vs	U-12B	群馬			
	⑤ 14:20~15:30	東京	vs	栃木	栃木			
	第8節~第9節	① 9:00~10:10	群馬	vs	埼玉	埼玉		矢田部サッカー場B面 (茨城県神栖市波崎)
		② 10:20~11:30	東京	vs	山梨	東京		
		③ 11:40~12:50	栃木	vs	神奈川	神奈川		
		④ 13:00~14:10	千葉	vs	山梨	山梨		
		⑤ 14:20~15:30	茨城	vs	神奈川	茨城		

【U-14】80分ゲーム(40分-10分-40分)

月日(曜)	kick off	対戦			主審	副審	会場
2/25(土) (vs各都県)	① 11:00~12:30	茨城	vs	埼玉	茨城		矢田部サッカー場C面 (茨城県神栖市波崎)
	② 12:40~14:10	群馬	vs	山梨	山梨		
	③ 14:20~15:50	茨城	vs	栃木	栃木		
	④ 15:00~16:30	群馬	vs	神奈川	群馬		
	⑤ 15:00~16:30	千葉	vs	山梨	千葉		
第6節~第7節	① 11:00~12:30	栃木	vs	東京	東京		矢田部サッカー場D面 (茨城県神栖市波崎)
	② 12:40~14:10	千葉	vs	神奈川	神奈川		
	③ 14:20~15:50	埼玉	vs	東京	埼玉		
	★ 15:00~16:30	千葉	vs	山梨	千葉		
2/26(日) (vs各都県)	① 9:00~10:30	山梨	vs	埼玉	山梨		矢田部サッカー場C面 (茨城県神栖市波崎)
	② 10:40~12:10	栃木	vs	千葉	千葉		
	③ 12:20~13:50	山梨	vs	東京	東京		
	④ 14:00~15:30	茨城	vs	千葉	茨城		
第8節~第9節	① 9:00~10:30	東京	vs	群馬	群馬		矢田部サッカー場D面 (茨城県神栖市波崎)
	② 10:40~12:10	茨城	vs	神奈川	神奈川		
	③ 12:20~13:50	埼玉	vs	群馬	埼玉		
	④ 14:00~15:30	栃木	vs	神奈川	栃木		

- ①レフリーは各チームで帯同し、上記の割り振りで行って下さい。なお、審判服を着用して下:
アシスタントレフリーに関しては、選手でも構いません。
②各チームで、所定のメンバー表を作成し、(第6節~第9節分として)合計20部持参して下
初日受付時に、ご提出をお願いします。

千葉県サッカー協会 U-13トレセン召集選手

2012年 2月25～26日の関東交流大会参加選手 or バックアップメン

	氏名	ポジション	所属チーム	ブロック	2月25・26日関東交流試合	選手番号
1	金杉 祥平	DF	ACカラクテル	第3ブロック	バックアップ	1
2	飯島 隆正	DF/MF左	ACカラクテル	第3ブロック	関東交流戦	1
3	宮下 将吾	DF	Artista FC	第3ブロック	関東交流戦	2
4	山元 陸哉	MF/FW	Artista FC	第3ブロック	バックアップ	2
5	竹内 侖	GK	Artista FC	第3ブロック	バックアップ	3
6	穴澤 希望	GK	柏ラッセル	第7ブロック	バックアップ	4
7	西堀 駿太	DF	カナリーニョ	第7ブロック	関東交流戦	3
8	秋山 大地	MF	カナリーニョ	第7ブロック	関東交流戦	4
9	米田 陽斗	FW	柏イーグルス	第7ブロック	関東交流戦	5
10	染谷 勇志	MF	柏イーグルス	第7ブロック	関東交流戦	6
11	御田村 健吾	MF	柏イーグルス	第7ブロック	関東交流戦	7
12	間中 駿人	MF	柏イーグルス	第7ブロック	関東交流戦	8
13	坂井 大地	GK	柏イーグルス	第7ブロック	関東交流戦	9
14	秋山 剛範	DF	柏マイティー	第7ブロック	バックアップ	5
15	中田 舞輝	MF	ヴェルディSSレスチ	第7ブロック	関東交流戦	10
16	諏訪 友紀	FW	ヴェルディSSレスチ	第7ブロック	関東交流戦	11
17	青竹 翔太	MF	ヴェルディSSレスチ	第7ブロック	バックアップ	6
18	影山 克明	DF/MF	ヴェルディSSレスチ	第7ブロック	バックアップ	7
19	鎌倉 勇利	DF	浦安JSC	第8ブロック	関東交流戦	12

ノースバックアップメンバー

	氏名	ポジション	所属チーム	ブロック	2月25・26日関東交流試合	
1	20 神崎 奨太	MF	ACカラクテル	第3ブロック	バックアップ	8
2	21 熱田 海	FW/MF	ACカラクテル	第3ブロック	バックアップ	9
3	22 鈴木 涼也	MF	カナリーニョ	第7ブロック	関東交流戦	13
4	23 大塚 直人	FP	カナリーニョ	第7ブロック	バックアップ	10
5	24 田川 慶悟	MF	カナリーニョ	第7ブロック	バックアップ	11
6	25 菊池 悠汰	FP	我孫子市立我孫子中	第7ブロック	バックアップ	12
7	26 林 悠斗	FP	マイティー	第7ブロック	バックアップ	13
8	27 遠藤 颯	FP	カナリーニョ	第7ブロック	バックアップ	14
9	28 石井 翼	FW	トリプレッタ	第8ブロック	関東交流戦	14
10	29 加藤 真輝	GK	トリプレッタ	第8ブロック	バックアップ	15
11	30 山田 裕太郎	FW	塩浜中	第8ブロック	バックアップ	16
12	31 屋間拓海	FW	カナリーニョ	第7ブロック	バックアップ	関東交流戦へのバックアップメンバー

派遣依頼書

派遣依頼書

*屋間拓海については、関東交流戦メンバーに欠員がでた場合に連れて行きます。

サウスメンバー

	氏名	ポジション	所属チーム	ブロック	2月25・26日関東交流試合	
1	32 木伏 和也	DF	三井千葉		関東交流戦	15
2	33 山田 修平	MF	JSC千葉		関東交流戦	16
3	34 中村 翼	FW	ラルクヴェール千葉		バックアップ	17
4	35 泉 隼星	MF	ラルクヴェール千葉		バックアップ	18
5	36 河崎 壮太	MF	暁星国際		バックアップ	19
6	37 梅沢 翔	MF	暁星国際		バックアップ	20
7	38 梅津 裕太	MF	JSC千葉		関東交流戦	17
8	39 菊地 雄介	FW			バックアップ	21
9	40 富山 大輔	FP	FC習志野		バックアップ	22
10	41 井岡 海都	GK	千葉SC		関東交流戦	18
11	42 海田 航佑	DF	VIVAIO船橋		関東交流戦	19
12	43 中川 洋介	FW	VIVAIO船橋		関東交流戦	20

派遣依頼書

派遣依頼書

*20名の選手です。

2012 CHIBA FA(U-13) 地域交流戦 実施要項

12. 1. 5

- 1. 主 催** 社団法人千葉県サッカー協会
- 2. 主 管** 社団法人千葉県サッカー協会3種技術委員会
- 3. 主 旨**
- * 関東(U-13)リーグ及び関東トレセン(U-13)に出場する千葉県代表とないうる選手の発掘。
 - * 他地域との交流を通して、個及びチームで通用した部分・課題を認識し、地域全体のレベルアップを図る。
 - * 指導者どうしの交流を深め、学びの場とする。
- 4. 期 日** 平成24年2月25日(土)2月26日(日)
- 5. 会 場**
- 25日(土) 八幡球技場・市原市立八幡中学校
26日(日) 松戸馬橋高校(ノース)・幕張総合高校(サウス)
- 6. 参加対象** CFA 地域フットトレセン(U-13) 16名(含 GK2名)
- 7. 実施方法**
- 2会場展開で各会場4ブロック毎の参加。
- 2月25日(土) 八幡球技場会場 : CFA North : 3・4・7・8 ブロック
八幡中学校会場 : CFA South : 1・2・5・6 ブロック
- 地域対抗戦 ハーフコート 8人制 10分×2 センターホイッスル
フルコート 11人制 30分×3 15分でサイドチェンジ
- 2月26日(日) 前日の修正トレーニング(1時間程度)
地域対抗戦 フルコート 11人制 20分ハーフ×3
- ※会場はNorth:松戸馬橋高校, South:幕張総合高校でお願いします。
- 8. 時 程**
- 2月25日(土)
- 09:00 集合(各試合会場)
 - 09:10 挨拶、諸注意(各試合会場)
 - 09:30 8人制 Scene-1
 - 10:00 8人制 Scene-2
 - 10:30 8人制 Scene-3
 - 11:00 11人制 Scene-1
 - 11:45 11人制 Scene-2
 - 12:30 11人制 Scene-3
 - 13:15 11人制 Scene-4
 - 14:00 11人制 Scene-5
 - 14:45 11人制 Scene-6
 - 15:30 解散

2月26日(日) (トレーニング時間に合わせ集合)

09:00 修正トレーニング [A ・ B]

10:00 11人制 : A × B [20×2]

11:00 修正トレーニング [C ・ D]

12:00 11人制 : C × D [20×2]

13:00 11人制 : A × C [20×2]

14:00 11人制 : B × D [20×2]

15:00 閉会式 & 会議(技術委員、地域監督合同会議)

* 諸連絡等

9. 役割分担&連絡先 [参加技術委員 : 米倉・島田・山口・井上]

CFA-I : 落合政元 090-3506-0711

CFA-II : 藤本淳哉 090-7468-0791

CFA-III : 榎岡裕之 090-4537-5214

CFA-IV : 三戸康裕 090-1618-9621

CFA-V : 村田篤史 090-2646-6553

CFA-VI : 谷垣内康博 090-1424-1793

CFA-VII : 廣瀬純也 090-7700-4303

CFA-VIII : 川野辺孝 090-1553-9750

10. 参加申し込み

登録用紙を各地域の監督が2月10日(木)までにメールまたは郵送で送って下さい。

メール h.yonekura@hotmail.co.jp

住所 〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南5-25

千葉市立おゆみ野南中学校 米倉 秀明

連絡先 090-8817-5985(米倉携帯)

11. その他

①ボールは各チーム持ち寄りとする。

②ゲーム時は登録番号と同じビブス(ユニフォーム)を着用して下さい。2色

お手数ですが、ビブスは各地域で用意してください。(通し番号で2-17)揃わなければ、その場で技術委員に番号を伝えて下さい。

③各地域とも優秀な選手を選出してチームを構成して下さい。

④ゲーム中はシャツ、パンツ、ストッキングの色は統一して下さい。

⑤天候により、内容が変更の可能性がありますので、各トレンチームでの連絡網はしっかりと確認しておいて下さい。

⑥1日目の集合は、各会場に全員集合し、開会式を行う。

2日目の集合は、各チームごとに集合する。

⑦1日目・2日目ともに、ゲーム終了後に技術委員とのコミュニケーションをとった後に各チームで解散とします。

⑧ケガ等に対する対応は、各チームで保険加入も含め、よろしくお願い致します。

12. 参加メンバー表

千葉県 第[]ブロック U-13						
指導スタッフ	監督名	[所属:]				
	コーチ名	[所属:]				
		[所属:]				
		[所属:]				
		[所属:]				
ユニフォーム(色)	FP	正	副			
	GK	正	副			
	背番号	ポジション	選手名	所属	協会登録番号	備考(選手の特徴など)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

※大変お手数ですが、選手の協会登録番号の記入をお願いいたします。備考欄には選手の特徴を記入していただければ助かります。よろしくお願いいたします。

CFA アカデミー2011年度活動報告及び2012年度活動案

《目標》

千葉県から世界に通じる選手の育成

《目的》

- ・千葉県全体での選手育成と発掘
- ・個の育成

＜アカデミー組織構築の基本的な考え＞

Jクラブが2チームある千葉県のメリットを生かし、Jリーグを活用した育成システムを構築していくことを目標にシステムを構築。

今までの8ブロック制を崩さずにスムーズに移行できることをベースに考えた。多くの選手を発掘するには地区トレセンの充実を図ることも大切でブロックの活性化と指導者の交流も目標においたプロジェクト会議では、中体連の活性化などの問題点もあがった。

(これまでのトレセン活動の反省点)

- ・U13選手の移動距離の問題
- ・3種スタッフがもっと主導権を握って現場をつくっていく。
- ・スタッフの役割分担の明確化
- ・勝つことだけでなく、育成を考えた指導現場の改善
- ・地区トレセンの活性化 など

《2011年度実施案と実施実績》

- ・8ブロックをノース、サウスに分けたトレセン活動
⇒6月から実施
- ・関東トレセンリーグへのノース、サウスの2チーム参加
⇒2チーム参加はできなかったが、代替策としてノース、サウスが交互に参加する事で多くの選手が関東トレセンリーグへの参加を経験ができた。
- ・8ブロック交流戦の実施
⇒2月に実施予定
- ・Jクラブからノース、サウスへのスタッフ派遣
⇒ジェフよりサウスの活動へスタッフが視察に来ていただいている。
⇒レイソルとのトレーニングマッチの中で、レイソルとトレセンメンバーを混ぜて試合を行った。
⇒Jクラブとのトレーニングマッチ後に30分程度一緒にトレーニングを行った。
⇒現場では盛んに交流が行われている
- ・Jクラブから8ブロックトレセンへのスタッフ巡回
⇒現状実施なし。
- ・県トレ選手のJクラブトレーニングへの参加
⇒現状実施なし。

《成果》

- ・多くの選手が関東リーグや J クラブとの試合を経験できている。U-13 は勝負に拘らず、多くの選手に色々な経験をさせてあげられれば良い。
- ・多くの選手を見ることが出来る。
- ・中体連の選手にもチャンスが増える(県トレに中体連から上がってきていない現状もある)
- ・選手(保護者)の移動にかかる負担が少なくなっている。
- ・Jクラブの練習を見学させてもらう事ができている。
- ・ジェフフェスティバルにノース・サウスの2チームが参加した。
- ・ブロックトレセンに2種の先生方が視察に行って、トレセンスタッフと交流が持てている。2種の先生方も勉強になっている。

《今後の課題》

- ・4種と3種の連携
- ・3種でのJクラブとの関わり方(Jクラブへ選手を参加させるための選考方法など)
- ・3種から国体への繋げ方

《2012年度活動案》

- U-13 ・セカンド(県トレ) ノース・サウスの2地域で活動する。
指導は3種のスタッフが担当する。
 - ・サード(8ブロック) ノース・サウスの2地域に分ける。
2種のスタッフが視察を担当する。
- U-14 ・セカンド(県トレ) ノース・サウスを1本化し、1箇所での活動とする。
指導は3種のスタッフが担当する。
 - ・サード(8ブロック) ノース・サウスの2地域に分ける。
2種のスタッフが視察を担当する。
 - ・中体連選抜 新たに立ち上げ、中体連選抜からセカンドへ選手を吸い上げる。
- Jクラブとの関わり Jクラブの練習へセカンドの選手を参加させる。
その他、様々な場面での協力をお願いする。

【2012年度 CFAアカデミー活動案】

2011年12月20日



種別	4種	3種		2種	
年代	U-12	U-13	U-14	U-15	U-16
目的		多くの選手に経験をさせる	質の高さを求める		
活動内容					
課題	4種と3種の連携		Jクラブとの連携		国体への繋げ方 3種と2種の壁

2012年度 千葉県トレセンスタッフ(案)

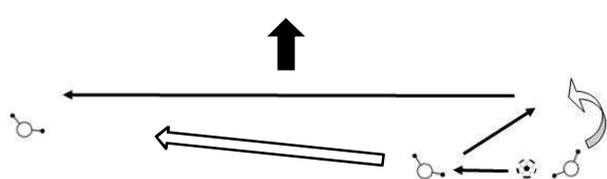
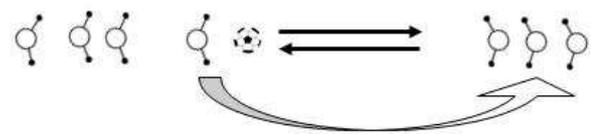
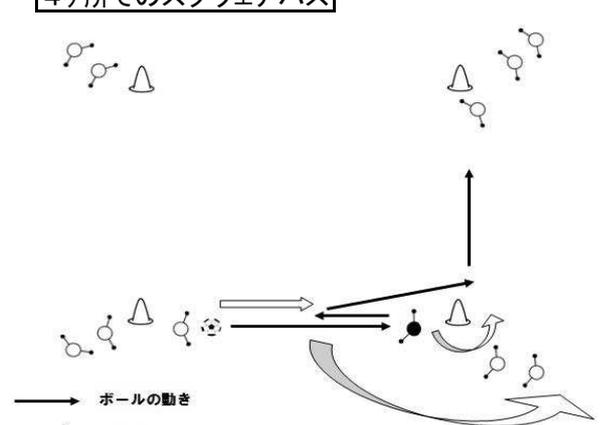
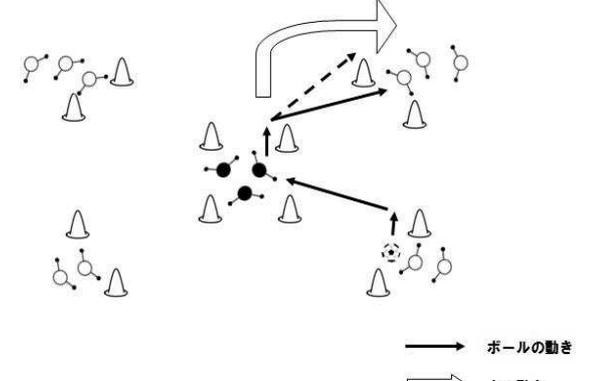
全体責任者
山田 雅一 (轟町中)

H24. 2. 14. 現在

カテゴリー	U-13		U-14		U-15	
	ノース	サウス	県トレセン	中体連選抜	県トレセン	中体連選抜
監督	橋本 真 (カナリー二ヨ)	小田 正則 (習志野七中)	南 暁男 (流山南部中)		清水 久毅 (八幡中)	
ヘッド コーチ	米倉 秀明 (おゆみ野南中)	渡辺 恭男 (VIVAIO船橋)	山中 謙太郎 (双葉中)		中村 之彦 (山武中)	
コーチ	藤瀬 研吾 (若松中)	大瀧 友輔 (八千代市立萱田中)	池田 仁守 (柏ラッセル)		八木 秀一 (PBJ千葉)	
コーチ	鈴木 公則 (茂原南中)	末田 浩 (土気南中)	村田 信行 (カナリー二ヨ)		坂田 温彦 (柏二中)	
コーチ			森崎 大祐 (こてはし台中)			
GK コーチ	加藤 練 (順蹴FC)					

活動報告書

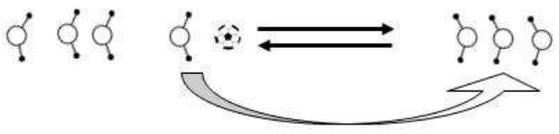
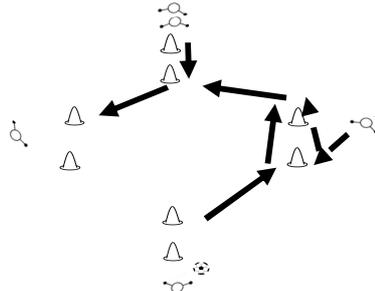
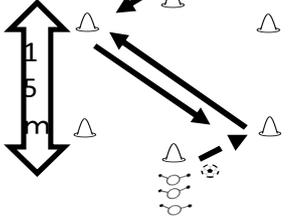
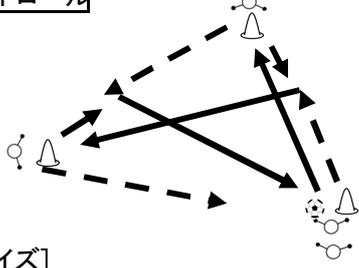
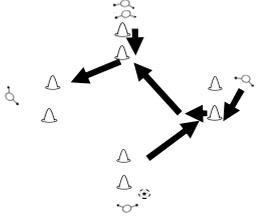
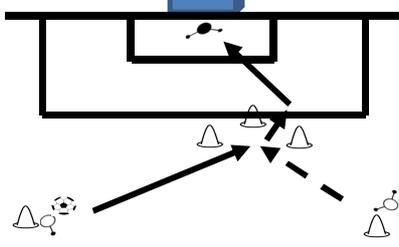
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 1 ブロック	日時	5 月 22 日 : ~ :
担当	落合 政元(五井中学校)	会場	姉崎多目的競技場
参加スタッフ	落合、岡部、矢野、森田、笹川、石野		
テーマ	パス&コントロール センタリングの技術		
指導方法			
<p>W・UP</p> <p>ランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> コート縦100mほどを、体全体をほぐしながら行う。 <p>リフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人ボール1個 半径2m位でリフティング100回。(ボールは地面についてもよい) 体の3ヶ所以上を用いて行う。 2回目は、100回の中で4人以上の人とボール交換を行う(交換のときは出来るだけダイレクト)  <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人1組でボール1個 30m程の間隔で動きながらパス。(短いパスから長いパスへ…) <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ファーストタッチ ・次のプレーにストレスがないように、正確にコントロールする。 ●キックの精度 ・逆サイドのスピードに合わせ、正確なキックを心掛ける。 		<p>TR1</p> <p>対面パス</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 15人位でグループを作る 10m程の間隔で対面パス。(初めはアンダーツータッチで…) 慣れてきたらダイレクトパス <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ファーストタッチ ・次のプレーにストレスがないように、正確にコントロールする。 ●ビルドアップ ・出来るだけ顔を上げて、アイコンタクトを意識する。 	
<p>TR2</p> <p>4ヶ所でのスクウェアパス</p>  <p>→ ボールの動き ⇨ 人の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> 20人～25人でグループをつくる。 5m～8m四方 ●は○から受けたボールをダイレクトで返し背後のコーンを回る●は受けたボールをダイレクトでコーンの横を通るようにパスす●は再びそのボールを受ける。パスをしたら、そのステーションに移動。 慣れてきたら、反対回りにパスを行う。 		<p>TR3</p> <p>5ヶ所でのスクウェアパス</p>  <p>→ ボールの動き ⇨ 人の動き</p> <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 20人～25人でグループをつくる。 5m～8m四方(初めは大きく設定する) ●は外から受けたボールをワンタッチでグリッドの外にコントロール(ボールを受けた所以外にコントロール)し、外の4ヶ所のどこかにパスする。パスをしたら、そのステーションへ。 ○もパスを出したら中のグリッドに移動(ワンタッチしてパス) ボールの数は2個 → 4個に増やしていく。 中のグリッドの大きさは時間とスペースを確保するために、はじめは大きめに設定する。 	
<p>キーファクター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション: 次のプレーに移れるところにコントロールするためにはどこにパスがほしいのか、また、誰からパスをほしいのかの意思表示は大切。 ●周りを見る: 他のボールや他のプレーヤーがいる中で、状況の変化も観ながらスペースにコントロールできるようにする。 ●良い準備: ボールだけの関係から判断を変えられるようにするためのポジションはどこか。また、身体の向きを変えるだけで見えるもの が多くなる。 			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 1 ブロック	日時	6 月 26 日 : ~ :
担当	落合 政元(五井中学校)	会場	市原中学校
参加スタッフ	落合、岡部、矢野、森田、笹川、石野		
テーマ	ボールコントロール 駆け引き		
指導方法			
<p>W・UP</p> <p>ランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> コート縦100mほどを、体全体をほぐしながら行う。 <p>ボールコントロール</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人ボール1個 ドリブル(①右足 ②左足 ③左右交互) 各1分ずつ ターン(インサイド左右5回、アウトサイド左右5回、足の裏左右5回) <div style="text-align: center;"> </div> <p>TR1</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>30m</p> <p>TR2</p> <p>1対1</p> <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> グリットの中にボールを持った選手15人、グリット外にボールを持たない選手15人 グリットの中の選手は自由にドリブル、外の選手はコーチの合図でボールを奪いに行く 時間は約2分 外と中の選手を入れ替えて合計4本行う <p>②は手をつないで行う</p> <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ルックアップ ●ボールコントロール ●コミュニケーション <p>2人で声をかけながら、どちらがボールをコントロールする</p>		<p>TR3</p> <p>2対2</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 6人1組 コーンのゴールを各自で設置し、2対2を行う ボールをワンタッチでパスをする 残りの2人は開始の合図を出す <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●状況判断 ●駆け引き <p>ドリブルかパスか判断をする</p> <p>ボールをもらう前の動きで相手をだます</p>	
<p>TR3</p> <p>6対6のゲーム</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の練習をゲームの中でチャレンジする サッカーコートをもとに、コーンでゴールを作る 7分を4本行う(一人2本はゲームを行う) <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相手との駆け引き ●キープするのか、突破するのか 		<p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人1組、コーンがゴール 1人が2人の間にパスを出す 先にボールを取ったほうがオフェンス <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体の使い方 ●ボールコントロール <p>相手よりも先にコースに入り体を入れる</p> <p>ボールと相手の間に体を入れる</p> <p>ターンなどを使って相手をかかわす</p> <p>●状況判断</p> <p>どっちに攻めるか判断をする</p>	
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 1 ブロック	日時	9 月 4 日 : ~ :								
担当	落合 政元(五井中学校)	会場	スポレクパークA・Bコート								
参加スタッフ	落合、岡部、矢野、大村、菊池、森田、笹川										
テーマ	パス&コントロール、フィジカルトレーニング										
指導方法											
<p>W・UP</p> <p>ランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> コート縦100mほどを、体全体をほぐしながら行う。 <p>リフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人ボール1個 半径2m位でリフティング100回。(ボールは地面についてもよい) 体の3ヶ所以上を用いて行う。 2回目は、100回の中で4人以上の人とボール交換を行う(交換のときは出来るだけダイレクト) <p>対面パス</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 15人位でグループを作る 10m程の間隔で対面パス。(初めはアンダーツータッチ) 慣れてきたらダイレクトパス 		<p>TR3</p> <p>パス&コントロール</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <p>コントロールしてからパス サイドはワンツータッチをする パスしたら移動する</p>									
<p>TR1</p> <p>パス&コントロール</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <p>8人組をつくる。(人数は変更予定) マーカーでボールをコントロールし、マーカーへパスをする。 パスをしたら反対サイドまで移動 次に、動き出しをどちらかのマーカーにおこし、タイミングで反対のマーカーへ変化することにより、判断に働き</p>		<p>TR4</p> <p>パス&コントロール</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <p>全ての場所でワンツータッチ パスしたら移動</p>									
<p>TR2</p> <p>パス&コントロール</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <p>コントロールしてからパス サイドは動きながらターンしてパス パスしたら移動する</p>		<p>TR5</p> <p>パス&コントロール</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <p>動きながらコントロールしシュート 左右交互に行う</p>									
<p>キーファクター</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1、動きながらのコントロール</td> <td style="width: 50%;">5、正確なシュート</td> </tr> <tr> <td>2、正確なパス</td> <td>6、選択肢のあるコントロール</td> </tr> <tr> <td>3、タイミングを合わせる</td> <td>7、ボールの移動中に変化を観る</td> </tr> <tr> <td>4、コントロールからパスまでを早く</td> <td></td> </tr> </table>				1、動きながらのコントロール	5、正確なシュート	2、正確なパス	6、選択肢のあるコントロール	3、タイミングを合わせる	7、ボールの移動中に変化を観る	4、コントロールからパスまでを早く	
1、動きながらのコントロール	5、正確なシュート										
2、正確なパス	6、選択肢のあるコントロール										
3、タイミングを合わせる	7、ボールの移動中に変化を観る										
4、コントロールからパスまでを早く											

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 1 ブロック	日時	10月23日 9:00 ~ 11:30
担当	落合 政元(五井中学校)	会場	国分寺台中学校
参加スタッフ	落合、岡部、矢野、森田、笹川、石野		
テーマ	ドリブル		

指導方法

W・UP 10分

ランニング&ストレッチ

・コート縦100mほどを、体全体をほぐしながら行う。

リフティング

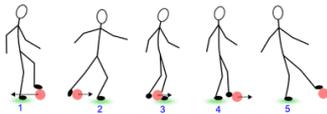
- ・1人ボール1個
- ・半径2m位でリフティング100回。(ボールは地面についてよい)
- ・体の3ヶ所以上を用いて行う。
- ・2回目は、100回の中で4人以上の人とボール交換を行う。
(交換のときは出来るだけダイレクト)

足ならし(ボールと足をくっつけて動かす練習)

[オーガナイズ]

1. ボールを足で踏んだら、転がして後へ引く
2. 軸足に体重を乗せたまま、できるだけ後に引いてインサイドで止める
- 3~4. で一気にボールを押し出す。ボールを回転させずに引きずっていくことでボールと足をくっつける
5. できるだけ前へ押し出して足の裏で止める。
そこからまた後へ引き、以下1~5を繰り返す

※インステップやアウトサイドでもやってみる



ボールコントロール(ドリブル)

[オーガナイズ]

1. 両足の間、身体の真下にボールを置く
 2. 右足をボールの左に回し、足首を捻ってアウトサイドでボールをつかむ
 3. 足首に引っ掛けるようにボールを捉えながら右に押す
 4. 膝を曲げたまま軸足で身体ごと右へ移動
2~4までボールを足にくっつけておくこと
 5. 最後に膝を伸ばしてボールを押し出しながら進む
- この後右足インサイドで切り替えし、左足でも同じことをする

* 図2は直進する場合

図1

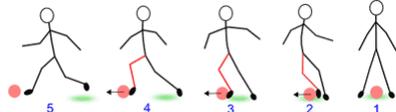
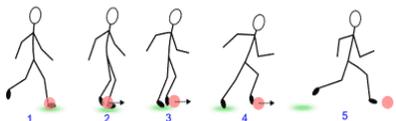


図2

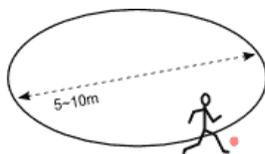


TR1 ドリブル

[オーガナイズ]

8人組をつくる

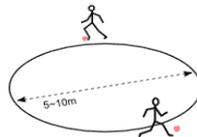
上記の図2でのドリブルを応用して円を回る
始めは右回りからで左周りも行う
今回回はマーカー7個くらいで作成



TR2 ドリブル

[オーガナイズ]

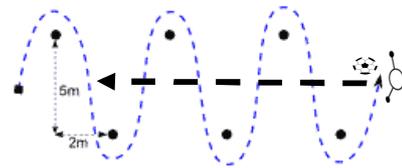
- ・円の周りを2人でドリブルし片方を鬼にして追いかけてこする
- ・ボールも人も円の中に入ってはいけない
- ・鬼が相手に追いつくか自分のボールを相手に当てれば終わり
- ・どちらに回るかは鬼次第
- ・途中でターンして方向を変えながら相手を追う
- ・10秒から20秒くらい
- ・ドリブルが下手で鬼が相手を捕まえられないようなら鬼はボールなしにする



TR3 ドリブル

[オーガナイズ]

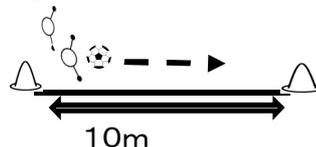
- ・コーンの横をドリブルで抜けていく
- ・最後のコーンを抜けたらスタートに位置で待つ人へパスを送る



TR4 ドリブル

[オーガナイズ]

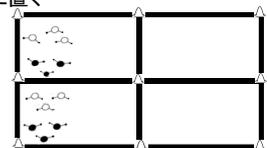
- ・近くにあるラインにコーンを置く
- ・ボールをキープしながらコーン間をドリブルする
- ・最初はディフェンス側は軽めにプレッシャー
- ・状況を見て対決を開始する
- ・対決はフェイントありでコーン間を一往復できれば勝ち(オフェンス)
- ・ボールを取るもしくはラインの外に出せば勝ち(ディフェンス)



TR5 3対3ゲーム

[オーガナイズ]

今日の練習をゲームの中でチャレンジする
サッカーコートを8分割にし、コーンを角に置く
ライン上にボールを置いたら一点
6分を5本行う



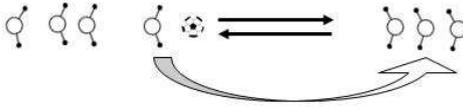
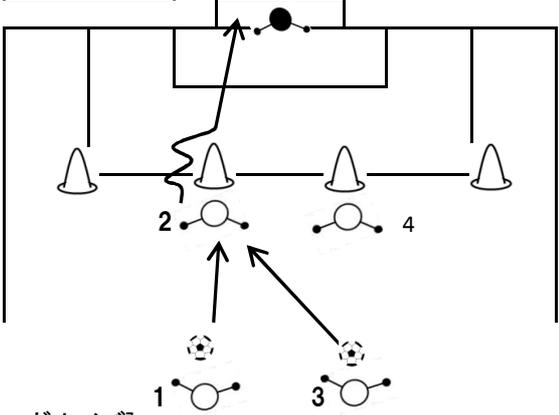
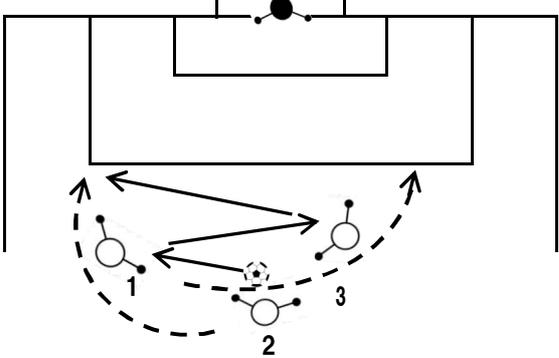
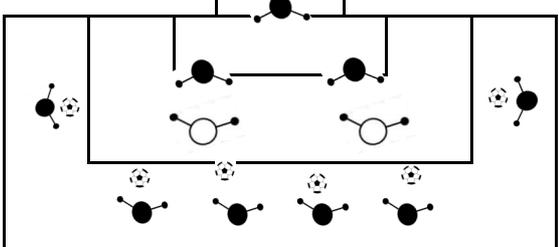
キーファクター

- | | |
|----------|------------------|
| ドリブル時の姿勢 | ボールと足をくっつけて押し出す |
| ボールタッチ | 膝を曲げたまま身体全体で前に出る |
| ルックアップ | ボールが遠くに離れないようにする |

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 1 ブロック	日時	11 月 27 日 9 : 0 ~ 11 : 30
担当	落合 政元(五井中学校)	会場	市原スポレクパーク
参加スタッフ	落合、岡部、矢野、森田、笹川、石野、永井		
テーマ	ドリブル		
指導方法			
<p>W・UP</p> <p>ランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コート縦100mほどを、体全体をほぐしながら行う。 <p></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南総地区トレセンとのトレーニングマッチ <p>[オーガナイズ]</p> <p>105×68のコートにて25分の試合を行う。</p> <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月25・26日に行われるブロックトレセン交流会に向け、第1ブロックのトレセンを選考するのが目的。 ・実戦を通して、市原TCを南総TCの選手を見る。 ・基本的な技術が定着しているかを見る。 <p>[ダウン]</p>			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 1 ブロック	日時	12月18日 9:00 ~ 12:00
担当	落合 政元(五井中学校)	会場	市原スポレクパーク
参加スタッフ	落合、岡部、矢野、森田、笹川、石野、永井		
テーマ	展開の技術、対人プレー		
指導方法			
<p>W・UP</p> <p>ランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> コート縦100mほどを、体全体をほぐしながら行う。 <p>対面パス</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 15人位でグループを作る 10m程の間隔で対面パス。(初めはアンダーツーツタッチで…) 慣れてきたらダイレクトパス <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ファーストタッチ <ul style="list-style-type: none"> 次のプレーにストレスがないように、正確にコントロールする。 ●ビルドアップ <ul style="list-style-type: none"> 出来るだけ顔を上げて、アイコンタクトを意識する。 		<p>TR1</p> <p>ドリブルシュート</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <p>選手1が2へパスし、受けた2はターンしてシュート。4はこぼれに対応するために詰める。逆では3から4にパスをして同様に行う。</p> <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボールを受けてから、ターンを行いドリブルシュート。 ●積極的な仕掛けを行う。 	
<p>TR2</p> <p>人1組でパスからのシュート</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人1組でグループをつくる。 ハーフコートを使用する。 2が1にパスをし1をオーバーランする。1は3にダイレクトでパスを行い、3をオーバーラン。3は2にダイレクトパスを行い2をオーバーラン。一連の動きを行い、シュートまで持ち込む。残り2人はゴール前に詰める。 <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ダイレクトパスによるしかけ。 ●ビルドアップ ●パスの精度 <p>[発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●数回のパス交換の後、状況を見て1人の選手がサイドに大きく開きセンタリングからのシュート。 <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ニアサイドへの入り方。 ●バイタルエリアにスペースを作っておき、緩急によってシュートまで持ち込む。 		<p>TR3</p> <p>6ヶ所スタートの2対2からのシュート</p>  <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペナルティーエリア内で行う。 ●6ヶ所からのパスによる2対2 ●2対2の状況からシュートまで持ち込む。 ●シュートで終わる、DFの奪われたら別の位置からのパスでスタート。 ●6ヶ所スタートを1セットとして行う。 <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボールが入る位置によって崩し方、シュートの位置も変わる。なるべく多くの状況を作り、シュート感覚やしかけのバリエーションなどを身につけさせたい。 	
<p>TR4</p> <p>ゲーム</p> <p>[オーガナイズ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オールコートで行う。 <p>[キーファクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今回のトレーニングが、ゲームのどこで使われているかを確認。 			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	日時	5月22日 8:30～12:00
担当	藏本 淳哉			会場	長柄中学校
参加スタッフ	藏本淳哉 田中弘樹 市原貴雄 西川和伸 吉川明夫				
テーマ	コミュニケーション 視野の確保				
指導方法					
1 2 3 4 5	手つなぎ鬼 パス&ゴー(対面) パス&ゴー(三角形) パス&ゴー(ひし形) ゲーム				
キーファクター ※コミュニケーション(声 ジェスチャー アイコンタクト) ※トラップの足(遠い足 視野を確保できる足)					

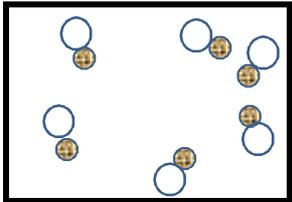
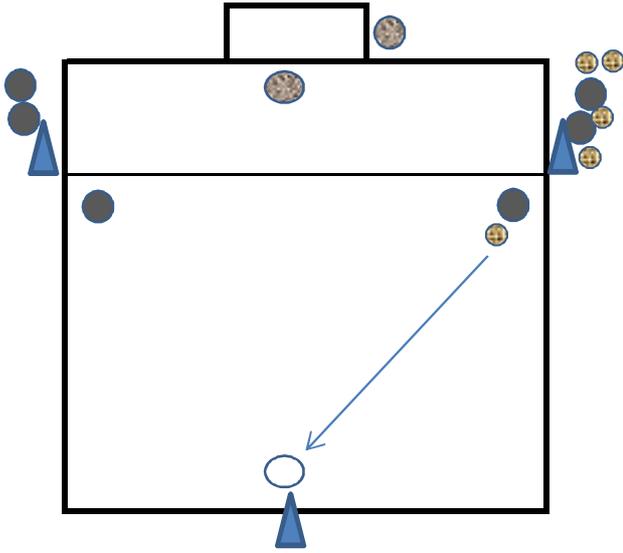
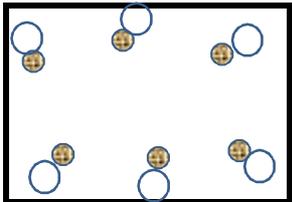
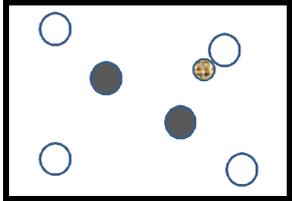
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	日時	11月27日 8 : 30 ~ 12 : 30
担当	蔵本淳哉			会場	長柄町立長柄中学校
参加スタッフ	蔵本 田中 市原 吉川 西川 小原				
テーマ	ルックアップ				
指導方法					
<ol style="list-style-type: none"> 1. アップ 2. サークル内でのドリブル フリー → 右足だけ → 左足だけ → インサイド → インステップ → アウトサイド → 足の裏 3. ドリブル(DFが二人いる状態で取られないようにする) 4. ドリブル(DFが2人いる状況で、四角形の一辺から、逆の一辺に移動する。) 5. ゲーム (ゲーム中に米倉先生のサポートトレーニング) 6. ダウン 					
キーファクター					

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	日時	12月18日 8 : 30 ~ 12 : 30
担当	蔵本淳哉			会場	長柄町立長柄中学校
参加スタッフ	田中 市原 吉川 西川 小原				
テーマ	交流会に向けてのセレクション				
指導方法					
1. アップ 2. ゲーム 3. ダウン					
キーファクター					

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	日時	9月25日 9:00 ~ 12:00			
担当	福岡			会場	増穂中学校			
参加スタッフ	福岡 宮穂 高梨 相馬 永井(アドバイザー)							
テーマ	スキルアップ							
指導方法								
W・UP ボールフィーリング 20分			TR-2 1対2+GK 30分 フットサルコートの大きさ					
<p>リフティング9種</p>  <ul style="list-style-type: none"> 各10回ずつ ・インステップ ・インサイド ・アウトサイド ・かかと ・肩 ・もも ・頭 ・カット ・つま先 			 <p>(オーガナイズ)DFは奪ったらゴールを目指す (ポイント)・DFは奪ったら時間をかけずにゴール ・DFは2人で協力してボールを取る</p>					
<p>ボール当て対決</p>  <p>※強く当てない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の1分 →けつにボールを当てられたらアウト。1分過ぎたら体に当てられたら、またはボールが外に出たらアウト。 			<p>TR 4対2 30分</p>  <ul style="list-style-type: none"> (オーガナイズ) ・リターンなし ・DFは取られたらライン突破 (キーファクター) ・ファーストタッチ ・判断力 ・切り替え <p>(発展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番号順のリターンあり ・番号順のリターンなし 			<p>ゲーム</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">第4ブロックとの交流戦</p>		
<p>キーファクター 各自の視野の確保。選抜チームでのコミュニケーション及び、自己表現。</p>								

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 3 ブロック	日時	11月27日 8:30～13:00
担当	福岡	会場	成東総合運動公園
参加スタッフ	福岡裕之・渡辺喜史・相馬信吾・加藤竜大・安留亮・加藤亮二・雑賀弘之		
テーマ	12月・1月・2月に向けての選手選考		
指導方法			
4支部による支部対抗戦			
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 3 ブロック	日時	12月18日 9:00～14:00
担当	福岡	会場	光しおさい公園
参加スタッフ	福岡(旭二)・渡辺(飯岡)・相馬(カラクテル)・渡邊(アルティスタ)・鈴木(横芝)・雑賀(佐原五)		
テーマ	1月・2月に向けての選手選考		

指導方法

第4ブロック中体連選抜とのTM

時間	実践内容	担当	備考
9:00～ 9:05	選手集合・ミーティング	全	
9:10～ 9:25	ストレッチ	渡辺(飯岡)	
9:30～ 9:55	W-up①	福岡・鈴木・雑賀	4チームに分けて福岡・鈴木・
10:00～10:20	W-up②	福岡・鈴木・雑賀	雑賀・相馬・加藤で担当(予定)
10:30～13:30	TM		25分×6本
13:35～	ダウンストレッチ	渡辺(飯岡)	他スタッフは選考ミーティング
14:00～	ミーティング		ミーティング後解散

キーファクター

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 4 ブロック	日時	5 月 22 日 : ~ :
担当	松本 創(スターナッツ)	会場	
参加スタッフ	松本(スターナッツ)、菊地(スターナッツ)、三戸(順蹴FA)、小谷(ルキナス印西)、上ノ坊(ルキナス印西)		
テーマ			
指導方法			
ポジション考慮の上、5チームに分け、ゲーム形式で実施 各ゲーム2順目途中、佐倉市災害広報より、 大雨警報発令により中止			
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	日時	6月24日 14:00 ~ 17:00
担当	菊地			会場	小間子スターナッツグラウンド
参加スタッフ	八木、松本				
テーマ	一次セレクション				
指導方法					
<p>前回、荒天中断のため、選考会 希望ポジションを考慮し、ランダムな4チームによる8Vs8のゲーム形式で実施。 前回到引続き、体軀、スピード、ボールタッチ等、個人技の確認。 (4種トレセン経験者の現状確認)</p> <p>終了後、スタッフによる選考。 *24名を内定 添付ファイル</p>			<p style="text-align: center;">ゲーム前のミーティング</p> <p>*積極的なドリブルを指示 *狭い局面において、個人での打開を奨励</p>		
<p>キーファクター 前回到引続き、ドリブル、トラップ等基礎技術、各ポジションにおいての適正確認。 各クラブ推薦選手、前回リストアップされた選手の再確認。</p>					

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	日時	7月18日 9:30 ~ 17:00
担当	菊地			会場	小間子スターナッツグラウンド
参加スタッフ	三戸、松本				
テーマ	前回不参加者のセレクション及び順蹠FA U-14とのT.G				
指導方法					
<p>前回、クラブ事情により不参加だった順蹠FA参加によるTG、対象選手の確認。</p> <p>全体でのストレッチ、アップの後、FPとGKに分かれボールフィーリング。(リフティング、シュート練習、キャッチング、セービング)</p> <p>順蹠FA U14との、11Vs11によるTG</p>			<p style="text-align: center;">ゲーム前のミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> *積極的なドリブルを指示 *狭い局面において、個人での打開を奨励 *同クラブ間でのプレーに徹せず、積極的にコミュニケーションをとる事 		
<p>キーファクター</p> <p>別クラブの選手間で、ピッチ内外に限らず積極的にコミュニケーションをはからせる。 ゲーム中、簡単にプレーを斬らないように意識をさせる。</p>					

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	日時	9 月 25 日 12 : 00 ~ 16 : 00
担当	菊地			会場	大網白里町立増穂中学校
参加スタッフ	松本、永井(アドバイザー)				
テーマ	合同TG				
指導方法					
<p>第3ブロック東総トレセン及び、カラクテル・アルティスタ選抜とのTG</p> <p>不参加者や怪我による見学者が多数いたため、編成は1チーム</p> <p>アップ、ボールタッチ後、25分 11人制による実戦。</p> <p>連携、連動の質を高めてポゼッションするよう指示。 メンバー不足の中で、クラブとは違うポジションでの適正を確認</p>					
<p>キーファクター 各自の視野の確保。選抜チームでのコミュニケーション及び、自己表現。</p>					

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	5月4日 8:00 ~ 12:30
担当	村田 篤史(花園中)	会場	千葉市立さつきが丘中学校
参加スタッフ	村田 篤史(花園中) 宮崎 元気(山王中) 鈴木 啓督(千葉大付属中)		
テーマ	U-13選考会		

指導方法

U-13選考会ということで、いくつかのトレーニングを行いました。
 ①50m走 ②ドリブル ③リフティング ④浮き球のコントロール
 を行いました。GKは別にトレーニングを行いました。
 そのあと、35×25のサイズのコートで5vs5+GKのスマールドゲームを実施しました。

②ドリブル



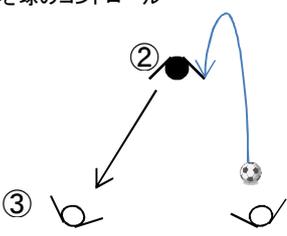
1:フリータッチ 2:右足 3:左足
 4:インサイドのみ 5:アウトサイドのみ

③リフティング

様々な条件を付けて行う。

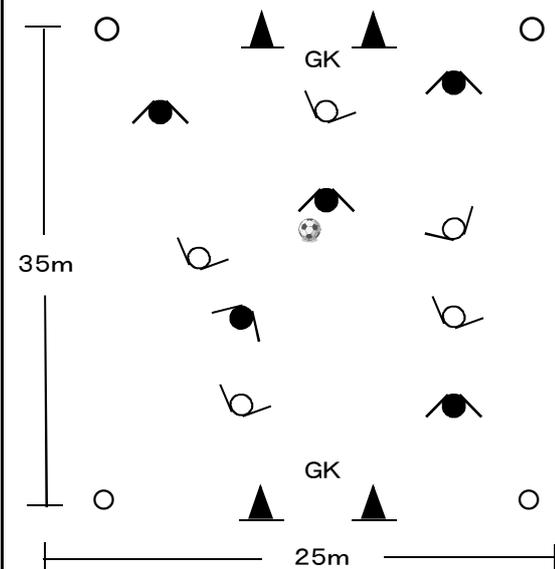
①:フリー②右のみ③左のみ④高さを限定
 ⑤インサイド⑥ヘディング⑦シャペウ

④浮き球のコントロール



①から様々な浮き球を投げ、②がコントロールして、③にインサイドで返す。
 ダッシュで迎えに行つてコントロールするパターンもあり。

○5vs5+GK スモールサイドゲーム



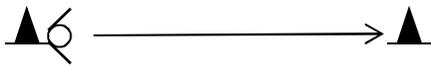
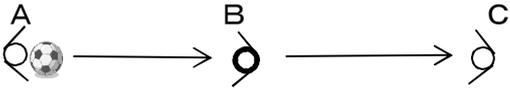
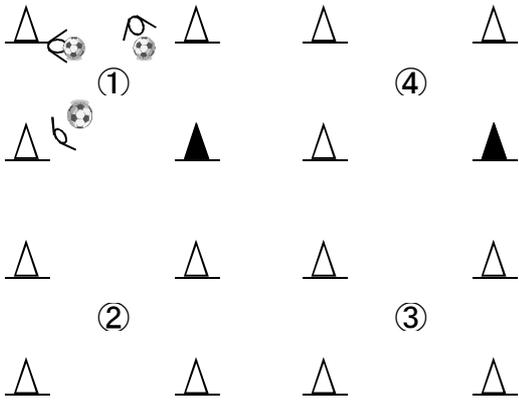
- ※ ①積極的にコミュニケーションをとる
 ②前が空いていたら積極的に仕掛ける
 ③ミスを恐れずにプレーする。

キーファクター

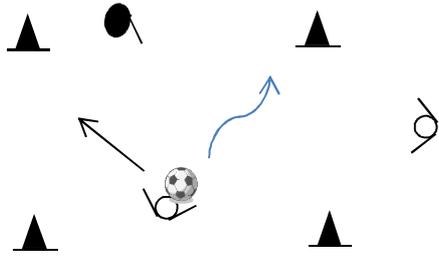
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	5月26日 8:00 ~ 12:30
担当	村田 篤史(花園中)	会場	千葉市立みつわ台中学校
参加スタッフ	村田 篤史(花園中)宮崎 元気(山王中)鈴木 啓督(千葉大付属中)		
テーマ	U-13選考会(二次選考)		
指導方法			
<p>U-13選考会・二次選考ということで、前回のトレーニングで見 評価をもう少し大きいサイズのピッチで見るために、8vs8のハ コートゲームを実施しました。 おおよそ、60×45のピッチサイズで1ゲーム7~10分で行いました。</p> <p>W-UPは簡単なASEやボールタッチを行いました。 空いている時間で、簡単なボールフィーリングを行いました。</p>			
<p>○7vs7+GK スモールサイドゲーム</p> <p>※ ①積極的にコミュニケーションをとる ②前が空いていたら積極的に仕掛ける ③ミスを恐れずにプレーする。 ④ゴールに向かってプレーする。</p>			
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	6月26日 9:00 ~ 12:00
担当	村田 篤史	会場	千葉市立みつわ台中学校
参加スタッフ	村田・宮崎・大日方・佐々木・竹治・深山		
テーマ	コミュニケーション		
指導方法			
<p>1、 w-up</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギング ・サイドステップ ・クロスステップ ・ダッシュ ・ダッシュ&ターン ・リレー <p>ストレッチ</p>	<p>2、 TR1</p>  <p>3人組のパス交換 A→B→C→B→Aという流れでパス交換 BがAからボールをもらう時に、Cの選手がパスを要求していたら、ターン&パス。 Cの選手がインターセプトに来たら、Aの選手にダイレクトでパスを返す。 慣れてきたら、プレッシャーをかけるタイミングをずらしたりする。 よく周りの状況を見る。</p>		
<p>3、 TR2</p>  <p>各グリットにチームごとにボールを持って入る(1グリットに10人) ①他の選手とぶつからないようにドリブル。 ※途中で他の選手のボールを蹴りだし可 ②グリットの中で他の選手とボールが当たらないようにパス交換 ③反時計回りにドリブル移動。ただしグリット間のスペースではボールを触らず、ランウイズザボールで動く。 ④自分のいるグリットの対角線上にあるグリットに移動。他の選手にボールを触られないように移動。</p>	<p>4、 ゲーム</p> <p>11対11のフルコートゲーム。 15分で4チーム総当たり。 ①マイボールを失わない。 ②前が向いたら仕掛ける。 そのために、周りを見ることと、選考後初めてのゲームなのでコミュニケーションをとることを重点的に行った。</p>		
<p>キーファクター</p> <p style="text-align: center;">周りを見る。</p>			

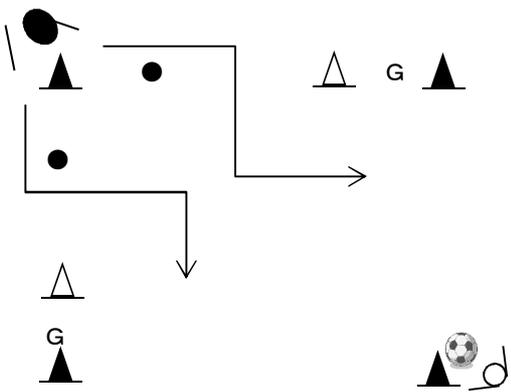
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	7月25日 13:00 ~ 17:00
担当	村田 篤史	会場	千葉市立みつわ台中学校
参加スタッフ	村田・鈴木・佐々木・竹治		
テーマ	スペースを生かしたドリブル		
指導方法			
<p>1、 w-up</p>  <p>〈ボール無し〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歩でまたぐステップ ・2歩でまたぐステップ ・1歩2歩1歩2歩・・・でまたぐステップ ・サイドステップ ・バックサイドステップ ・横向いて1歩のステップ <p>〈ボール有り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリー ・利き足 ・逆足 ・インサイドのみ ・アウトサイドのみ <p>ドリブルリレー</p>	<p>2、 TR1 1対1+サーバー 10×10のグリッド</p>  <p>1本DFにパスを入れ、リターンでスタート。基本は1対1で仕掛けて抜くことを狙う。ドリブルで待っている相手に突っ込んでいきボールを失う場面が多いのでグリッドを大きく設定し、相手の前・左右のスペースに運び、動いたDFの逆をとれるようにすることを重点的に行った。また、サーバーの役割を詰まらせて打開策が無いときだけで無く、おとりやフェイントにも使えるという設定で実施した。DFがボールを取ったら攻守が切り替わり、1対1を行う。ゴール方法はラインゴール</p>		
<p>3、 TR2 ヘディングリレー</p>  <p>チーム分けを行い、チームごとにヘディングリレーを行う。ゲーム前にチームでコミュニケーションを取ることをねらう。</p>	<p>4、 ゲーム</p> <p>11対11のフルコートゲーム。 15分で3チーム総当たり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①マイボールを失わない。 ②前が向いたら仕掛ける。 <p>そのために、周りを見ることと、さまざまな局面でもスペースを使って、相手と駆け引きをすること。</p>		
<p>キーファクター 空いているスペース進入して仕掛ける。</p>			

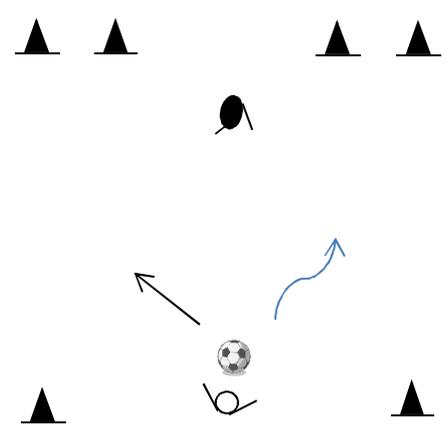
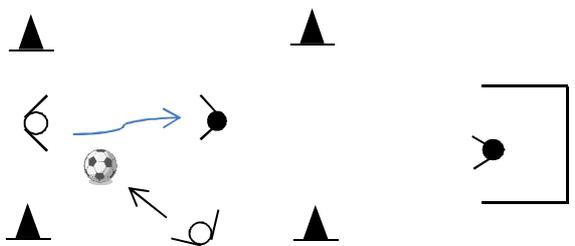
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	8月15日 9:00 ~ 11:30
担当	村田 篤史	会場	女神湖合宿(テニスコート)
参加スタッフ	村田・宮崎・大日方・佐々木・竹治		
テーマ	アイスブレイク、ドリブル		
指導方法			
<p>1、 w-up</p> <p>フリーラン 合図でハイタッチ 2人組であっちむいてほい、手押し相撲 フリーランでマーカールでアクション 鬼ごっこ ストレッチ</p> <p>半分の選手がボールを持ち合図でボールを パス、リターン、ワンツー、スイッチ ボールキープ リフティング インサイド、アウトサイド シャペーユ 三回目で大きく上にあげる ヘディング リフティングしながらマーカールを拾う 2人組でリフティング リフティングをしながらしりとり 合図でペアを変える。ボールを持っている選手は 新しいペアが来るのをリフティングしながら待つ</p> <p>10人1チームでボール運びリレー (一列に並び、各選手の背中とおなかでボールをはさみ 落とさないように20m移動する ①前の選手に触ってOK ②前の選手に触ってはいけない</p>	<p>2、 TR1 ドリブル</p>  <p>ドリブル練習だが、マーカールではなく、人がマーカール役になる。マーカール役の選手は、ドリブル選手が自分の前に来たら、左右どちらかに体の向きを変える。ドリブルしている選手は、相手の動きを見て、背中側の方向にドリブルしていく。 チーム戦で行い、マーカールに当たったらマイナスイ点 そする。</p>	<p>4、 ミニゲーム 5対5のミニゲーム コートが狭く滑りやすいので、走ることを禁止 し、 歩きながらゲームを行う。</p>	
キーファクター			

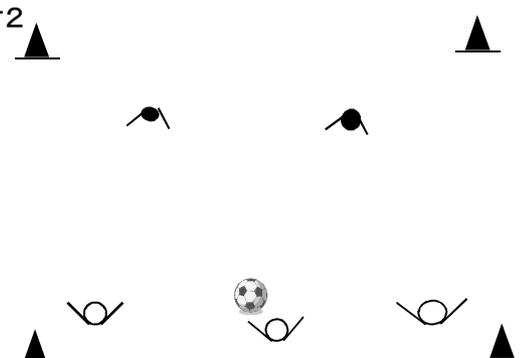
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	9月25日 8:30 ~ 12:00
担当	村田 篤史	会場	千葉大学附属中学校
参加スタッフ	村田・鈴木啓督・佐々木洋平・竹治・大日方・桑田・亀山・島田(幕張総合高)		
テーマ	スペースを生かしたドリブル(復習)		
指導方法			
<p>1、 w-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギング ・手押し相撲 ・ボールなしの1対1 (背中合わせでスタートし、OFが振り向いて、DFに捕まらないように裏に抜ける) ・ストレッチ 	<p>2、 TR1</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ボール無しでドリブルのイメージを持つ ・フリー ・インサイドのみ ・アウトサイドのみ ・右足のみ ・左足のみ ・足裏のみ <p style="text-align: right;">1人3本ずつ</p> <p>コーンを1個ずつ抜いて間隔を開けて同じことを同じセット行う。</p> <p>顔が下がるので、コースの先にボールを置いて、一つでも多く見るように意識する。</p>		
<p>3、 TR2 1対1</p>  <ul style="list-style-type: none"> ①DFはOFにパス ②DFは左右においてあるマーカのどちらかを通してから、ボールを奪いに行く。 ③OFはDFの動きをみて、左右のどちらのゴールに向かっていくか、判断する。 <p>ゴール方法はラインゴールで行う。 OFがDFの動きを見て判断することを狙いとした。OFはトラップを足元に入れないよう、コーチングをした。</p>	<p>4、 ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①16m×20mで4対4のラインゴール 試合開始前にマンツーマンを決める。マンツーマン以外の選手にはディフェンスをしてはいけない。 1ゲーム5分で行う。 ②11対11のフルコートゲーム。 20分で3チーム総当たり。 マイボールを失わない。 前が向いたら仕掛ける。 そのために、周りを見ることと、さまざまな局面でもスペースを使って、相手と駆け引きをすること。 		
<p>キーファクター 空いているスペース進入して仕掛ける。</p>			

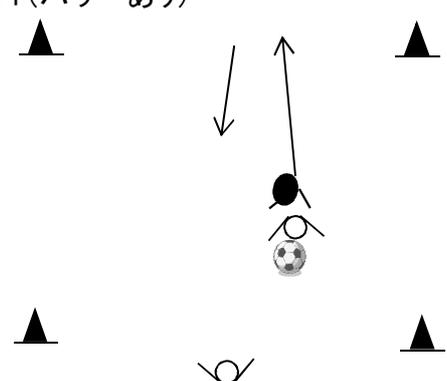
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	10月17日 19:00 ~ 21:00
担当	村田 篤史	会場	千葉市立稲毛中学校
参加スタッフ	村田・宮崎・深山・佐々木洋平・竹治		
テーマ	一対一		
指導方法			
<p>1、w-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフティング(利き足のみ、非利き足のみ) ・手押し相撲 ・ボールなしの1対1 (背中合わせでスタートし、OFが振り向いて、DFに捕まらないように裏に抜ける) ・ストレッチ 	<p>2、TR1 1対1①</p>  <ul style="list-style-type: none"> ①DFはOFにパス ②OFは左右にあるどちらかのゴールを目指して進む ③初めは方向転換を禁止し、一つのゴールのみ目指す ④途中から方向転換ありにする 		
<p>3、TR2 1対1②</p>  <ul style="list-style-type: none"> ①パサーがOFにパス ②DFはパスが出たらすばやくプレスをかける ③OFはファーストタッチを意識一対一を行う。 ④DFをかわし、シュートを打つ。(GKあり) 	<p>4、ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①16m×20mで4対4のラインゴール 試合開始前にマンツーマンを決める。マンツーマン以外の選手にはディフェンスをしてはいけない。 1ゲーム5分で行う。 		
<p>キーファクター 空いているスペース進入して仕掛ける。</p>			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	日時	10月27日 14:00 ~ 17:00
担当	村田 篤史			会場	フクダ電子スクエア
参加スタッフ	村田・鈴木啓督・宮崎・佐々木洋平・竹治・大日方・桑田・亀山				
テーマ	スペースを生かしたドリブル(11対11)				
指導方法					
<p>1、 w-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギング ・手押し相撲 ・ボールなしの1対1 (背中合わせでスタートし、OFが振り向いて、DFに捕まらないように裏に抜ける) ・ストレッチ ・鬼ごっこ 	<p>2、 TR1 3対2</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・オフENSEが3、ディフェンスが2で行う ・10m × 10mのグリッドでラインゴール ・ラインゴールで行う。 ・初めは特に指示をせず、トレーニングを行う ・多くの選手がポゼッションをしながらゴールを狙うが、パスではなく、空いているスペースがあればドリブルでしかけるよう指示を出す。 				
<p>3、 ゲーム</p> <p>②11対11のフルコートゲーム。 マイボールを失わない。 前が向いたら仕掛ける。 そのために、周りを見ることと、さまざまな局面でもスペースを使って、相手と駆け引きをすること。</p>					
<p>キーファクター 空いているスペース進入して仕掛ける。</p>					

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	11月27日 7:30 ~ 13:00
担当	村田 篤史	会場	千葉大学附属中学校
参加スタッフ	村田・鈴木啓督・佐々木洋平・竹治・深山・大日方・亀山		
テーマ	第4ブロック中体連とのトレーニングマッチ		
指導方法			
1、w-up <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギング ・手押し相撲 ・ボールなしの1対1 (背中合わせでスタートし、OFが振り向いて、DFに捕まらないように裏に抜ける) ・ストレッチ ・フリードリブル ・リフティング 	2、TR1 1対1(パサーあり)  <p>・《ルール》 ・DFはOFがパサーにボールを預けた場合後ろのラインまで下がらなければならない。(3回まで) ・OFはDFが後ろに下がることによってできるスペースを利用しドリブルをする。また、DFの動きをみて、もらい方を工夫するよう指示を出す。</p>		
3、第4ブロック中体連とのトレーニングマッチ ①11対11のフルコートゲーム。 マイボールを失わない。 前が向いたら仕掛ける。 ②11対11の紅白戦 ・トレーニングマッチの中でボールを失う回数が多かったため、ボールを失わないことを意識してプレーするように指示をだした。			
キーファクター	マイボールを失わない		

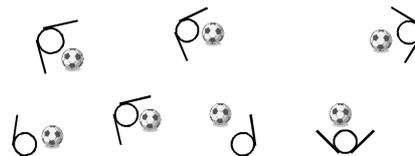
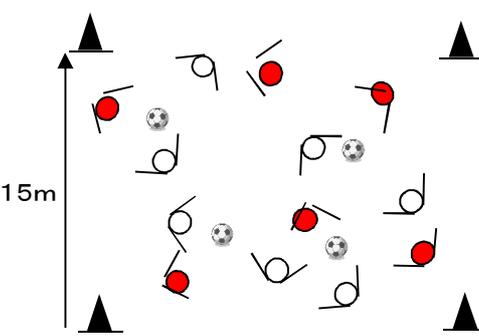
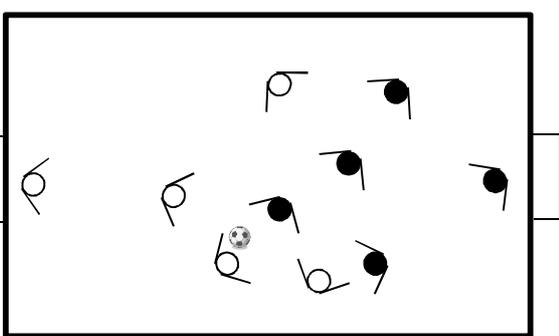
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 5 ブロック	日時	12月18日 8:30 ~ 11:00
担当	村田 篤史	会場	千葉市立みつわ台中学校
参加スタッフ	村田・宮崎・佐々木・竹治・深山・大日方		
テーマ	マッチを通して、今まで行ってきたトレーニングの確認をする		
指導方法			
<p>1、w-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギング ・合図で、肩と肩、臀部と臀部をぶつける ・笛が1回ならば鬼にタッチ 笛が2回ならば、鬼から逃げる (向いて、DFに捕まらないように裏に抜ける) ・ストレッチ ・フリードリブル ・ボール出し ・リフティング ・2人組でリフティング ・2人組でボールキープ 	<p>2、TR1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11対11のマッチ ・10分で試合を行う。 		
<p>3、TR2</p> <p>くさびのもらい方のトレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人組で行い、パサー・OF・DFに分かれる ・10Mくらいの間隔で行う。 ・OFはくさびをもらいに行き、DFの動きをみて、ターンできるならばターンをする。ターンできないようならば、パサーに返す。 ・DFは基本的にはインターセプトを狙うが、OFの周りを見る練習をかねて、あえてプレスに行かず前をむかせるようにする。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	<p>4 TR3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11対11のマッチ ・15分で行う 		
キーファクター			

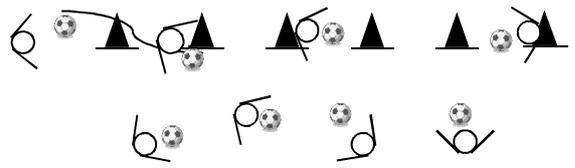
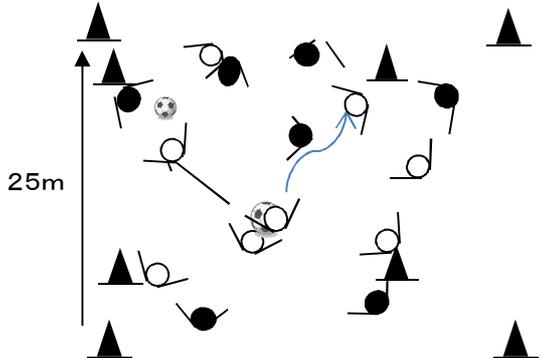
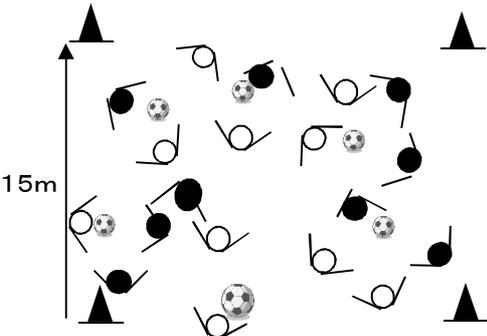
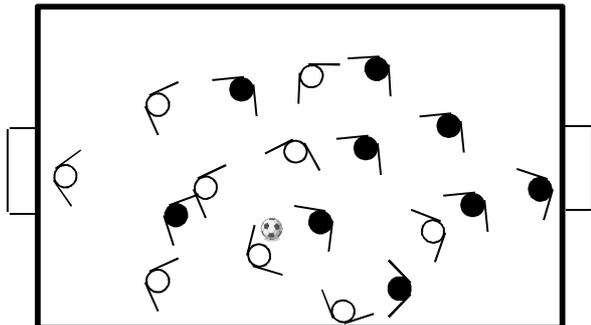
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 6 ブロック	日時	4 月 24 日 9 : 0 ~ 11 : 30
担当	谷垣内 康博 (VIVAIO 船橋05)	会場	VIVAIOミニサッカーパーク
参加スタッフ	谷垣内 (VIVAIO 船橋05)、前田 (FC 習志野)、ホンダ (VIVAIO 船橋)		
テーマ			
指導方法			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術トレーニング ○ フットサルゲーム (5VS5) 			
キーファクター			

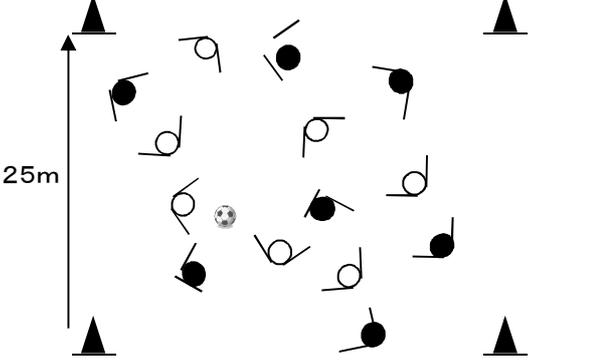
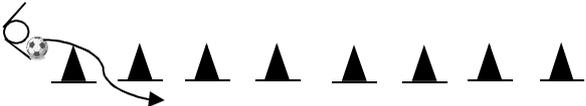
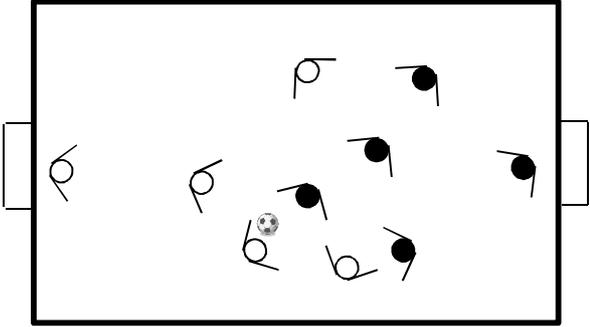
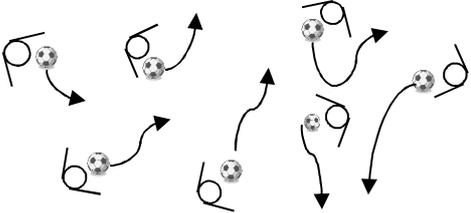
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 6 ブロック	日時	5 月 22 日 9 : 0 ~ 11 : 30
担当	谷垣内 康博 (VIVAIO 船橋05)	会場	VIVAIOミニサッカーパーク
参加スタッフ	谷垣内 (VIVIO 船橋05)		
テーマ	ボールフィーリング		
指導方法			
<p>W・UP</p>  <p>1 ジョギング</p> <p>2 リフティング つま先 インステップ インサイド・アウトサイド ヘディング</p> <p>【キーファクター】 ボールフィーリング 力を抜いて、リラックス 集中力 試合をイメージ 股関節・膝関節の可動域</p>	<p>TR2</p>  <p>15m</p> <p>ボールを4個にしてグリッドでドリブルキープゲーム 2コート 3min × 3</p> <p>【キーファクター】 フェイント 仕掛けのアイデア 周囲の状況を確認する(見る) 1対2、1対3の打開</p>		
<p>TR1</p>  <p>コーンドリブル(間隔は一つのコーン分) ・片足だけ(利き足) ・逆足 ・インサイド2タッチ→アウトサイド1タッチ (利き足) ・インサイド2タッチ→アウトサイド2タッチ (逆足)</p> <p>各種目 6本~8本</p> <p>【キーファクター】 速くコーンを抜ける(ステップワーク) 重心を低く保つ ボールフィーリング</p>	<p>ゲーム</p>  <p>フットサルゲーム (5対5)(GK含) 2コート 5min</p> <p>【キーファクター】 周囲の状況を確認する(見る) 個人での突破 シュートまでのアイデア コミュニケーション 攻守の切り替え</p>		
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	日時	6月26日	~	:
担当	谷垣内			会場	船橋北高校		
参加スタッフ	谷垣内、島田(県スタッフ視察)						
テーマ	個人技術						
指導方法							
<p>W・UP</p>  <p>1 ジョギング</p> <p>2 リフティング … リラックスして行う つま先 インステップ インサイド・アウトサイド ヘディング</p> <p>3 リフティング(2人組) … コミュニケーション フリー 逆足のみ ファーストタッチ もも " 胸 " 頭 ヘディングのみ</p>				<p>TR2</p>  <p>25m</p> <p>ボールを1個にしてグリッドでドリブル&パス キープゲーム 2コート 5min × 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両足を使う ・ ボールを保持しながら周囲の状況を確認する ・ ボールが来る前に周囲の状況を確認する ・ ダイレクトプレーなど様々な選択肢を持つ ・ 攻守の切り替え ・ コミュニケーション 			
<p>TR1</p>  <p>15m</p> <p>ボールを5個にしてグリッドでドリブルキープゲーム 2コート 3min × 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両足を使う ・ ボールを保持しながら周囲の状況を確認する ・ 攻守の切り替え <p>【GKトレーニング】 島田先生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポジショニング 				<p>ゲーム</p>  <p>ハーフコートゲーム (9対9)(GK含) 10min × 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常に周囲の状況を確認する ・ プレーの選択肢を多く持つ ・ 個人での打開 ・ コミュニケーション ・ 攻守の切り替え 			

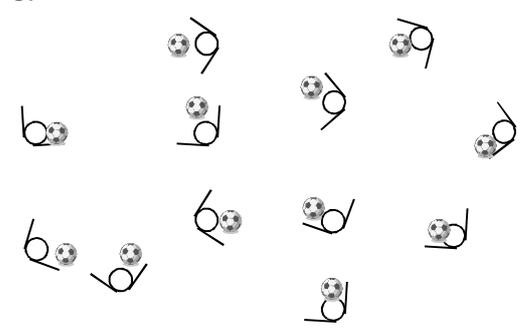
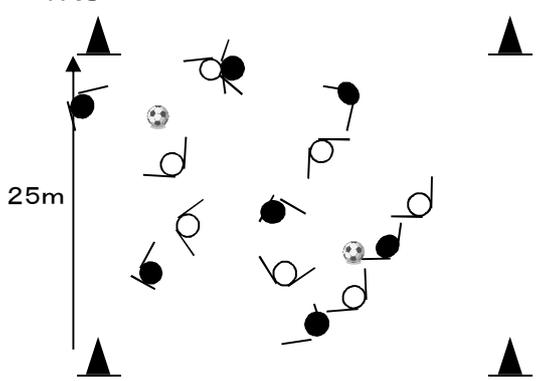
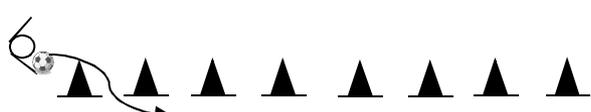
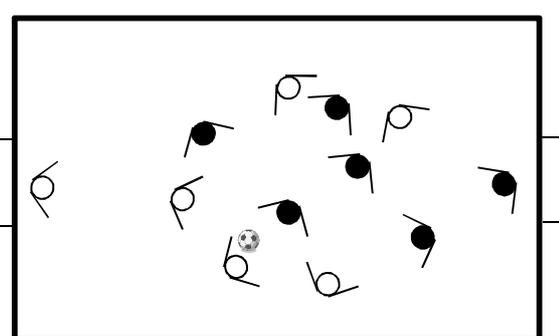
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 6 ブロック	日時	9 月 25 日 : ~ :
担当	谷垣内	会場	VIVAIO 船橋ミニサッカーパーク
参加スタッフ	谷垣内、前田、本田		
テーマ	個人技術		
指導方法			
<p>W・UP</p>  <p>1 リフティング (コーンの周りを回る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリー ・逆足 ・インサイド ・アウトサイド 	<p>TR3</p>  <p>25m</p> <p>ボールを1個にしてグリッドでドリブル&パス キープゲーム</p> <p style="text-align: center;">5min × 2</p> <p>次の展開を意識する プレーの選択肢を多く持つ 逆足を使う 局面でパスだけに頼らない 自信をもってプレーする コミュニケーション</p>		
<p>TR1</p>  <p>コーンドリブル(間隔は一つのコーン分) 各種目3min</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片足だけ(利き足)(逆足) ・インサイド2タッチ→アウトサイド1タッチ(利き足)(逆足) <p>・競争(各種目)</p> <p>【キーファクター】 速くコーンを抜ける 重心を低く保つ(膝をうまく使う) ボールフィーリング</p>	<p>ゲーム</p>  <p style="text-align: center;">フットサルゲーム (5対5)(GK含) 5min</p> <p>次の展開を意識する プレーの選択肢を多く持つ 判断(ドリブル&パス&シュート) サポートの意識 ボールをもつことに自信を持つ コミュニケーション</p>		
<p>TR2</p>  <p>ドリブルトレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フットサルコートを各自がドリブル ・30秒ごとに意識することを加えていく ・フリー → 周りを見る(360° 意識する) → 次の展開を意識する → 逆足も使う 			

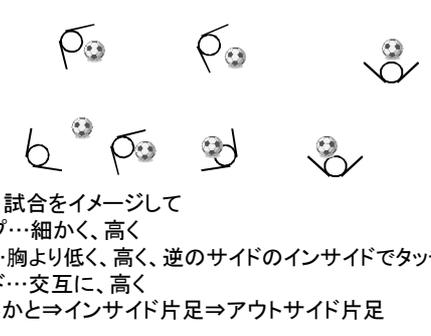
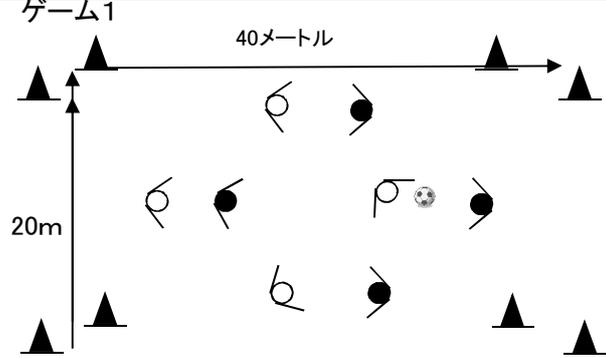
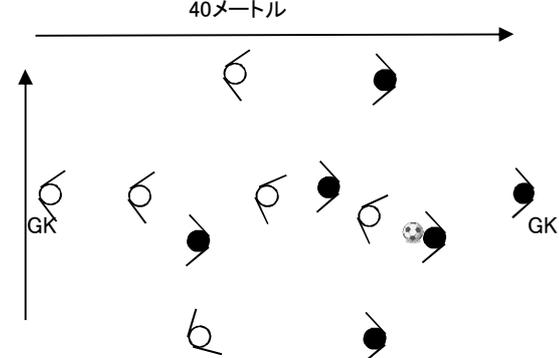
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 6 ブロック	日時	10月23日 9:00 ~ 13:00
担当	谷垣内	会場	VIVAIOランドサッカー場
参加スタッフ	谷垣内、前田、本田		
テーマ	ゲーム(VS サウスバックアップトレセン)		
指導方法			
<p>W・UP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールフィーリング (フットサルハーフコートをフリーでドリブル) ・リフティング (リラックスして行う) ・ボールキープ (フットサルハーフコート内) <ul style="list-style-type: none"> パスなし→周りの状況を確認しながら パスあり→パス・ドリブルがあるなかで複数の選択肢を持つ 			
<p>ゲーム</p> <p>vs サウス・バックアップトレセン (25分 × 7本)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ができることと課題の確認 ・コミュニケーション 			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 6 ブロック	日時	11月27日 13:00 ~ 15:30
担当	谷垣内	会場	VIVAIOミニサッカーパーク
参加スタッフ	谷垣内、前田、本田		
テーマ	個人技術		
指導方法			
<p>W・UP</p>  <p>1 リフティング ・フリー ・逆足 ・両足交互 ・インサイド ・アウトサイド</p> <p>ボールフィーリング リラックス 両足の感覚</p>	<p>TR3</p>  <p>ボール2個 グリッドでドリブル&パス キープゲーム</p> <p style="text-align: center;">5min × 2</p> <p>次の展開を意識する プレーの選択肢を多く持つ 判断(ドリブル&パス) コミュニケーション</p>		
<p>TR1</p>  <p>コーンドリブル(間隔は一つのコーン分) 各種目5~8本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片足だけ(利き足)(逆足) ・アウトサイド2タッチ ・インサイド1タッチ ・インサイド2タッチ→アウトサイド1タッチ(利き足)(逆足) <p>・競争 他の選手に負けない</p> <p>速くコーンを抜ける 重心を低く保つ(膝をうまく使う) ボールフィーリング</p>	<p>ゲーム</p>  <p style="text-align: center;">フットサルゲーム(6対6)(GK含) 5min</p> <p>次の展開を意識する プレーの選択肢を多く持つ 判断(ドリブル&パス&シュート) コミュニケーション 相手の嫌なことを考える</p>		
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

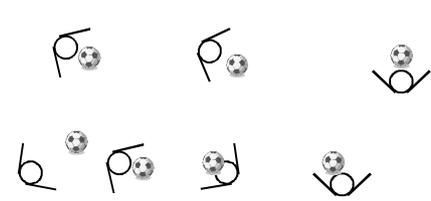
地区	第 7 ブロック	日時	5月22日 8:00 ~ 11:00
担当	廣瀬純也 (野田一中)	会場	野田一中グラウンド
参加スタッフ	廣瀬純也・桜井健丞・團上春輝		
テーマ	ボールフィーリング ゲーム		
指導方法			
<p>W・UP</p>  <p>1 ジョギング 2 リフティング 試合をイメージして インステップ…細かく、高く インサイド…胸より低く、高く、逆のサイドのインサイドでタッチ アウトサイド…交互に、高く つま先⇒かかと⇒インサイド片足⇒アウトサイド片足 3 ドリル</p>  <p>引き球(足裏早く) ⇒ インステップでなぞって足裏 ⇒ アウトサイドでなぞって足裏 ⇒ インサイドでなぞって足裏 ⇒ 軸足でインサイド1回転 ⇒ インサイドくの字でコントロール ⇒ 遅れてくるボールインサイド足裏 ⇒ 方向自由に ⇒ バックでアウトサイドなぞって足裏 ⇒ バックでインサイド足裏(片足) ⇒ サイドステップでインサイド足裏 ⇒ クロスステップでインサイドなぞって逆足 ⇒ 軸足2回触って逆足タッチ</p>		<p>ゲーム1</p>  <p>・5対5のミニゲーム ドリブルを多用したゲームを意識させる。 選手個人のスキルをスカウト</p>	
<p>TR1</p>  <p>コーンドリブル(間隔は一つのコーン分)…4~6往復 ・片足だけ(利き足) ・逆足 ・両足 ・タイムトライアル</p>		<p>ゲーム2</p>  <p>・5対5の通常ゴール付きゲーム GK付き ドリブルを多用したゲームを意識させる。 選手個人のスキルをスカウト</p>	
積極的なドリブルと仕掛け			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

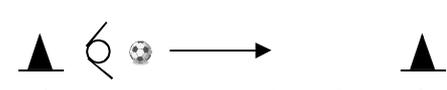
地区	第 7 ブロック	日時	6月26日 8:00 ~ 11:00
担当	廣瀬純也 (野田一中)	会場	野田一中グラウンド
参加スタッフ	廣瀬純也・桜井健丞・團上春輝		
テーマ	ボールフィーリング ゲーム		

指導方法

W・UP

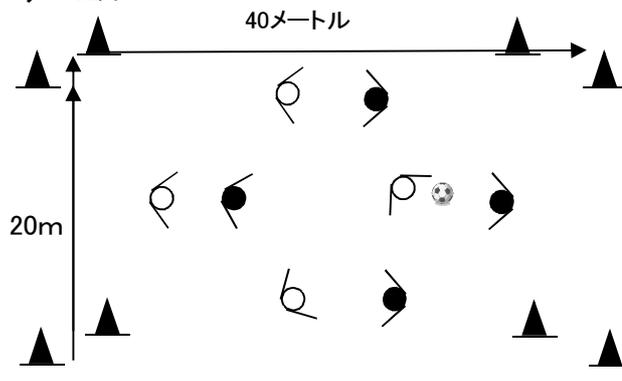


1 ジョギング
2 リフティング 試合をイメージして
インステップ…細かく、高く
インサイド…胸より低く、高く、逆のサイドのインサイドでタッチ
アウトサイド…交互に、高く
つま先⇒かかと⇒インサイド片足⇒アウトサイド片足
3 ドリル



引き球(足裏早く) ⇒インステップでなぞって足裏
⇒アウトサイドでなぞって足裏⇒インサイドでなぞって足裏
⇒軸足でインサイド1回転⇒インサイドくの字でコントロール
⇒遅れてくるボールインサイド足裏⇒方向自由に
⇒バックでアウトサイドなぞって足裏⇒バックでインサイド足裏(片足)
⇒サイドステップでインサイド足裏
⇒クロスステップでインサイドなぞって逆足
⇒軸足2回触って逆足タッチ

ゲーム1



40メートル
20m

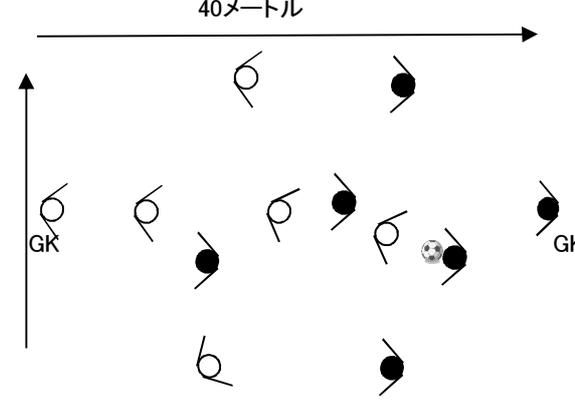
・5対5のミニゲーム
ドリブルを多用したゲームを意識させる。
選手個人のスキルをスカウト

TR1



コーンドリブル(間隔は一つのコーン分)…4~6往復
・片足だけ(利き足)
・逆足
・両足
・タイムトライアル

ゲーム2



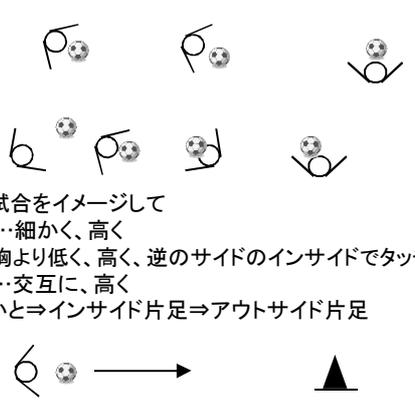
40メートル

・5対5の通常ゴール付きゲーム
GK付き

ドリブルを多用したゲームを意識させる。
選手個人のスキルをスカウト

キーファクター
積極的なドリブルと仕掛け

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 7 ブロック	日時	9 月 25 日 8 : 00 ~ 11 : 00
担当	廣瀬純也 (野田一中)	会場	野田一中グラウンド
参加スタッフ	廣瀬純也・桜井健丞・團上春輝		
テーマ	ボールフィーリング ゲーム		
指導方法			
<p>W・UP</p>  <p>1 ジョギング</p> <p>2 リフティング 試合をイメージして インステップ…細かく、高く インサイド…胸より低く、高く、逆のサイドのインサイドでタッチ アウトサイド…交互に、高く つま先⇒かかと⇒インサイド片足⇒アウトサイド片足</p> <p>3 ドリル</p>  <p>引き球(足裏早く) ⇒インステップでなぞって足裏 ⇒アウトサイドでなぞって足裏⇒インサイドでなぞって足裏 ⇒軸足でインサイド1回転⇒インサイドくの字でコントロール ⇒遅れてくるボールインサイド足裏⇒方向自由に ⇒バックでアウトサイドなぞって足裏⇒バックでインサイド足裏(片足) ⇒サイドステップでインサイド足裏 ⇒クロスステップでインサイドなぞって逆足 ⇒軸足2回触って逆足タッチ</p>			
<p>TR1</p> <p>* 中体連チームに所属する選手の把握</p> <p>* 紅白戦形式でのゲーム</p>			
積極的なドリブルと仕掛け			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 7 ブロック	日時	11月27日 8:00～16:00																																									
担当	廣瀬純也（野田一中）	会場	野田一中グラウンド																																									
参加スタッフ	廣瀬純也・桜井健丞・團上春輝																																											
テーマ	ブロック内の交流戦を行い、特に中体連の選手とクラブチームのトレセンに参加できない選手を見ていく																																											
指導方法																																												
<p>下記の日程で交流戦を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 25%;">試合時間</th> <th style="width: 25%;">対 戦</th> <th style="width: 45%;">戦</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>前半9:00～9:25終了 後半～9:55終了</td> <td>野田トレセン</td> <td>V S 柏エフオート</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>前半～10:25終了 後半～10:55終了</td> <td>流山トレセン</td> <td>V S 柏エフオート</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>前半～11:25終了 後半～11:55終了</td> <td>柏トレセン</td> <td>V S レイソル野田</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>前半～12:25終了 後半～12:55終了</td> <td>我孫子トレセン</td> <td>V S レイソル野田</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>前半～13:25終了 後半～13:55終了</td> <td>野田トレセン</td> <td>V S レスチ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>前半～14:25終了 後半～14:55終了</td> <td>流山トレセン</td> <td>V S ミナトSC</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>前半～15:25終了 後半～15:55終了</td> <td>柏トレセン</td> <td>V S レスチ</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>前半～16:25終了</td> <td>我孫子トレセン</td> <td>V S ミナトSC</td> </tr> <tr> <td></td> <td>後半～16:55終了</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					No.	試合時間	対 戦	戦	1	前半9:00～9:25終了 後半～9:55終了	野田トレセン	V S 柏エフオート	2	前半～10:25終了 後半～10:55終了	流山トレセン	V S 柏エフオート	3	前半～11:25終了 後半～11:55終了	柏トレセン	V S レイソル野田	4	前半～12:25終了 後半～12:55終了	我孫子トレセン	V S レイソル野田	5	前半～13:25終了 後半～13:55終了	野田トレセン	V S レスチ	6	前半～14:25終了 後半～14:55終了	流山トレセン	V S ミナトSC	7	前半～15:25終了 後半～15:55終了	柏トレセン	V S レスチ	8	前半～16:25終了	我孫子トレセン	V S ミナトSC		後半～16:55終了		
No.	試合時間	対 戦	戦																																									
1	前半9:00～9:25終了 後半～9:55終了	野田トレセン	V S 柏エフオート																																									
2	前半～10:25終了 後半～10:55終了	流山トレセン	V S 柏エフオート																																									
3	前半～11:25終了 後半～11:55終了	柏トレセン	V S レイソル野田																																									
4	前半～12:25終了 後半～12:55終了	我孫子トレセン	V S レイソル野田																																									
5	前半～13:25終了 後半～13:55終了	野田トレセン	V S レスチ																																									
6	前半～14:25終了 後半～14:55終了	流山トレセン	V S ミナトSC																																									
7	前半～15:25終了 後半～15:55終了	柏トレセン	V S レスチ																																									
8	前半～16:25終了	我孫子トレセン	V S ミナトSC																																									
	後半～16:55終了																																											

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 7 ブロック	日時	12月18日 9:00～17:00
担当	廣瀬純也（野田一中）	会場	野田一中グラウンド
参加スタッフ	廣瀬純也・桜井健丞・團上春輝		
テーマ	ブロック内の交流戦を行い、特に中体連の選手とクラブチームのトレセンに参加できない選手を見ていく		
指導方法			

下記の日程で交流戦を実施した。

試	合 時 間	対 戦
1	前半9:00～ 9:25終了 後半 ～ 9:55終了	野田トレセン VS 柏マイティー
2	前半 ～10:25終了 後半 ～10:55終了	流山トレセン VS 柏マイティー
3	前半 ～11:25終了 後半 ～11:55終了	柏トレセン VS ドラゴンズ柏
4	前半 ～12:25終了 後半 ～12:55終了	我孫子トレセン VS 柏マイティー
5	前半 ～13:25終了 後半 ～13:55終了	野田トレセン VS ドラゴンズ柏
6	前半 ～14:25終了 後半 ～14:55終了	流山トレセン VS ドラゴンズ柏
7	前半 ～15:25終了 後半 ～15:55終了	柏トレセン VS アストーレ
8	前半 ～16:25終了 後半 ～16:55終了	我孫子トレセン VS アストーレ

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 8 ブロック	日時	4 月 24 日 13 : 0 ~ 16 : 0
担当	川野辺 孝(塩浜中)	会場	市川市立塩浜中学校
参加スタッフ	川野辺(塩浜中)、鈴木(浦安中)、山田(高谷中)		
テーマ	コミュニケーション、自分の長所を出す		
指導方法			
<p>W-UP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリッド内でのドリブル ・遊びの感覚を取り入れたボール回し ・ストレッチ ・ゲーム形式の選考 (20分×3本) <p>*今回が選考会の初日となるので、 集まった選手同士でのコミュニケーションを 高めることを目的にW-UPを行った。</p> <p>*ドリブルでは両足をバランスよく使うこと を主眼としたが、顔が上がっていない選手が 多かったために「顔を上げる」という部分も狙いに 取り入れた。</p>			
<p>今回の反省</p> <p>*4月ということもあり、各チームより推薦された選手が少なかった（特に中体連）ので、 選考会としては不十分なところがあった。</p> <p>*ゲームの中では、<u>コミュニケーションを取ることを一番のテーマ</u>とした。また、 <u>自分のアピールポイントを出すように声をかけた。</u> しかし、初めてということもあり上記のテーマは十分にクリアできたとは言い難い。 次回も継続して声をかけていきたい。</p> <p>*W-UP時にも指導をした「<u>顔を上げる</u>」という部分においては、<u>全体的にかなり厳しい</u> 印象を持った。この部分は今後の課題になると思われる。</p>			
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 8 ブロック	日時	5 月 22 日 8 : 30 ~ 12 : 0
担当	川野辺 孝(塩浜中)	会場	市川市立塩浜中学校
参加スタッフ	川野辺(塩浜中)、鈴木(浦安中)		
テーマ	コミュニケーション、顔を上げる、自分の長所を出す		
指導方法			
<p>W-UP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリッド内でのドリブル ・コミュニケーションドリルを取り入れながら ・ストレッチとドリブルの組み合わせ ・ファーストタッチコントロール ・インサイドキック ・ゲーム (20分×3本) <p>*前回の継続でドリブルをしたが、前回の指導を覚えていたようで、両足を使うことと顔を上げることを意識している選手が多く見受けられたので、スペースに侵入することをさらに要求した。</p> <p>*顔を上げるためには何が必要かを問い、ファーストタッチコントロールとボールの置き所の大きさを意識させた。</p> <p>*インサイドキックが意外とできない選手がいるので、ファーストタッチコントロール+インサイドキックのトレーニングをした。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度のボールコントロールができる選手が集まっているとはいえ、意外に基本的なことが身につけていない選手も多いことが判明した。 ・コミュニケーションと自分の長所を出すという部分では、前回よりも積極的だった。 ・「顔を上げる」という部分では、まだまだ不十分。ただ「顔を上げよう」という言葉がけでは足りないので、どのタイミングで、何のために顔を上げるのか、顔を上げるためには何が必要か、等々、細かなところまで考えさせていきたい。 ・全体的に正確性に欠けるキックが多かった。 インサイドキックの有効性、重要性をさらに意識させることも必要であると感じた。 			
キーファクター			

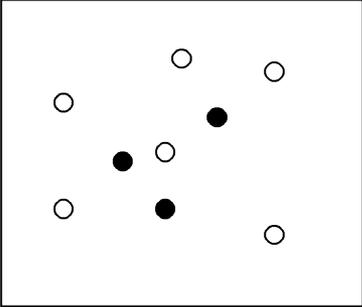
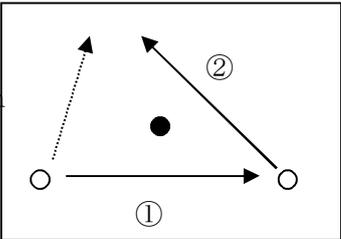
2011CFA(U-13) トレーニングメニュー

地区	第 8 ブロック	日時	9 月 25 日 8 : 30 ~ 11 : 30
担当	川野辺 孝	会場	市川市立塩浜中学校
参加スタッフ	川野辺 孝(塩浜中)鈴木 勉(浦安中)山田 淳(高谷中) 宮村 正志(三井東葛JY)		
テーマ	選手選考 ①コミュニケーション ②自分の長所を出す		
指導方法			
W-up <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドパス ・パス回し ・ストレッチ ・ゲーム形式の選考(20分×3本) *今回は最終選考会で市川浦安地区と松戸地区の選考選手の初顔合わせなので、集まった選手同士でのコミュニケーションを高めることを目的にW-UPを行った。 *選手をランダムに3チームに分け、それぞれリーグ戦方式で1チーム20分×4本を実施した。	TR (第3回選手選考を兼ねたトレーニングマッチ 20×2 15×2) <ul style="list-style-type: none"> ・一つのポジションにこだわらず、いろいろなポジションでプレー。 ・コミュニケーション(意思表示)をする。 ・顔を上げてプレーする。 ・得意なプレーを出す。 		
<ul style="list-style-type: none"> *ゲームの中では、コミュニケーションを取ることを、また、自分のアピールポイントを出すように声をかけた。 *選考されるために来ているのだから、自分の武器をしっかりと出すように指示をしたが、不慣れなポジションでプレーした選手もいたので、十分に発揮できたとは言い切れなかった。 *選考基準としては、 <ul style="list-style-type: none"> ・ボールコントロールのスキル ・顔が上がっているか(視野の広さ) ・フィジカル(スピード、バランス、アジリティ、コンタクト等) ・特徴のあるプレー (キック力がある、ヘディングが強い等) などが挙げられ、どれかに高いポテンシャルを感じる選手をピックアップした。 *限られた時間の中での選考だったので、スタッフの見落としも考えられる。しかし、今回の選考選手で今年度は活動していきたいと考えている。 *次年度以降のメンバーの入れ替えも視野に入れ、活動していく予定である。 			
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 8 ブロック	日時	11月27日 8:30～12:00
担当	川野辺 孝(塩浜中)	会場	市川市立塩浜中学校
参加スタッフ	川野辺 孝(塩浜中)鈴木 勉(浦安中)山田 淳(高谷中)後藤 拓真(富岡中)宮村 正志(三井東葛JY)鈴木氏(東海大浦安高校)		
テーマ	素早い判断をしよう！ ①OFFのときの判断 ②ONのときの判断		
指導方法			
<p>W-UP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手つなぎ鬼ゲーム ・パス回し (ビブスを付けて順番を変えて) ・ヘディングでのパス回し ・ストレッチ等 ・市川三中とのトレーニングマッチ (25分×4本) ・クーリングダウン 			
<p>*選考後初の活動となる今回は、市川三中Aチームとのトレーニングマッチを実施した。市川三中は過日行われた県中体連新人大会でベスト4に残ったチームで、トレセンメンバーの対戦相手としては申し分ないレベルにある。特に前線からのプレスも速く、今回のテーマでトレーニングするには最適であった。</p> <p>*選手たちには、今回のテーマである「素早い判断をしよう」という声かけをアップ時点から声かけをしていった。</p> <p>試合の中では、相手のプレスが速い中でまずはどういうプレーができるかを見た。1本目はその速いプレスに合わせて速くプレーしようとする意識が強すぎて、窮屈なサッカーになってしまった感があった。</p> <p>試合の中では、相手のプレスが速い中でまずはどういうプレーができるかを見た。1本目はその速いプレスに合わせて速くプレーしようとする意識が強すぎて、窮屈なサッカーになってしまった感があった。</p> <p>ハーフタイム等で、特にOFFのときにどうすればよいか。スペースの使い方、体の向き、動き出すタイミング等のヒントを与えた結果として、2本目以降は、徐々に相手のプレスをうまくいなすプレーが増えてきた。</p> <p>印象としては、足元の技術がしっかりしている選手が多いので、顔が上がり、良い準備ができるようになってきたと思う。選手個々のプレースタイルも少しずつ理解できてきたので今後につなげたい。</p> <p style="text-align: center;">今回の反省</p> <p>*活動後にスタッフミーティングを行い、問題点を抽出した。</p> <p>①判断のスピード=プレーのスピードと捉えてしまう選手がいたこと。ボールをダイレクトではなく、スピードに乗ったドリブル...等を速い判断と考えてプレーした選手がいたこと。その結果として、オーバースピードになってしまったり、プレーテンポに緩急がなくなってしまったこと。</p> <p>②顔を上げているが、味方選手だけを見て判断していること。相手選手を見て判断ができていない (ONにもOFFにも言える)。</p> <p>③テーマとは外れるが、GKの発掘・育成が不足していること。</p> <p>上記の問題点をクリアしていくために、今後取り組むべきこととして以下のことが挙げられた。</p> <p>①声かけのタイミング、細かさ、そして言葉そのものの質 (同じ意味でも選手の中に浸透しやすい言葉) を考えなければならない。</p> <p>②あくまでも速い判断とは、早い時点でプレーを決めつけてしまうことではなく、イメージを持った中でギリギリのところでの判断であるということを浸透させる。</p> <p>③選手がテーマを意識してプレーできているかどうかを、どういう形で評価していくか。</p> <p>④ON、OFF、ボールを奪った (奪われた) 瞬間という、それぞれの局面での判断ができるようなトレーニングを実践する。</p> <p>⑤GKを多く招集し、トレーニング (技術講習会) 等を開催する。</p>			

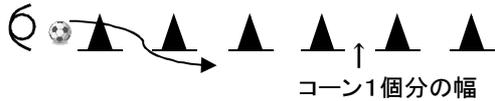
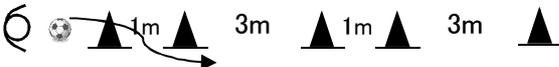
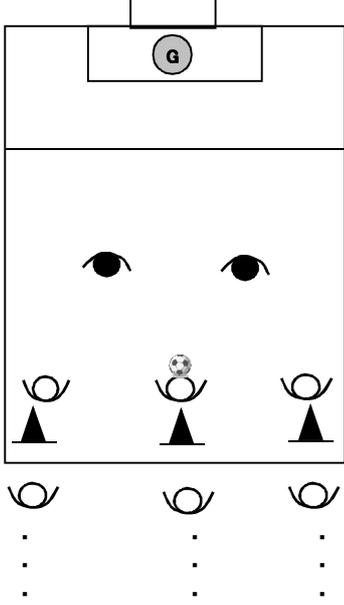
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

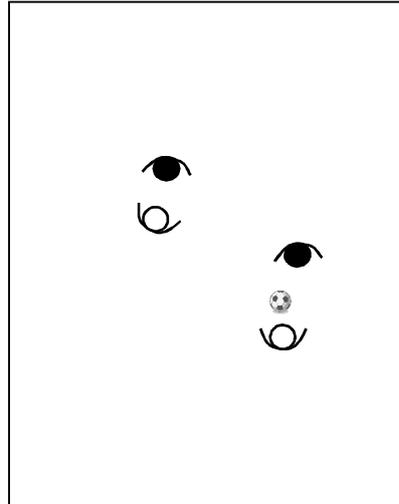
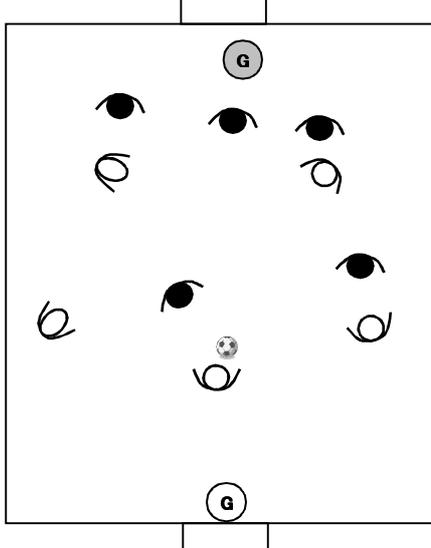
地区	第 8 ブロック	日時	12月18日 13:00 ~ 15:00
担当	川野辺 孝(塩浜中)	会場	松戸馬橋高校
参加スタッフ	川野辺(塩浜中)鈴木(浦安中)後藤(富岡中)宮村(三井東葛JY)金子(松戸馬橋高)		
テーマ	良い判断をしよう！		
指導方法			
<p>W-UP</p> <p>① 6 vs 3 鬼ごっこ (1 set ... 1分)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">20m × 20m</div>  </div> <p style="text-align: center;">○ ...攻撃側 ● ...守備側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持っていない攻撃側選手に守備側がタッチしたら攻守交代 ・ハンドパスで回す ・攻撃側は、どのタイミングでどの方向にパスをするかを考える。 ・守備側は、誰にアプローチすれば効率が良いかを考える。 →オプション...インターセプトありにする 		<p>③ ②の2 vs 1 にゴールをつけて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーガナイズは②同様 ・攻撃側...DFの動きを見ながらシュートへの最善策を判断 ・守備側...シュートを打たれないための守備を選択(判断)。 	
<p>② 2 vs 1</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">2 m</div>  </div> <p style="text-align: center;">2 m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻撃側はワンタッチプレー ・守備側はインターセプトか、アプローチかどちらかを選択する ・攻撃側...DFがインターセプトを狙えばドリブル、アプローチしてくればワンツーといった選択(判断) ・守備側...インターセプトかアプローチかの選択(判断) 		<p>④ 6 vs 6 (ハーフコート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①~③を実戦の中で生かしていく。 <p>* 今回のトレーニングは、馬橋高校の金子氏が指導してくださいました。 金子先生、ありがとうございました。</p>	
キーファクター			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド サウス	日時	6月26日 14:10 ~ 16:30
担当	鈴木、小田(ヴィヴァイオ)	会場	ヴィヴァイオランド
参加スタッフ	島田 小田 唐沢 鈴木(ヴィバイオ) 八重樫		
テーマ			

指導方法

<p>W・UP</p> <p>1. コーンドリブル① ①逆足 ②利き足 ③アウトサイドだけ ④インサイドだけ</p> <p>2. ターン ①インサイドフック(左右) ②足裏でなぞってアウトサイド ③足裏でひく ④足裏でひいて、ボールを浮かす ⑤クライフターン</p> <p>3. タッチ ①足裏(前後) ②足裏(横に動かす) ③インサイドで細かく</p> <p>4. 足裏ドリブル ①足裏でなぞる(左右)</p> <p>5. コーンドリブル②(幅を広くとって、複数の相手を抜くイメージ) ①利き足 ②逆足 ③イン-アウトを入れる ④回転系を入れる ⑤真ん中でボールを浮かす</p> <p>コーンドリブル①</p>  <p>コーンドリブル②</p> 	<p>TR2 3対2+Gk(フットサルコート)</p>  <p>●は奪ったら、コーンに並んでいる次の人へパス ○はゴールを目指す</p>
--	--

<p>TR1 2対2(フットサルコート)</p>  <p>◎2vs2 キープマンツーマンで決められたマークだけしかボールを取ることができない</p> <p>※9グループが同じコート内同時に行う</p>	<p>ゲーム 5対5+GK(フットサルコート)</p> 
--	---

キーファクター

○ボールフィーリング	○観る(周りの状況を確認)
○姿勢(下を向かない)	○簡単にボールを放さない(粘り強く、負けない)
○ボールタッチ(速く、細かく、横幅を広く動かす)	

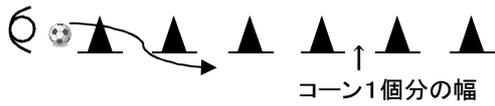
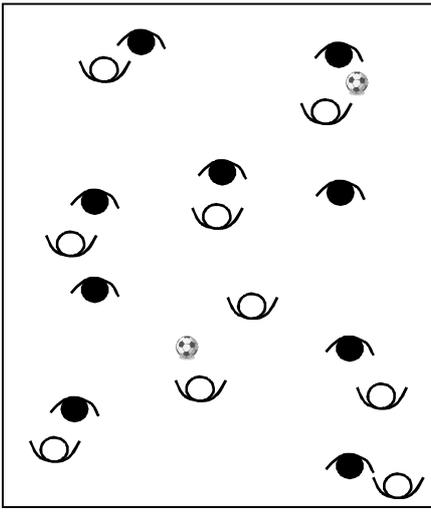
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	サウス	日時	9 月 25 日	: ~ :
担当	渡辺		会場	清瀬内山グラウンド	
参加スタッフ	渡辺、小田、山口、柳橋、島田				
テーマ	関東交流戦 vs 東京都				
指導方法					
東京都トレセンとの対戦 40分×2本 結果:1-6					
<p>千葉県は個々にボールを簡単に動かすことの無いように指示をしました。 個がボールを保持する時間が多くなればなるほど、個人の課題が見えてくるものです。</p> <p>それぞれの選手の現状と課題を確認する良いゲームとなりました。 結果として点差はつきましたが、「中1から大人のミニチュワ版」のサッカーとは比べることは出来ません。個のアイデアや視野を含め、崩し方の面白さは千葉県の方が上だったと感じています。</p> <p>現段階で、フィジカルに恵まれている選手も少ないですし、体格的にも大柄な選手が多いわけではありません。 しかしながら、2年後、5年後には相当面白い選手になるのではと感じています。</p> <p>ゲーム終了後、出来るだけ個別に課題を伝えました。 1か月後に会うまで、チームに戻り自分自身の課題に取り組むように伝えてあります。</p> <p>招集させていただいた選手の中には、年度初めに見た時と課題が全く変わっていない選手もいます。</p> <p>U-14/U-15はどうでしょうか？</p> <p>関東交流会は、目先のゲームに勝利するために行われるべきものではありません。 トレーニングをして、ゲームに勝利することをトレセンのスタンスにしないことを願います。 県としての方針が無いまま、人が増えてきて、それぞれのスタッフの考え方でトレセンが行われているように感じています。</p> <p>いつも苦言ばかりで嫌われることも多いと思います。 高校の先生方は13~15の成長を高校サッカーの指導に当てはめて行ってほしくない。</p> <p style="margin-left: 40px;">そのように願っています。 渡辺</p>					

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	サウス	日時	11月27日 : ~ :
担当	渡辺		会場	住友金属グラウンド
参加スタッフ	渡辺 加藤 唐沢 八重樫			
テーマ	関東交流戦 VS鹿島アントラーズ			

指導方法

<p>W・UP ①</p> <p>1. コンドリブル ①逆足 ②利き足 ③アウトサイドだけ ④インサイドだけ</p> <p>2. タッチ ①足裏(前後) ②足裏(横に動かす) ③インサイドで細かく ④足裏でなぞる(左右) ⑤足裏でひく</p> <p>3. フリードリブル (決められたスペースの中で、複数の相手を抜くイメージ) ①利き足 ②逆足 ③イン-アウトを入れる ④回転系を入れる ⑤真ん中でボールを浮かす</p> <p>コンドリブル</p> 	<p>W・UP ② 9対9(20×25)</p>  <p style="font-size: small;">©9vs9 ホールキープ ※簡単に失わない</p>
--	--

ゲーム

○ゲームコンセプト
 観る(周りの状況を確認して、判断をする)

○フォーメーション
 1-4-4-2

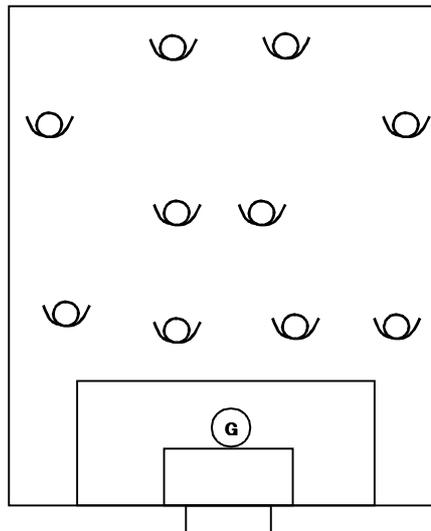
1本目
 千葉 2 対 0 鹿島

2本目
 千葉 1 対 2 鹿島

3本目
 千葉 3 対 1 鹿島

○メンバー
 別紙をFAXで送ります

○試合総評
 相手の厳しいプレスに対して、ディフェンスラインから落ち着いてボールを回し、相手の裏を取ってプレーしていた。千葉の選手は選択しを複数準備し、場面に応じた判断が効果的に多く出来ていた。

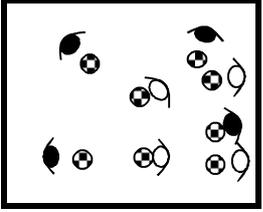
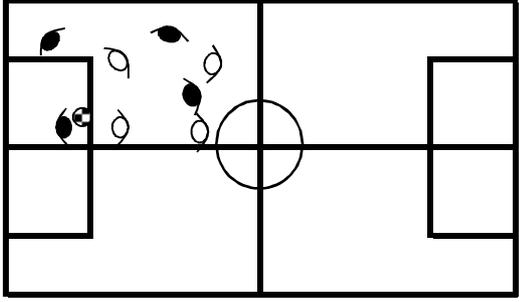


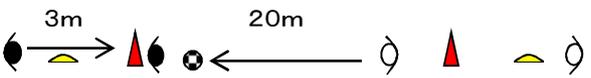
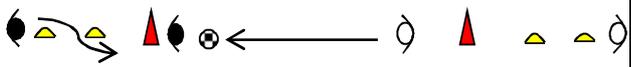
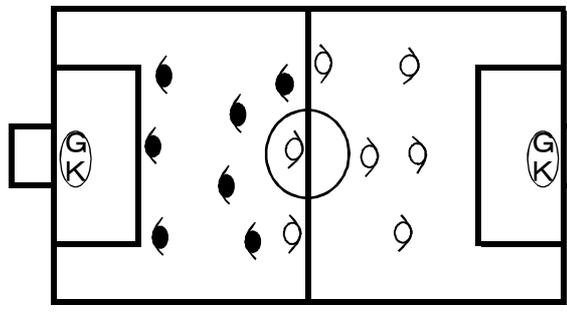
キーファクター

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	ノース	日時	6月26日 13:30 ~ 15:50
担当			会場	カナフィールド
参加スタッフ	池田、橋本、柳橋、井上、鈴木(8ブロック市川浦安)、金子(8ブロック松戸)			
テーマ	スキルアップ			

指導方法

<p>W-UP ボールフィーリング(20分)</p> <p>・リフティング ・目的:股関節と膝関節の可動域拡大のため</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> ・インサイドのみ ・アウトサイドのみ ・ペンギンドリブル (後方にあるボールを踵の内側でドリブルする) </div> <p>・コーンドリブル(出来るだけ速く)</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> ・利き足のみ ・反対の足のみ ・アウトサイドのみ </div> <p>各6回</p> <p>※「出来るまでが目的ではなく、うまくならうとすること。」</p>	<p>TR-2 4vs4 or 5vs5のパスゲーム(20分)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※少人数の中でのパス回し。2分間1セット×6 フリータッチ ※GKは別メニュー</p>
--	--

<p>TR-1 パス&コントロール(10分)</p> <p>・動きの中でのコントロール ・声をかける</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>※コーンの前でタイミングを合せボールをコントロールし正確に</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・パスを強く ・受けるときにスピードを重視 ・チェックを入れてもしっかりとタイミングを取る 	<p>GAME 8vs8 10分×6回(4チーム総当り)</p> <div style="text-align: center;">  </div>
---	---

キーファクター

<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術(ボールタッチ、コントロール、止める、キック) ・動く ・観る ・プレッシャーの中でのパス・ドリブル ・コーチング 	} 選手全体の把握。
--	------------

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	ノース	日時	9月25日 8:30 ~ 12:00
担当	池田		会場	レイソル人工芝グラウンド
参加スタッフ	池田、金子、井上			
テーマ	レイソルとの交流戦 「点を取られない」～そのためのコミュニケーション～			
指導方法				
<p>W-UP 試合前のトレーニング(18分間のみ) ・名前を呼んで、ハンドパス ・パス、リフティングを同時に行うフリーパス ・3対3</p> <p>1試合目 ※今回の試合システム4-2-3-1</p> <p>1試合目0(0-3、0-1)4 FW米田 トップ下間中、サイドハーフ青竹、秋山(大) ボランチ染谷、中田 サイドバック秋山、鎌倉 センターバック影山、御田村 GK坂井 失点①左CKからヘディングGKの頭越し 失点②ペナルティエリア左からFK、ヘディングGKの頭越し 失点③左サイドバックの裏ヘスルーパス、ドリブルシュート 失点④左からのクロスがGKがこぼし、つめられた。</p>	<p>2試合目</p> <p>2試合目0(0-2、0-2)4 諏訪(影山) 西堀、金杉(秋山)、山元 中田(青竹)、健吾 飯島(健吾)、鎌倉(染谷) 宮下、米田(中田) 竹内</p> <p>※2試合目の後半は、諏訪、金杉、飯島、鎌倉がレイソルチームに参加。 失点①右サイドから楔、ターンされてシュート 失点②左サイドで縦パスをインターセプトされ、右サイドの裏ヘロングパス、ループシュート 失点③左サイドバックの裏ヘスルーパス、ドリブルシュート 失点④左CKからヘディングシュート</p>			
<p><現状> 今回のゲームを行ってノーストレセンが得点したのは0点、失点は8失点であった。 上記の失点シーンを見ても完璧に崩されてはいないが、個 チーム力に関しては練習量も違うこともあり、仕方がない部分もある。ただ、個々のスキル (トラップ・キック・ドリブル・フェイント・ヘディング)などの差はあった。 また、ゲーム中のプレーに対しての判断が、まだ乏しいし、球際が弱い所もあったが全てではない。 前線から相手のDFに対してプレッシャーかけ自由にプレーさせない場面もあり、少ないチャンスだったが 得点できそうな場面も確かにあった。試合前のUPも井上コーチがコミュニケーションを引出すトレーニングを 行ってくれた為、試合中も、前回よりコーチングができた。少しずつではあるが戦えるようになってきていると思う。</p> <p><改善案> 上記の様な現状に対してこれからどうするかと言う問題であるが、やはり個々のスキルアップを この年代でもやらなければならない。トレーニングなどでも、プレッシャーの中でプレーをしなくてはならない。 今回のレイソル戦などでも球際や相手からのプレッシャーがかかるとボールを失う場面が数多くあった。 やはり相手をあしらう様なプレーや状況にあった判断ができるように選手の発掘や育成が必要とされる。</p> <p><全体的に> 今回のレイソルとの試合においては、グラウンド・気候・選手のコンディション、 全てが良い状態でできた試合でした。結果的には良い試合だったとは言えないが、選手一人ひとりの 特徴を観る上では良い試合だったと思う。また、ノーストレセンとしての選手選考基準ができてきたと思います。</p>				

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	ノース	日時	10月23日 : ~ :
担当	池田		会場	順天堂大学
参加スタッフ	池田・柳橋・橋本・井上・金子・ゼムノビッチ			
テーマ	関東交流戦 vs JEF千葉			
指導方法				
<p>ノーストレセンとしては今回が初めての関東交流大会である。まだ、メンバーも選考している段階であり、テーマとしては、まず自分のストロングポイントを使いチームに貢献して、ゲームに「勝つ」と言うことを行った。結果としてはコーナーキックやセットプレーで点を取られてしまった。前半は自分たちのペースでゲーム展開ができなかった。後半になると一人一人が自分たちのストロングポイントを少し出せるようになった。まだ選手選考中でもあり、選手達もまだ、慣れていない感じがしたが、あくまでも県トレセンと言う、県の代表選手であることを認識して、戦ってほしかった。これから来年の関東交流大会に向けて選手をしっかりと観て可能性のある選手の発掘と育成をしっかりと行わなければJリーグの下部組織には勝つ事も出来ないし、追いつく事が難しくなると思う。</p>				
キーファクター				

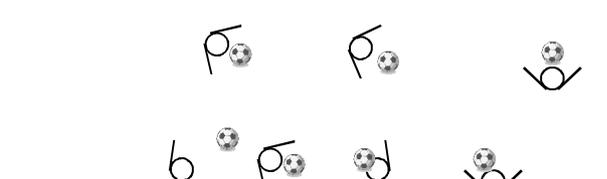
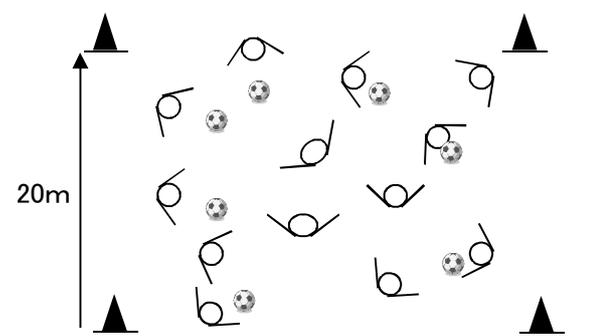
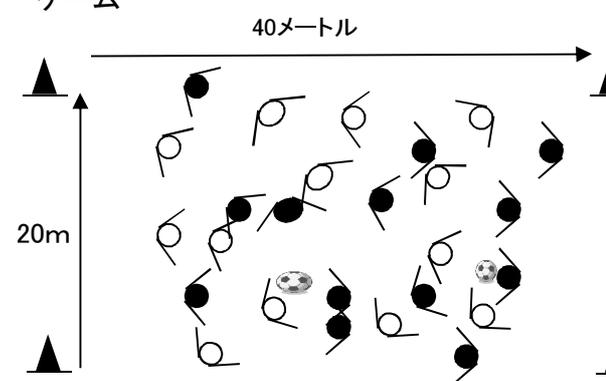
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	ノース	日時	11月27日 13:00 ~ 16:30
担当	池田		会場	松戸馬橋高校
参加スタッフ	池田・橋本・金子・柳橋・ゼムノビッチ			
テーマ	現トレセンメンバー+バックアップメンバーによる紅白戦(12月・1月・2月に向けての選手選考)			
指導方法				
<p>*今回のトレセンの目的は新たな選手発掘である。春から各ブロックでトレセン活動されている選手が多く、まだ見切れていないブロックからの選手を発掘し吸上げていく事が大事である事と各ブロックに対してトレセンコーチを派遣し直に選手と触れ合う、スタッフと話をすることにより、各ブロックの事情・選手情報が入ってくる事を感じた。本日の活動でも、新たな選手の発掘があり、選手の特徴をさらに分かる事ができた。</p> <p>・12月の関東トレセン交流大会の参加18名のメンバーの決定 (これから各ブロック・クラブに確認します。)</p> <p>※ノーストレセンスタッフ・各ブロックトレセンスタッフの皆様方、大変ご苦勞様でした。 これからも宜しくお願い致します。</p>				
キーファクター				

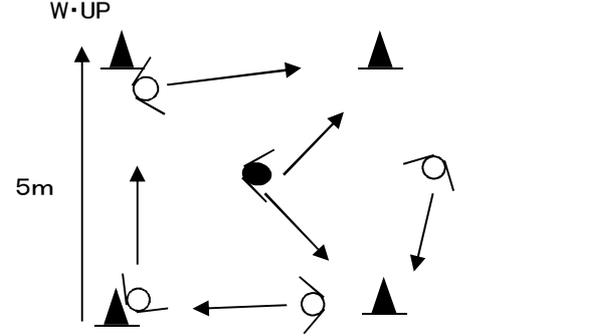
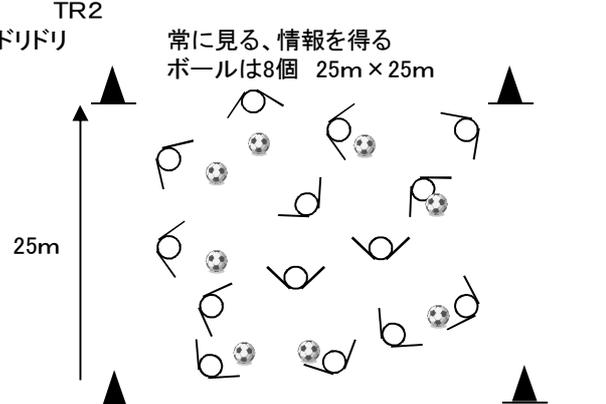
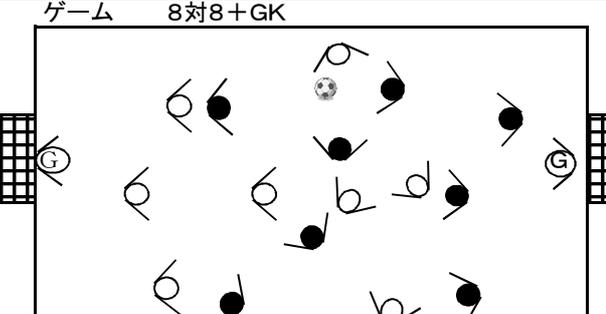
2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	ノース	日時	12月18日 10:00 ~ 15:00
担当	池田		会場	群馬県関南パーク
参加スタッフ	池田・橋本・金子・柳橋			
テーマ	関東交流戦 vs 群馬県選抜			
指導方法				
<p>*今回の関東トレセンリーグに参加した選手の半分は、前回選考したメンバーであった。試合の結果としては0-9で大敗してしまったが、個々の選手の能力を観るにはいい試合だったと思う。確かに相手の群馬県の選手は身体的にも大きく、強く、スピードもあり、一つのチームとしてかなり出来上がっていた様な感じがします。千葉県の特徴は、小柄で足元のテクニックがある選手が多かった。一人で2人、3人を交わす選手も中にはいた。ただ、DF的な戦術・技術が乏しかった。この年代では、確かにボールを自由に扱うことは絶対条件であると思うし、相手からボールを奪う戦術や技術も必要だと思う。千葉県代表選手と言うブランドに自信をもって、これが選手個人への課題として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人のスキルアップ（ドリブル・コントロール・パス・） <p>U-13アカデミーとしての課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月、2月の試合に向けての選手選考 ・U-14に向けての活動と全体像の確認 				
キーファクター				

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド 合同(ノー&サウス)	日時	4月24日 13:00 ~ 15:00
担当	橋本 真 (カナリーニョ)	会場	幕張総合高校グラウンド
参加スタッフ	島田、渡辺、小田、唐沢、山口、金子、柳橋、池田、橋本、井上、加藤、鈴木、山田		
テーマ	ボールフィーリング 個人技術		
指導方法			
<p>W・UP</p>  <p>1 ジョギング 2 リフティング 試合をイメージして インステップ…細かく、高く インサイド…胸より低く、高く、逆のサイドのインサイドでタッチ アウトサイド…交互に、高く つま先⇒かかと⇒インサイド片足⇒アウトサイド片足 3 ドリル</p>  <p>引き球(足裏早く) ⇒ インステップでなぞって足裏 ⇒ アウトサイドでなぞって足裏 ⇒ インサイドでなぞって足裏 ⇒ 軸足でインサイド1回転 ⇒ インサイドくの字でコントロール ⇒ 遅れてくるボールインサイド足裏 ⇒ 方向自由に ⇒ バックでアウトサイドなぞって足裏 ⇒ バックでインサイド足裏(片足) ⇒ サイドステップでインサイド足裏 ⇒ クロスステップでインサイドなぞって逆足 ⇒ 軸足2回触って逆足タッチ</p>	<p>TR2</p>  <p>20m</p> <ol style="list-style-type: none"> フリータッチでキープ&フェイント …敵と見方をよく見る ボールを8個にしてグリッドでキープゲーム 10min × 2 ※ボールを浮かさない 3min ※ボールを浮かしてもOK <p>その後 ゲーム前ストレッチ 乳酸の説明を入れながら アイスブレイク</p>		
<p>TR1</p>  <p>コーンドリブル(間隔は一つのコーン分)…4~6往復 ・片足だけ(利き足) ・逆足 ・アウトサイド両足</p>	<p>ゲーム</p>  <p>40メートル</p> <p>20m</p> <ul style="list-style-type: none"> ボール2個でライン突破ゲーム 囲まれても落ち着いてキープ トレーニングしたボールタッチで相手をかかわす 顔を上げる 		
<p>キーファクター ボールフィーリング 顔を上げる</p>			

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	合同	日時	5月22日 ~ :
担当	渡辺(ヴィヴァイオ船橋)		会場	幕張総合高校
参加スタッフ	池田、柳橋、橋本、井上、加藤、金子、鈴木、島田、渡辺、小田、唐沢、米倉			
テーマ	自分で考え判断する			
指導方法				
<p>W・UP</p>  <p>4箇所の陣取り 鬼は、視野を広くして、多くの場所を見る。 積極的に陣地をとりに行くが、遅れたらポジションを戻す</p> <p>OFは3方向にいける。積極的にチャレンジ・ポジションチェンジをする。 常に鬼を見て、自分で考えて判断する。 鬼になりそうな状況になったら判断を変えることも</p> <p>オプション ボールを持って行なう。</p>	<p>TR2</p> <p>ドリドリ 常に見る、情報を得る ボールは8個 25m×25m</p>  <p>ドリパス ボールは3個 30m×30m 単純にパスするだけでなく、相手の状況を見て判断する。</p> <p>【コーチング】 コーチ: どうしたら、うまくいく? 選手: 声をかけてやる! コーチ: どんな風にな? 選手: 相手を見て コーチ: 声の大きさは? 選手: 大きく! コーチ: では、自分たちで言ったことはやろう!</p>			
<p>TR1</p>  <p>コーンドリブル(間隔は一つのコーン分)…7~8本 ・片足だけ(利き足) ・逆足 ・アウトサイド両足 ・ドリブルターン (状況を観ながら) さまざまボールタッチ</p> <p>コーチング 求めているのはスピード! スピードを早くしたければ、低く! 失敗を気にするな!</p>	<p>ゲーム 8対8+GK</p>  <p>●オーガナイズ (1) 大きさ: 25m×40m (2) 用具: ボール、ビブス、コーン、マーカー、ゴール (3) 方法 ・サイドアウトはスローイン 3チーム総当り×2 技術だけでなく、が! んばる! ねばる!</p>			
<p>キーファクター ボールコントロール⇒顔を上げる⇒自分で判断する</p>				

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	合同	日時	1月22日 10:00 ~ :
担当	池田(柏ラッセル)		会場	幕張総合高校
参加スタッフ	池田、柳橋、橋本、加藤、小田			
テーマ	関東交流戦 vs 柏レイソル			
指導方法				
<p>今回はノース・サウスの選手達を一つにまとめ、関東交流戦に参加した。勝敗の方は1対5で敗れてしまった。内容的には一歩的に攻められてはいないが、相手選手へのマークのずれやコーナーからのヘディングシュート、ゴール前でフリーにシュートを打たせてしまった結果、失点をしてしまった。今回は2月の関東交流大会に向けての選考会も兼ねていた為、色々なポジションで試合に望ませた。確かにやり辛さはあったと思うが、基本的なコーチング(声を出す)ができていなかった。中には自チームの中でも試合に出ていない選手も召集しました。試合に出してみた結果、非常に良いプレーをしていました。将来を感じさせる身体と技術を感じました。選手発掘と言う意味では今回の召集メンバーは良かったのではないかと思います。やはり、色々なスタッフの「目」「協力」があるからこそできるのだと思います。まだまだ千葉県内のクラブや中体連には色々な選手がいる事を確信しました。また、今回は馬橋高校の方でバックアップトレセンのトレーニングを金子先生にお願いしました。召集メンバーは12名、実際に来た選手は8名でした。トレーニング内容としては、天候不良でグランド状況も悪かったので、学校内の施設で個人技のトレーニングを主に行ったと報告を受けています。今後の活動においてはバックアップメンバーのレベルの向上(意識・技術)を行っていきたいと思っています。</p>				
キーファクター				

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	セカンド	合同	日時	2月25日～2月26日
担当	池田(柏ラッセル)		会場	茨城県波崎町矢田部
参加スタッフ	池田、柳橋、橋本、加藤、小田			
テーマ	関東交流戦 vs 柏レイソル			
指導方法				
<p>※ 試合結課としては、2勝2敗である。今回も前回と同様にノース・サウスが一つになり、選手を絞り込んだ状態で試合に望んだ。一試合目は選手達に緊張がありプレーの硬さが見られ、千葉県の選手は個人技があり相手を交わす事の技術はどこの県よりも優っていた。初メンバーの構成と言う事もあり名前の確認やパスの出し手、受け手のタイミングなどの問題もあり、中々スムーズな展開はできなかった。攻守においてバランスが悪かった。</p> <p>※ 二試合目に入ると少しずつ選手の表情にも余裕や仲間意識が見られるようになった。余裕が出る事により、ドリブル・パス・シュート・ルーズボールの処理・ディフェンス時のインターセプトなどにも積極的にチャレンジするようになった。1点・2点・3点と得点を重ねることにより、自分(個人)のプレースタイルも仲間に合わせるようにもなった。</p> <p>※ 2日目の一試合目は関東U-12との試合でした。相手は現6年生でもありますが、Jクラブの選手もかなり多くテクニク的には個人技の高い選手が集められていました。個人技もボールテクニク、シュートテクニク・パススピード、前線からのハイプレッシャー、粘りのあるディフェンスが目立った。前半終了時には0-4との大差があり、千葉県の選手もかなりショックを受けていた様な感じがした。相手の早いプレッシャーを受け、粘り強いディフェンスで来られると中々、自分達のプレースタイルでは思うようにできなかった部分が非常に多く見られた。</p> <p>※ 三試合目は山梨県が相手でした。トレセン最後のゲームでもあり、最後は内容というよりか、ゲームに「勝つ」事をテーマにおいた。結果としては悪くもなく、2対1で勝つ事ができた。もっと時間をかけてスカウティングと育成を行えば必ず良い選手は「見つかる」し「生まれてくる」と確信しました。</p>				
キーファクター				

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	8ブロック	合同	日時	2月25日～2月26日
担当	米倉		会場	八幡球技場/松戸馬橋高/幕張総合高
参加スタッフ				
テーマ	8ブロック交流会			
指導方法				
<p>・平成24年2月25日(土)八幡球技場会場で(会場準備は八幡中学校の1年生が精力的に準備していただきました)、第1ブロックから第8ブロックのトレセンスタッフと選手達が冷たい雨の中集合し、8人制の10分ハーフ(半面のピッチでゴールの大きさが違うので、3ゲーム終了した時点でコートを入れ替えるという条件)のゲームを実施。ノース・サウスそれぞれのブロックで総当たり戦を実施した。スタート時点では8人制に慣れていない感じがあったが徐々に慣れてきて、それぞれ選手のパフォーマンスの違いが現れてきた。その中でボールコントロール、良い状況判断が出来る選手が多く見受けられた。オフ・ザ・ボールの時にいい準備をしていいポジションを取れる選手が少ないように感じた。雨の影響や選手・スタッフの体調を考慮して8人制のゲームのみで1日目は終了した。各ブロックの現状や選手の招集の件などスタッフの交流ができた。</p> <p>・2日目は、ノースは松戸馬橋高校、サウスは幕張総合高校で1日目のゲームから見えてきた課題を修正するトレーニングをしてから11人制のゲームを展開していただく予定であったが、メンバーが総入替のブロックもあり、修正と言うよりも新しいメンバーで交流戦という感じであったので修正トレーニングをアップとしてゲームをたくさんして頂くように変更した。サウスでは5ブロックVS6ブロック(20分ハーフ)、1ブロックVS2ブロック(20分ハーフ)の後に、25分1本の総当たりゲームを実施した。昨日のゲームよりピッチが広がっているためかオフの選手の動きが気になることが多かった。</p> <p>〈各ブロックのトレセンスタッフからの話〉</p> <p>1ブロック ・市原・南総の合同でトレセンをスタートできた。 ・スタッフ不足(特に南総地区)が改善されない。</p> <p>2ブロック ・地域が広く、天候不良の際の連絡が難しい。(早めの連絡をするなど) ・スタッフのモチベーションが低いので、ゼムノビッチ氏等のトレーニングをする等で刺激があるといいかも。 ・地域内で交流をしていけたら良いのかも(館山地区・茂原地区等)</p> <p>3ブロック ・山武地区とクラブの関係がよくない。 ・ブロックが広範囲なので移動、集合が困難。</p> <p>4ブロック ・中体連とクラブが別々でトレセンを行っている。</p> <p>5ブロック ・定期的にトレセン活動ができています。スタッフも充実している。これを続けていけることを期待している。</p> <p>6ブロック ・中体連とクラブのコミュニケーションが大きな課題。ブロックの組織の改善を是非考えて欲しい。</p> <p>7ブロック ・クラブと中体連の関係 ・スタッフの問題</p> <p>8ブロック ・松戸地区のクラブについて</p>				
キーファクター				